

第四百四十五條

スルトキ其ノ區別ニ從ヒ封皮ノ表面ニ「書留速達」又ハ「書留別配達」ト朱書スヘシ
 爲替局報ノ授受ヲ證明スル爲送致簿ニ押捺スヘキ爲替主任印ノ印鑑又ハ賴信紙ニ押捺スヘキ爲
 替主務者印ノ印鑑ハ豫メ關係郵便局所及自局所爲替主任ヨリ廻付シタルモノヲ備ヘ置キ配達簿
 又ハ送達紙ニ押捺スヘキ電信主任ノ印鑑ハ豫メ關係郵便局所及自局所爲替主任ニ送付シ置クヘ
 シ但シ第四百四十四條第二項又ハ第四百四十六條但書ニ依リ送致簿又ハ配達簿ヲ省略シタル場合
 ハ印鑑ノ交換ヲ要セス

第四百四十六條

爲替局報ヲ自局所爲替主任ニ交付スルトキハ直配達區域内ニ在ル郵便局所ニ配達スルモノト同
 様ノ手續ニ依ルヘシ但シ當該局所長ニ於テ其ノ必要ナシト認ムルトキハ配達簿ヲ省略スルコト
 ヲ得

第四百四十七條

電信取扱所ニ於テハ爲替局報ノ取扱ヲ爲ササルモノトス

◇

柏原灣及幌漣測候無線電信取扱所ニ於テ爲替局報取扱ニ關スル件(昭和一二、六、一五)
 今般北千島所在左記無線電信取扱所ニ限リ特ニ各下記ノ郵便官署ニ發著スル爲替局報ノ取扱ヲ爲スコトナリ
 タルニ付諒知ノ上該郵便官署發著爲替局報ノ著信局所指定其ノ他取扱上ノ行違ナキ様可然取計相成度
 追テ本件無線電信取扱所及郵便官署ハ毎年夏季四月下旬頃ヨリニ限リ閉局セラルルモノニ有之爲念

無線電信取扱所

位

置

柏原灣無線電信取扱所

北海道千島國占守郡
 幌漣島柏原灣

函館郵便局柏原分室

幌漣測候無線電信取扱所

北海道千島國占守郡
 幌漣島摺鉢灣

函館郵便局摺鉢分室

第六節ノ二 振替局報

第四百四十七條ノ二

貯金局、貯金支局又ハ郵便局所ヨリ賴信紙郵便切手欄ニ「振替局報」ト記載シテ差出ス電
 報ハ之ヲ振替局報ト爲スヘシ

第四百四十七條ノ三

左ノ様式ニ依ル振替局報送致簿又ハ第四百四十條ニ依ル爲替局報送致簿ヲ添ヘ振替局報ノ

送付ヲ受ケタルトキハ第四百四十條ニ準シ之ヲ處理スヘシ書留郵便ニテ到達シタルトキ亦同シ

振替局報送致簿

年	月	日	電報領 收時刻	種別	口座 番號	郵便局 所爲替 主任印	電信局 所主任 印領

前項ノ場合ニ於テ電信主任ト爲替主任ト同一ナルトキハ送致簿ヲ省略スルコトアルモノトス
 第四百四十七條ノ四 著信局所ニ於テ振替局報ヲ其ノ直配達區域内ニ在ル貯金局、貯金支局又ハ郵便局所ニ配達
 スルトキハ振替局報配達簿(附録)ヲ用フヘシ但シ振替局報配達簿ハ爲替局報配達簿ニ別口座ヲ設
 ケ之ニ代フルコトヲ得

第四百四十七條ノ五

第四百四十一條、第四百四十三條、第四百四十五條乃至第四百四十七條ノ規定(第四百四十三
 條及第四百四十四

十五條中郵便局所トアルハ貯金局、貯金支局又ハ郵便局所トスハ振替局報ニ之ヲ準用ス

第七節 氣象局報

第四百四十八條 氣象報告ニ關スル電報ニシテ規則第三條第四項ニ依リ局報ト爲スコトノ承認ヲ經タルモノ左ノ如シ

定時氣象電報

臨時氣象電報

警報氣象電報

豫報氣象電報

前項ノ電報ハ之ヲ氣象局報ト爲スヘシ

第四百四十九條 氣象局報ヲ發送スル測候所以下之ニ同シハ別ニ之ヲ定ム (二三頁氣象局報發送所名及分送表參照)

第四百五十條 定時氣象電報トハ左ノ區別ニ依リ毎日定時ニ觀測シタル氣象ヲ報知スル爲測候所ヨリ中央氣象臺、海洋氣象臺、臺北觀測所又ハ朝鮮總督府觀測所ニ宛ツル電報ニシテ數字二十二字ヲ列記スルモノヲ謂フ

一回ノ分 午前六時 正午 午後六時

定時氣象電報ニシテ其ノ觀測定時後三十分下關、廣島、函館ハ四十分鹿兒島ハ一時間ヲ過キテ差出スモノハ之ヲ局報ト爲スコトヲ得サルモノトス

臨時氣象電報トハ天候異常等ノ場合ニ於テ臨時ニ測候所ヨリ中央氣象臺ニ宛ツル電報ニシテ數字十三字又ハ數字及文字九字ヲ列記スルモノヲ謂フ

第四百五十一條 警報氣象電報トハ暴風ノ警戒ヲ要スル場合ニ於テ中央氣象臺ヨリ測候所ニ宛ツル電報ニシテ數字及文字七字ヲ列記スルモノヲ謂フ但シ同時ニ二箇以上ノ警報ヲ發スル場合ハ之ヲ一通ノ電報

第四百五十二條

ニ併記スルコトアルモノトス

第四百五十三條

豫報氣象電報トハ毎日一回午前十時迄ニ中央氣象臺ヨリ内地ノ測候所ニ宛ツル電報ニシテ文字二十一字ヲ列記スルモノヲ謂フ

第四百五十四條

氣象局報ノ賴信紙ニハ第四百四十八條ニ掲グル電報ノ種類ヲ朱書シ發信人名ヲ記載セス宛名ハ左ノ略名ヲ以テ記載スルモノトス

中央氣象臺	氣略名
海洋氣象臺	神戶氣象
臺北觀測所	臺北觀測
朝鮮總督府觀測所	朝鮮觀測
各測候所	各測候所

各測候所宛氣象局報ハ別ニ定ムル分送表ニ依リ之ヲ分送スヘシ (二三頁氣象局報發送所名及分送表參照)

第四百五十五條

氣象局報ハ總テ至急局報トシテ之ヲ取扱フヘシ

第四百五十六條

氣象局報ニハ指定ヲ記載スルコトヲ得サルモノトス

第四百五十七條

氣象局報ニ關スル尋問、改正又ハ停止ノ電報ハ之ヲ局報ト爲スコトヲ得サルモノトス (削除)

第四百五十八條

第十六章 式紙及帳簿
本規定ニ依リ各局所ニ於テ使用スヘキ式紙及帳簿ノ名稱左ノ如シ様式ハ之ヲ附録ニ掲グル所ニ依ル但シ發著信番號表、配達番號表、配達成績表、配達「カード」、爲替局報配達簿又ハ振替局報配達簿ニ付テハ各局所ニ於テ特殊ノ事由アルトキハ其ノ記載事項ヲ變更セサル限リ其ノ様式ヲ變更シテ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該局長ハ其ノ要旨ヲ所轄遞信局長ニ報告ス

十五條中郵便局所トアルハ貯金局、貯金支局又ハ郵便局所トスハ振替局報ニ之ヲ準用ス

第七節 氣象局報

第四百四十八條 氣象報告ニ關スル電報ニシテ規則第三條第四項ニ依リ局報ト爲スコトノ承認ヲ經タルモノ左ノ如シ

定時氣象電報

臨時氣象電報

警報氣象電報

豫報氣象電報

前項ノ電報ハ之ヲ氣象局報ト爲スヘシ

第四百四十九條 氣象局報ヲ發送スル測候所以下之ニ同シハ別ニ之ヲ定ム (二三頁氣象局報發送所名及分送表參照)

第四百五十條 定時氣象電報トハ左ノ區別ニ依リ毎日定時ニ觀測シタル氣象ヲ報知スル爲測候所ヨリ中央氣象臺、海洋氣象臺、臺北觀測所又ハ朝鮮總督府觀測所ニ宛ツル電報ニシテ數字二十二字ヲ列記スルモノヲ謂フ

一回ノ分 午前六時 正午 午後六時

定時氣象電報ニシテ其ノ觀測定時後三十分下關、廣島、函館ハ四十分鹿兒島ハ一時間ヲ過キテ差出スモノハ之ヲ局報ト爲スコトヲ得サルモノトス

臨時氣象電報トハ天候異常等ノ場合ニ於テ臨時ニ測候所ヨリ中央氣象臺ニ宛ツル電報ニシテ數字十三字又ハ數字及文字九字ヲ列記スルモノヲ謂フ

第四百五十一條 警報氣象電報トハ暴風ノ警戒ヲ要スル場合ニ於テ中央氣象臺ヨリ測候所ニ宛ツル電報ニシテ數字及文字七字ヲ列記スルモノヲ謂フ但シ同時ニ二箇以上ノ警報ヲ發スル場合ハ之ヲ一通ノ電報

第四百五十二條

ニ併記スルコトアルモノトス

第四百五十三條

豫報氣象電報トハ毎日一回午前十時迄ニ中央氣象臺ヨリ内地ノ測候所ニ宛ツル電報ニシテ文字二十一字ヲ列記スルモノヲ謂フ

第四百五十四條

氣象局報ノ賴信紙ニハ第四百四十八條ニ掲グル電報ノ種類ヲ朱書シ發信人名ヲ記載セス宛名ハ左ノ略名ヲ以テ記載スルモノトス

中央氣象臺	氣略名
海洋氣象臺	神戶氣象
臺北觀測所	臺北觀測
朝鮮總督府觀測所	朝鮮觀測
各測候所	各測候所

各測候所宛氣象局報ハ別ニ定ムル分送表ニ依リ之ヲ分送スヘシ (二三頁氣象局報發送所名及分送表參照)

第四百五十五條

氣象局報ハ總テ至急局報トシテ之ヲ取扱フヘシ

第四百五十六條

氣象局報ニハ指定ヲ記載スルコトヲ得サルモノトス

第四百五十七條

氣象局報ニ關スル尋問、改正又ハ停止ノ電報ハ之ヲ局報ト爲スコトヲ得サルモノトス (削除)

第四百五十八條

第十六章 式紙及帳簿
本規定ニ依リ各局所ニ於テ使用スヘキ式紙及帳簿ノ名稱左ノ如シ様式ハ之ヲ附録ニ掲グル所ニ依ル但シ發著信番號表、配達番號表、配達成績表、配達「カード」、爲替局報配達簿又ハ振替局報配達簿ニ付テハ各局所ニ於テ特殊ノ事由アルトキハ其ノ記載事項ヲ變更セサル限リ其ノ様式ヲ變更シテ使用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該局長ハ其ノ要旨ヲ所轄遞信局長ニ報告ス

附 録

電報取扱規程 附録様式

○ 頼 信 紙 (和文用)

紙面ノ大サ三號乙半截(横約一三・三種)、紙質上質更紙三八听(ズイ)、刷色淡青

電 報 頼 信 紙

送 信 通 過 番 號

者校照	信 送	手 切 便 郵	類 種	局 信 著
	午			
者信送	時	宛 名	局 信 發	注 意
	分			
者校照	時	發 信 人 居 所 氏 名	局 信 發	一 濁點又は半濁點ある文字の下は一字あけること に書くこと
	分			
者校照	分	定 指	局 信 著	一 受信人に知らずべき發信人の居所氏名は本文の終
者信送	時	本	類 種	
者校照	分	文	數 字	
者信送	時	指	局 信 發	
者校照	分	心 局 内 心 得	號 番	
者信送	時	考 備	付 受	
者校照	分	名 線 回	時	
者信送	時		分	

省 信 遞 號一第信

○ 中 繼 紙 (和文用)

紙面ノ大サ(横約一四・五種、縦約二一・二種)、紙質菊判西洋紙二八听、刷色紅

電 報 中 繼 紙

送 信 通 過 番 號

受 信 通 過 番 號

者校照	信 送	付 受	號 番	局 信 發	數 字	類 種	局 信 著
	午						
者信送	時	時	時	時	時	時	時
	分						
信 受	午	時	分	定 指	局 内 心 得	考 備	名 線 回
者校照	分	時	分	時	時	時	時
者校照	分	時	時	時	時	時	時
者信送	時	時	時	時	時	時	時
者校照	分	時	時	時	時	時	時
者信送	時	時	時	時	時	時	時

省 信 遞 號二第信

電報取扱規程 附録様式

電報著信紙

受信通過番號

者校照	信受	付受	號番	局信發	數字	種類	宛	名	著信番號	考備	局内 心得	印附日	名線回
	者信受												

○著送紙 著信紙及送達紙(和文用)
紙面ノ大サ(横約一四・五種、縦約二・二種)、紙質 著信紙菊判薄口ル紙一八听、刷色綠
紙質特菊判西洋紙四一听、刷色綠

電報取扱規程 附錄様式

省信遞 號三第信

電報

送信通過番號

(挿込線)	信送	(指定)	(名宛)	(著信番號)	(記事)	(日附印)
	午時分					
(折疊線)	者校照	(受信時刻、受信者及照校者又ハ翻譯者)				

○タイプライター受信紙 (和文用)
紙面ノ大サ(横約一四・五種、縦約二・二種)、紙質特菊判西洋紙四一听、刷色綠

電報取扱規程 附錄様式

省信遞 號四十六第信

- 考備
- 一 受信通過番號及表額欄ニ行トシテ著信局所ノ次ニ改テモルス
 - 二 本文欄ハ百二十字ニ限リテ行ヲ受スルモルス
 - 三 括弧内ハ紙式ニ依リテ印刷セザルモルス

電報送達紙

(挿込線)		宛名	著信番 若し他人に宛てた電報なる ときは其の旨附箋して直に 配達局所へ返戻して下さい	(折疊線)	
		著信番			
照校者	受信者	種類	指 定	事 記	日 附 印
午後	時	数字			
局信發	號番	付受	時	分	
者校照	者信受	分	分		

省 信 遞

考 備
ストノモルサセ刷印ハニ紙式ハ内弧括

電報貼附臺紙

送信通過番號	送 信 午	局 内 心 得	受 信 午	種 類	著 信 局
受信通過番號	照校者 送信者		照校者 送信者		
	時 分		時 分		

○貼附臺紙
紙面ノ大サ三號甲(縦約二五・六釐、紙質一號甲(更紙三六・五听)、
刷色 歐文用紅 信第七十三號
歐文用綠 信第七十四號

遞 信 省 信 第 號

○返信料前納證書 (和文用)

紙面ノ大サ二號三截(横約一・二・四種、縦約一・五・八種)、紙質二號丁(B模造紙五五听)、刷色淡青

表

返信料前納證書		返信料前納證書領受	
印附日局行發	金第	金第	金第
	但	但	但
	年	年	年
	局發第	局發第	局發第
	號日	號日	號日
省信遞		號二十三第信	

(裏面注意)

裏

注意	
一	本證書は發行の日より三十日以内に差出す電報の料金を充つることを得
二	本證書を前項の期間内に使用せざりし場合は料金納付の日より六十日以内に發行人より發信局所に本證書を添付し料金の還付を請求することを得

○電報料金受領證書 (和文用)

紙面ノ大サ一號(横約一・二・四種、縦約一・八・五種)、紙質上五號甲(薄美濃紙)、刷色黒

電報料金受領證書

印附日	人信受	人信發	額料金	納付	局發信	證書
			金		局	
					番發	取
					號信	扱
						號
考 備						

省 信 遞 號一十六第信

備考

- 一 本用紙ハ電報料金受領證書及電報受取證書ニ共用スルモノトス
- 二 上ノ分ヲ原票ニ下ノ分ヲ證書ニ使用スルモノトシ原票ニ相當事項ヲ記載スルト同時ニ炭酸紙ヲ用ヒ證書ニ數寫スルモノトス
- 三 電報料金受領證書ニ使用スル場合ハ欄外ノ標題中「受取」ノ文字ヲ抹消シ又電報受取證書ニ使用スル場合ハ同上「料金受領」ノ文字ヲ抹消シ受取證書料ニ充テタル郵便切手ハ之ヲ日附印欄ニ貼附消印スルモノトス
- 四 五十部ヲ以テ一綴トシ表紙ニハ記載例其ノ他ノ注意事項ヲ簡明ニ印刷シ置クモノトス

○電報受取紙 (和文用)

紙面ノ大サ一號(横約一・二・四種、縦約一・八・五種)、紙質一號甲(更紙三六・五听)、刷色黒

電報受取紙

考 備	受取	時	分	受取時刻	印人信受	交付時刻	歸局時刻		
	番號			著信番號		午時	午時	日	附
	分			日		分	分	印	日

省 信 遞 號二十六第信

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

○ ○

R.No.	Time sent	By	Class	Collated by	Charges
	Office of Destination *				
	Office of Origin	No.	Words		Postage Stamps
Date	Time	Remarks			
To					

※外國電報公衆報ニ付テハ記入ヲ要セズ

Note-The name and/or address of the sender, if to be telegraphed, should be written as the last word of the message, otherwise the signature is not transmitted but is required to certify the genuineness of the telegram.
The address and signature of the sender.

信第十號

電報取扱規程 附録様式

○頼信紙 (歐文用)

紙面ノ大サ(横約一・七・九種、縦約一・九・二種)、紙質一號丙(B模造紙四五听)、刷色淡青

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

○ ○

R. No.	in	out Time sent	By	Collected by	Office of Origin
Office of Destination		Date		Time	
No.	Words	Remarks			

To _____

○中繼紙 (歐文用)

紙面ノ大サ (縱橫約一七・九種)、紙質ニ號丙(B機造紙四五听)、刷色紅

Time received by _____ Collected by _____

信第十一號

備考

括弧内ハ式紙ニハ印刷セラルモノトス

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

R. No.	out	Time sent	By	Collected by	(著信番號)
(受信通過番號、額表及局内心得)					
(名宛)			(名宛翻譯)		
(本文)			(日附印)		

(受信時刻、受信者及照校者又ハ翻譯者)

○ダイグラフィター受信紙 (歐文用)

紙面ノ大サ (縱橫約二三・六種)、紙質菊判西洋紙五五听、刷色綠

信第十三號

(著 信 紙)
IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

○ ○

R. No.	in Class	Date Stamp	To	Office No.
Office of Origin		Words	Time	Remarks
No.	Date			

Time received By Collected by

信第十二號

○著送紙著信紙及送達紙ヲ以テ又(歐文用)

紙面ノ大サ(横約一七・九種紙質著信紙四六列西洋紙四〇听、刷色綠約一七・九種紙質著信紙四六列西洋紙四〇听、刷色綠)

(送 達 紙)

IMPERIAL JAPANESE TELEGRAPHS

R. No.	in Class	Date Stamp	To	Office No.
Office of Origin		Words	Time	Remarks
No.	Date			

Time Received By Collected by

(表)

PREPAID REPLY VOUCHER		RECEIPT FOR PREPAID REPLY VOUCHER	
Date stamp of issuing office	Amount prepaid (¥0.45)	No. (15)	Received a prepaid reply voucher for the amount of (¥ 0.45) for a telegram No. (135) handed in at (Sannomiya) Office on the (13th Feb.) 19 (25). (受取月日)
For a telegram No. (135) handed in at (Sannomiya) Office on the (13th Feb.) 19 (25).		Signature of Receiver	
Department of Communications		信第三十三號	

備考 括弧内ハ式紙ニハ印刷セサルモノトス

(裏)

Notice

1 This voucher entitles the holder to send, within thirty days from the date following the day of issue, an inland telegram not exceeding in cost described herein.

2 When this voucher be not used within the said period, the amount paid may be refunded to the payer on application to the telegraph Office of Origin within sixty days from the date following the day of payment. In such a case, this voucher must be returned with the application.

○返信料前納證書 (取文用)
紙面ノ大サ二號半截(縦一七・六釐、横一六・二釐)、紙質二號丁
(B模造紙五五听)、刷色紅

備考

總テ電報受料金受領取證書(和文用)ノ例ニ依ルモノトス

RECEIPT FOR TELEGRAPH CHARGES
TELEGRAM

Office No.

Telegram No.

Addressee.....

Sender.....

Charges.....

Remarks.....

Department of Communications

Date Stamp

信第六十三號

○電報料受領取證書 (取文用)
紙面ノ大サ一號(縦約一八・四釐、横約一七・四釐)、紙質上五號甲(薄美濃紙)、刷色黑

RECEIPT FOR TELEGRAM DELIVERED

Office No. _____ Telegram No. _____

To _____

Time received _____

Signature of Receiver _____

Remarks _____

Department of Communications

信第六十四號

Date stamp of issuing office

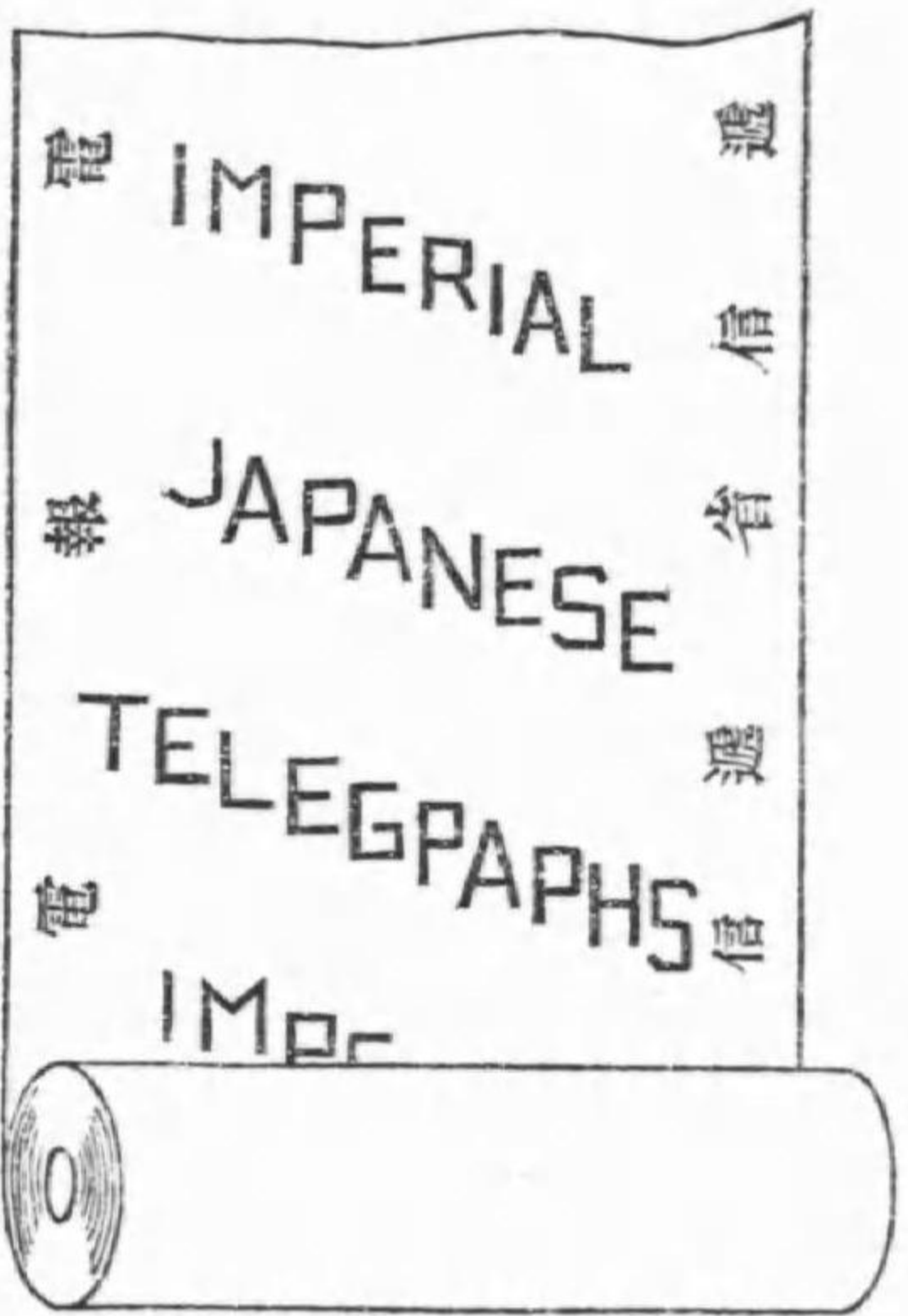
○電報受取紙 (歐文用)

紙面ノ大サ一號(縱約二三種)、紙質二號丙(B模造紙四五听)、副色黒

○電報受信紙

紙面ノ大サ(横約二・三種、縦約一・二・三米種)、紙質特(受信紙型)中質印刷紙四一听

(信第五號)



備考

- 一 紙面ノ文字ハ透シトス
- 二 本紙ハ和文及歐文ノ「タイプライター」受信及印刷電信機「テレタイプ」受信ニ共用スルモノトス
- 三 和文ニ使用スル場合ハ縦約一・八種歐文ニ使用スル場合ハ縦約一・三・六種ヲ以テ一枚分トス
- 四 記載様式及日附印捺ノ位置等ハ和文ニ付テハ「タイプライター」受信紙(和文用)、歐文ニ付テハ「タイプライター」受信紙(歐文用)ノ様式ニ準スルモノトス

○件名表

紙面ノ大サ三號乙半截(横約一九・三・四種)、紙質一號丙(薄模造紙三一听)、(刷色黒)

件名表
昭和 年 月 日

発信番號	著信局所名	摘要	信(語)數	料	金
		前葉ヨリ越			円
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
0					
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
0					
		後葉へ送り			

信第六十五號

- 備考
- 一 紙質ハハンプヲ以テ記載シ得ル様適當ナルモノヲ用ウルモノトス
 - 二 十位又ハ百位等ニ達スル毎ニ〇(零)ノ左傍ニ相當數字ヲ附記スルモノトス

○發著信番號表

紙面ノ大サ三號乙半截(横約一九・三・三種)、刷色黒

發(著)信番號表
昭和 年 月 日

番 號	番 號	番 號	番 號	番 號
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
0	0	0	0	0
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	8
9	9	9	9	9
0	0	0	0	0

信第七十號

- 備考
- 一 十位又ハ百位等ニ達スル毎ニ〇(零)ノ左傍ニ相當數字ヲ附記スルモノトス
 - 二 一葉ヲ數日ニ涉リ使用スルトキハ番號ノ左傍ニ月日ヲ附記スルモノトス
 - 三 一葉ヲ發着信又ハ官私報、局報等數種ニ併用スルトキハ各其ノ區別ヲ表示スルモノトス
 - 四 本表ヲ配達成績表ト併用スルトキハ別使配達、船船配達、郵便配達、翌朝配達、託送及局渡等ニ對シテハ各適當ニ之ヲ相當番號欄内ニ表示スルモノトス

○配達番號表

紙面ノ大サ三號乙半截(横約一九・三二種)、刷色黒

配達番號表
昭和 年 月 日

番 號	配 送	人 印	兼 配 番 號	往 復 丁 程	交 付 時 刻	歸 局 時 刻	實 費 時 分	備 考
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
0								
1								
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
0								

信第六十九號

備考

一 一葉ヲ數日ニ涉リ使用スルトキハ番號ノ左傍ニ月日ヲ附記スルモノトス

二 兼配ニ依リ行程ニ迂回ヲ生スルトキハ之ヲ通シタル丁程ヲ算定記入スルモノトス

三 別使配達、解船配達、郵便配達、翌朝配達、託送及局渡等ニ對シテハ各適當ニ之ヲ表示スルモノトス

四 事故ノ爲持戻リタルモノ其ノ他参考ニ資スヘキ事項ハ備考欄ニ其要旨ヲ記入スルモノトス

五 保管通知、事故電報、再達及爲替局報等ニ對シテハ別業ヲ使用スルモノトス

六 一日ノ終ニ於テ各人別ニ配達回数、配達通數、往復丁程及實費時分ヲ總計シ成績監査ノ資料トスヘシ

○配達成績表

紙面ノ大サ三號乙半截(横約一九・三二種)、刷色黒

配達成績表
昭和 年 月 日

番 號	往 復 丁 程	交 付 時 刻	歸 局 時 刻	實 費 時 分	備 考

信第七十一號

電報取扱規程 附錄様式

備考

退局午時 時間

出局午時 時間

總テ配達番號表ノ例ニ依ルモノトス

分 指定勤務時間

氏名

年配	月	日	著	信	發	所	信	認電	信信	主局	印任所	時電	報報	受受	刻取	受為	領領	替替	便便	證證	主局	印任所	備	考		

○爲替局報配達簿
爲替局報配達簿

配達カード

番 號	交 付 時 刻		配達人認印
	歸 局 時 刻		備 考
	往復丁程	實費時分	

信第七十二號

備考
百枚ヲ以テ一綴トシ適宜紙數番號ヲ附スルモノトス

○配達カード

紙面ノ大サ一號(横約一・二・四種、刷色黒)

○封印紙

紙面ノ大サ一號八截(横約三・四・二種)紙質二號丙
(B模造紙四五听)、刷色淡紅



○豫約新聞電報取扱簿

認可年月日	年	月	日	發信時刻	午	時	分	發信人住所	發信人氏名	受信人住所	受信人氏名(略名)	開始年月日	年	月	日	備考	料		
																	金額	年月日	備考

- 備考
- 一 豫約字(語)數ニ對スル料金ト超過字語數ニ對スル料金トハ各別ニ之ヲ記載スルモノトス
 - 二 豫約字(語)數ニ對スル料金ニハ何期分ト備考欄ニ記載スルモノトス
 - 三 超過字(語)數ニ對スル料金ハ別ニ補助簿ヲ設ケ計理シ徵收ノ都度之ヲ本簿ニ記載シ「何月分超過字(語)數ノ分」ト備考欄ニ記載スルモノトス
 - 四 豫約料金ニ異動ヲ生シタルトキハ其ノ事由及増減額ヲ備考欄ニ記載スルモノトス
 - 五 料金ヲ還付シタルトキハ別行ニ之ヲ朱書スルモノトス

○後納新聞電報取扱簿

題號	受信人住所	電報ノ種別	認可年月日	年	月	日	保證金		備考
							改定年月日	納付年月日	

裏面

一 發信人名ハ之ヲ抹消シ又ハ改書スルコトヲ得ス
 二 本證券面ノ發信人名ハ電報頼信紙ニ記載スル發信人名ト一致スルコトヲ要ス
 三 本證券ヲ提示シテ差出シタル新聞電報ト雖共ノ受付後電報規則第百二十條及第百二十一條ノ規定ニ違フモノアルヲ發見シタルトキハ同第百二十六條ニ依リ受信人ヨリ不足料金を徴收スルモノトス
 四 本證券ヲ亡失シタルトキハ速ニ交付局ヘ届出ツヘシ

注意

表面

第 號
 新聞電報發信證券
 發信人 略名 ()
 本證券ノ所持者ハ新聞電報認可規則ニ依リ前記受信人ニ宛テ新聞電報ヲ發信スルコトヲ得但シ差出ノ都度必ス本證券ヲ提示スルコトヲ要ス
 年 月 日 交付
 遞信局印

紙面ノ大サ一號半截(縱約六・三釐)紙質四號甲(B)模造紙一五〇听(刷色黒)

新聞電報發信證券

附録様式

裏面

一 本證券ヲ亡失シタルトキハ速ニ交付局ヘ届出ツヘシ
 若共ノ届出ヲ懈ルトキハ電報ヲ詐取セラレハ虞アリ

注意

表面

第 號
 新聞電報受信證券
 受信人 略名 ()
 前記受信人ニ宛テタル新聞電報ハ本證券ノ所持者ニ之ヲ交付ス
 但シ受取ノ都度必ス本證券ヲ提示スルコトヲ要ス
 年 月 日
 遞信局印

紙面ノ大サ一號半截(縱約六・三釐)紙質四號甲(B)模造紙一五〇听(刷色黒)

新聞電報受信證券

附録様式

電報取扱規程 附録様式

○後納發信券綴

紙面ノ大サ一號半截(横約八・五釐、縱約六・二釐)、紙質二號丙(B模造紙四五听)、刷色文字及輪廓黒
模樣五十葉綴淡赤
二十葉綴淡青

面表葉各

發信年	月	日
電報字(語)數		
電報料金		
受信人		
發信人		

備考

甲ハ五十葉ヲ以テ一綴トス
乙ハ二十葉ヲ以テ一綴トス

面裏葉一終最

受信人	略名()
發信人	
發信人ハ電報規則ノ定ムル所ニ依リ前記受 信人ニ宛テ料金後納ノ新聞電報ヲ發送スル コトヲ得但シ差出ノ都度必ス本券綴ヲ提示 シ且其ノ一葉ニ相當事項ヲ記入ノ上添附ス ルコトヲ要ス	
第 號	
(交付) 局	(日附印)

◎電信局所ノ電報取扱時間

大正十二年二月二十四日
告示第三百三十一號

電信局所ノ電報取扱時間ハ特定ムルモノノ外左ノ如シ

一、二等郵便、電信局集配三等郵便局

每年三月一日ヨリ
午後六時迄
每年十一月一日ヨリ
午後七時迄
每年二月末日迄
午後八時迄

電報配達事務ヲ取扱フ無集配三等郵便局、郵便取扱所及電信電話取扱所

每年三月一日ヨリ
午後七時ヨリ
每年十一月一日迄
午後八時迄
每年二月末日迄
午後八時迄

電報配達事務ヲ取扱ハサル無集配三等郵便局、郵便取扱所及電信電話取扱所

每年三月一日ヨリ
午後七時ヨリ
但シ十一月一日及休日ニ限リ正午迄トス
每年十一月一日ヨリ
午後八時迄
但シ二月末日迄
午後八時ヨリ
休日及休日は限リ正午迄トス
翌年二月二十九日ヨリ
午後三時迄
翌年三月一日迄ヲ除クノ外

電 信 取 扱 所 (午前八時ヨリ 午後八時迄)

◎電報取扱時間外ノ取扱ヲ爲ササル局所

昭和十一年十一月十三日
公達第八百七十八號

電報取扱時間外ノ取扱ヲ爲ササル局所ノ件左ノ通定ム

本公達ハ昭和十年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス
別ニ指定スルモノヲ除クノ外電報配達事務ヲ取扱ハサル無集配三等郵便局、郵便取扱所及電信電話取扱所ニ於テ
ハ電報取扱時間外ノ取扱ヲ爲サス

電報取扱時間及取扱局所

大正十二年二月公達第二百三十九號ハ之ヲ廢止ス

◎朝鮮總督府内時間外電報取扱中止

大正八年九月十五日
朝鮮總督府令第四百四十八號

時間外電報及時間外料ノ納付ヲ要スル外國電報ハ當分ノ内之カ取扱ヲ爲サス

附 則

本令ハ大正八年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

◎朝鮮總督府内電報取扱時間

大正八年九月十五日
朝鮮總督府告示第二百三十八號

郵便局所ノ郵便、電信、電話及郵便爲替、郵便貯金其ノ他各種ノ現金受拂取扱時間大正八年十月一日ヨリ左ノ通り改正ス

一 郵便 (省略)

二 電信

午前八時ヨリ午後八時迄但シ至急電報ハ何時タリトモ之ヲ取扱フ

電報取扱所ニシテ其ノ取扱時間ヲ制限スルトキハ別ニ之ヲ告示ス

三 電話通話及呼出(省略)

四 郵便爲替、郵便貯金、其ノ他各種現金受拂(省略)

特別ノ事情ニ依リ必要アルトキハ取扱時間ヲ延伸スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨當該局所前ニ揭示ス

◎朝鮮總督府電信取扱所電報取扱時間ノ件

大正八年十月十八日
朝鮮總督府告示第二百八十三號

電信取扱所ノ電報取扱時間中午前六時ヨリ午後八時迄及午後八時以後ハ至急電報ニ限り之ヲ取扱フ

◇ 通信局ヨリ地方通信官署へ通牒(大正八、九、二九)要領

朝鮮ニ於テハ來ル十月一日ヨリ當分ノ内時間外電報ノ取扱ヲ中止シ同時ニ其ノ電報取扱時間ヲ午前八時ヨリ午後八時迄ニ改正セシニ付右取扱時間外ニ於テ朝鮮ニ宛テ發スル電報ハ新聞電報及無線電報ヲ除クノ外總テ至急電報トシテ差出サシムル様受付ノ際注意アレ

◇ 電務局ヨリ遞信局、通信官署へ通牒(大正二四、二六、二七)要領

朝鮮總督府ニ於テハ別掲ノ如ク電報規則ヲ改正シ實施ノ處右ハ主トシテ内地ノ取扱ト歩調ヲ一ニスル爲改正セラレヨルモノニ有之中ニ就テ注意ヲ要スルモノ左ノ通ニ付了知相成度

一 朝鮮ニ於テハ從前通り當分ノ内時間外電報ノ取扱ヲ爲ササルモ追尾及再送ノ取扱ヲ爲ス電報ニ限り之カ取扱ヲ爲スコトトセルコト(大正十四年十月十日朝鮮總督府令第九十三號電報規則第八條、同日同府令第九十六號、大正八年九月十五日同府告示第二百三十八號、大正八年十月十八日同府告示第二百八十三號參照)

二 (昭和四年十二月二十四日電業第三一七〇號電務局ヨリ遞信局、通信官署へ通牒ニ依リ自然消滅)

◇ 電務局ヨリ遞信局、通信官署へ通牒(昭四、一二、二四)要領

朝鮮總督府ニ於テハ十月一日ヨリ電報規則ヲ改正シ新ニ夜間配達ノ取扱ヲ爲スコトトナリタルニ付テハ爾今朝鮮ニ宛ツル電報ニシテ電報規則第七條及電報取扱規程第二十二條ニ該當スルモノニ對シテハ「タラ」ノ指定ヲ要スル義ニ付受付上留意相成度

追而右ノ結果大正十四年十二月十日電業第二二六〇號通牒第二號ハ自然消滅ノコトト諒知相成度爲念

◇ 電務局ヨリ遞信局、通信官署へ通牒(昭和六、八、一九)要領

從來内地ヨリ朝鮮ニ宛テ發スル電報ニ付テハ内地ノ電報取扱時間開始後ト雖モ朝鮮ノ電報取扱時間開始(午前八時)前ニ在リテハ電報取扱時間ニ拘ラス取扱ヲ電報(時間外電報ヲ除ク)及夜間配達電報ノ外之カ受付ヲ爲シ得サリシ處爾今通常電報ニ付テモ内地(各自局ノ)ノ電報取扱時間開始後ニ於テハ朝鮮ノ電報取扱時間開始前ト雖モ之ヲ受付ケ朝鮮ニ對スル關門局迄送信シ得ルコトニ相成候間諒知相成度

追テ朝鮮ニ對スル關門局ニ於テ右通常電報ヲ受信シタルトキハ朝鮮ノ電報取扱時間ノ開始ヲ待チテ對手局ニ送信相成度

電報取扱時間及取扱局所

◎樺太廳郵便局事務取扱時間

昭和十年九月二十八日
樺太廳告示第二四三號

樺太廳郵便局所ニ於ケル事務取扱時間ハ特ニ定ムルモノノ外左ノ如シ但シ特別ノ事情ニ依リ必要アルトキハ取扱時間ヲ延伸シ又ハ休日、休暇日及始政記念日ニ於テモ郵便爲替、郵便貯金其ノ他各種現金受拂事務ノ取扱ヲ爲スコトアルヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ旨當該局所前ニ揭示ス

- 一 郵便受付 (省略)
- 二 郵便爲替、郵便貯金其ノ他各種現金受拂 (省略)
- 三 電報

郵便集配事務ヲ取扱フ郵便局

三月一日ヨリ	午前六時ヨリ
十月三十一日迄	午後八時迄
十一月一日ヨリ	午後七時ヨリ
翌年二月末日迄	午後八時迄

郵便集配事務ヲ取扱ハサル郵便局

三月一日ヨリ	午前七時ヨリ
十月三十一日迄	午後八時迄
十一月一日ヨリ	午後八時迄
翌年二月末日迄	午後八時迄

電信取扱所

三月一日ヨリ	午前八時ヨリ
十月三十一日迄	午後八時迄
十一月一日ヨリ	午後八時迄
翌年二月末日迄	午後八時迄

四 電話通話及呼出 (省略)

附則

本告示ハ昭和十年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十二年二月樺太廳告示第十五號ハ之ヲ廢止ス

◎臺灣總督府電信局所電報取扱時間

昭和十二年九月二十九日
臺灣總督府告示第二百二十號

電信局所ノ電報取扱時間ハ特ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ通定メ昭和十二年十月一日ヨリ之ヲ實施ス

大正十二年告示第三十號(電信局所ノ電報取扱時間)、同第四十七號(基隆郵便局基隆波止場出張所ノ電報取扱時間)及第百二十九號(臺北永樂町郵便局ノ電報取扱時間)ハ昭和十二年九月三十日限り之ヲ廢止ス

電信局及郵便集配事務ヲ取扱フ郵便局所

四月一日ヨリ	午前七時ヨリ
五月三十一日迄	午後八時迄
六月一日ヨリ	午前八時ヨリ
九月三十日迄	午後八時迄
十月一日ヨリ	午前七時ヨリ
三月三十一日迄	午後八時迄

郵便集配事務ヲ取扱ハサル郵便局所

四月一日ヨリ	午前八時ヨリ
五月三十一日迄	午後八時迄
六月一日ヨリ	午前八時ヨリ
九月三十日迄	午後八時迄
十月一日ヨリ	午前八時ヨリ
三月三十一日迄	午後八時迄

政記念日及臺灣神社祭日ハ午前十二時迄トス

◎南洋廳郵便局事務取扱時間

大正十二年十一月二十二日
南洋廳告示第十五號

大正十三年一月一日ヨリ南洋廳郵便局ニ於ケル郵便、電報、郵便爲替、郵便貯金及其ノ他各種現金受拂ノ事務ノ取扱時間ハ特ニ定ムル場合ノ外左ノ通トス

- 一 郵便、電報受付、午前七時ヨリ午後八時迄
- 二 郵便爲替、郵便貯金及其他ノ各種現金受拂事務

三月一日ヨリ	午前八時ヨリ
十月三十一日迄	正午十二時迄
十一月一日ヨリ	午前八時ヨリ
翌年二月末日迄	午後三時迄

但シ休日、日曜日(十二月二十九日ヨリ同三十一日)、一月一日、同二日及始政記念日ニハ其ノ取扱ヲ爲サス

郵便物搭載ノ艦船等發着ノ際及其ノ他必要ト認ムルトキハ前各號ノ規定ニ拘ラス臨時之カ取扱ヲ爲ス其ノ取扱日時ハ其ノ都度當該郵便局ニ於テ之ヲ揭示ス

電報取扱時間及取扱局所

◎電信事務開始ノ際取扱種別指定ニ關スル件

明治四十三年十一月二日
公達第八百二十七號

地方遞信官署

電信事務開始ノ場合ニ於テ電報取扱種別ノ指定ヲ爲ササルモノハ之ヲ内國和文及日滿和文電報トス從來内外國和文電報取扱局所ハ内國和文及日滿和文電報ノ取扱ヲ爲スモノトス

本公達ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年五月公達第三百二十六號ハ之ヲ廢止ス

◎配達ヲ取扱ハサル電信取扱所ニ於テ汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ノ交付ヲ取扱フノ件

明治四十五年四月十二日
告示第三百八十七號

來五月一日以降鐵道停車場内ニ在ル電報配達事務ヲ取扱ハサル電信取扱所ニ於テハ汽車中ニ在ル者ニ宛テタル電報ノ交付ヲモ取扱フ

◎公衆通信取扱所配達料査定ノ件

明治三十三年十二月十九日
公達第七百九十九號要領

一等郵便電信局

遞信局長ハ其ノ所轄内ニ於ケル公衆通信取扱所所在地ノ普通備役賃ヲ標準トシテ別使配達ハ其ノ里程ノ位置ハ其船配達ハ其ノ場所ニ依リ別使配達料及船配達料ヲ査定シ之ヲ其ノ電信電話施設者ニ達示スヘシ

遞信局長ハ非常ノ災害其ノ他特別ノ事故アリタル場合ニ於テ電信電話施設者ヨリ別使配達料又ハ船配達料ノ増給ヲ請求スルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス相當額ヲ査定シ臨時増額スルコトヲ得

前二項ニ依リ別使配達料及船配達料ヲ査定シタルトキハ之ヲ電務局ニ報告スヘシ
明治三十二年三月公達第八十六號ハ之ヲ廢止ス

日滿電報規則及取扱規程

局報發送規程

明治三十三年九月十三日
公達第四百四十六號

第一條

局報ハ特ニ發送シ得ヘキ規定アル場合ヲ除クノ外郵便其ノ他ノ方法ニテハ用ヲ辨セサル緊急ノ要務ニ限
リ左記部局所相互間ニ發送スルコトヲ得

遞信大臣官房

郵務局

電務局

管理局

工務局

經理局

電信電話建設事務所

電氣試驗所

貯金局及同支局

遞信局

遞信官署

臺灣總督官房

滿洲電信電話株式會社

滿洲電信電話株式會社電報局

滿洲電信電話株式會社電話局

第二條

本省管船局ト遞信局トノ間ニハ局報ヲ往復シ得サルモノトス(札幌遞信管理局照會通信局回答領明治四三、四、二〇)
局報ノ名宛ハ左記略名ヲ以テ記載スヘシ但シ長官宛ノモノハ其ノ略名ノ次ニ「長」ノ文字ヲ加フヘシ

局報發送規程

普通名

遞信大臣官房祕書課
遞信大臣官房文書課
遞信大臣官房監察課

郵務局
電務局
管理局
工務局
經理局

何電信電話建設事務所
電氣試驗所
遞信博物館
遞信官吏練習所
貯金局
何貯金支局
何遞信局

各遞信局

各郵便電信電話局所
各郵便局所
各電信局所
各電話局所

略名

文書書
監察書

郵務務
電務務
管務理
工務理
經理理

何遞信
何貯金

各遞信
何遞信

各遞信
各遞信

「通報ヲ要セサル局アルトキハ何名ヲ除ク」ト添記スヘシ

「一管轄區内ナルトキハ何區内ノ字ヲ冠スヘシ」

各電同
各電話同

遞信局何工務出張所
何試驗執行地試驗事務主任
臺灣總督官房
臺灣總督府交通局
樺太廳長官官房
樺太廳交通部
朝鮮總督官房
朝鮮總督府遞信局
京城貯金管理所
釜山貯金管理所
關東局官房
關東遞信官署遞信局
關東遞信官署貯金管理所
奉天貯金管理所
關東局管内郵便局所
南洋廳長官官房
南洋廳拓殖部
滿洲電信電話株式會社
滿洲電信電話株式會社電話局
臺灣總督府交通局
樺太廳交通部
朝鮮總督府遞信局
南洋廳拓殖部

何工務
何試驗
臺灣官房
臺灣交通房
樺太官房
樺太交通房
朝鮮官房
朝鮮遞信房
京城貯金
釜山貯金
關東官房
關東遞信房
關東貯金
奉天貯金
何郵便
南洋官房
南洋拓殖房
滿洲電信
何電話

各外地
通報ヲ要セサル部局アルトキハ「何部ヲ除ク」ト又關東遞信官署遞信局ニ通報ヲ要スルトキハ「關東遞信」ト添記ス

滿洲國交通部
 滿洲國郵政總局
 新京郵政管理局
 哈爾濱郵政管理局
 奉天郵政管理局
 滿洲國郵局
 何 課 部

新京交通部
 新京郵總
 新京振替
 哈爾濱振替
 奉天振替
 奉天郵局
 何 郵 局

何 局 所

何

事務ニ依リ局所ヲ異ニスルトキ
 其ノ他郵便電信又ハ電話等ノ事
 務表示ヲ便トスルトキハ郵、電
 又ハ話等ノ文字ヲ添記スヘシ

- 第三條 發信局所名ヲ以テ發スル局報ノ發信人所名ハ之ヲ省略スヘシ但シ特ニ規定アル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 局報ノ本文ハ特ニ其ノ記載方ノ規定アルモノノ外別ニ定ムル局報略號表ニ依リ略號ヲ以テ記載スヘシ但シ相當ノ略號ナク普通辭ヲ用ウルトキハ簡明ニ記載スルコトヲ要ス
- 第四條ノ二 第二條乃至第四條ニ反シテ記載シタル局報ハ之ヲ發送スルコトヲ得ス
- 第五條 局報ニハ別紙トシテ電報書法ニ依リ記載シタルモノヲ添付シ發送スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ別紙ヲ局報ニ附綴シ賴信紙ノ餘白ニ「別紙添付」ト記載シ其ノ通數ヲ附記スヘシ
- 第六條 各遞信局宛ノ局報其ノ他各局所宛ノ局報ハ之ヲ各通トセス一通ニ記載スヘシ
- 第七條 遞信局ハ管轄區内ノ各局所ニ必要アラズ宛局報ニ對シ適宜ノ略名ヲ定メ一通トシテ取扱ノ方法ヲ設クヘシ

◎野戰高等電信長等ニ往復スル局報取扱ノ件

大正五年二月四日 公達第五十六號

- 電信、無線電信、郵便、郵便爲替、郵便貯金事務ニ關シ左記各號ノ間ニ往復スル電報ハ局報トシテ取扱フヘシ
 - 一 野戰高等電信長又ハ野戰高等郵便長ト其ノ關係機關又ハ海軍軍用郵便監督官トノ間並之等ト局報發送規程第一條ノ部局所トノ間
 - 二 (削除)
 - 三 海軍港務部長ト海軍軍用郵便監督官トノ間
 - 四 臨時南洋群島防備隊及守備磨ト海軍港務部長、海軍軍用郵便監督官又ハ海軍軍用郵便所トノ間
- 前項ノ局報ニ關シテハ局報發送規程ヲ準用ス
 本公達ハ本月十一日ヨリ之ヲ施行ス

◎無料局報使用ニ關スル注意通牒要領

大正七年三月四日 電業第五四一五號

- 一 宛所ニ略名アルモノハ必ス略名ヲ以テ記載シ且之ヲ誤ラサルコト若シ發信局所ニ於テ普通名稱ヲ用キタルモノヲ發見シタルトキハ略名ニ改メ傳送シ一面發信人ニ對シ相當注意ヲ促スコト
- 二 發信局所名ヲ以テ發スルトキハ發信人名稱ヲ省略スルハ勿論之ヲ異ニスル場合ト雖回答指令等ニシテ發信人名ヲ表示セサルモ發信人ニ於テ之ヲ知り得ルモノハ必ス發信人名ヲ省略スルコト
- 三 發信人名ハ局、課、所、係名等ヲ用ウルヲ原則トシ長官名ヲ以テスルハ送達上特ニ必要アル場合ニ限ルコト
- 四 局、課、所、係長等宛親展ノ場合ト雖前號該當ノモノヲ除ク外宛名ハ「長」ヲ省略シ單ニ局、課、所、係等トシテ發送シ受信局、課、所、係等ニ於テハ其ノ長官宛親展ノモノトシテ處理スルコト
- 五 局報發信ニ際シテハ篤ト其ノ性質ヲ考慮シ濫リニ至急照校又ハ親展ノ指定ヲ用キサルコト又一通ニテ處辨シ得ヘキモノニ對シ同文又ハ各通ニテ發信スルモノアリ特殊ノ場合ニアラサル限り一通ニ止ムルコト
- 六 本文中重複ニ渉ル文字ハ絶對ニ之ヲ避ケ形容詞接續詞等ハ意味ヲ不明ナラシメサル限り省略スルコト

◎鐵道停車場肩書郵便列車乘務中ノ係員宛局報ニ
列車名表示方通牒

大正二年十二月二日
通業第五六四一號

記載例

原宛名

- 沼津驛氣付 東京神戶間下四號便係員
- 國府津驛氣付 東京國府津間下便係員
- 松本驛氣付 長野名古屋間上一號便係員
- 鹽尻驛氣付 長野名古屋間上一號便係員
- 横川驛氣付 東京新潟間上一號便長野局係員
- 同驛ニテ 東京新潟間上一號便東京局係員

局報記載例

- スマズレエキ
- コフヅエキ
- マツモトエキ
- シホジリエキ
- ヨコカワエキ
- ヨコカワエキ
- 一〇二レトウケイ

備考

- 一、「レ」ハ列車ノ略字トス
- 二、肩書中ノ「氣付」又ハ「ニテ」ノ文字ハ之ヲ省略シ尙宛名ノ便名、係員氏名ハ特ニ必要アル場合ノ外其ノ記載ヲ略スルモノトス
- 三、所掌區域ノ變更スル地點ニ在ル係員宛發送スル場合ハ必要ニ應シ前例ノ如ク所屬局ヲ記載スルモノトス
- 四、同一便ニシテ途中列車ヲ異ニスル場合アリ發送上注意ヲ要ス

氣象局報發受所名及分送表

大正十四年九月二十五日
公達第七百二十四號

一 氣象局報發受所名

長崎測候所 — 中央氣象臺沖繩支臺 — 名瀨測候所 — 石垣島測候所

以上ノ各測候所ハ定時氣象電報ヲ毎日三回中央氣象臺、海洋氣象臺、臺北觀測所及朝鮮總督府觀測所ニ宛テ發送スヘキモノトス

父島測候所 — 下關測候所 — 新潟測候所

潮岬測候所 — 境測候所 — 札幌測候所

以上ノ各測候所ハ定時氣象電報ヲ毎日三回中央氣象臺、海洋氣象臺及朝鮮總督府觀測所ニ宛テ發送スヘキモノトス

鹿兒島測候所

以上ノ測候所ハ定時氣象電報ヲ毎日三回中央氣象臺、臺北測候所及朝鮮總督府觀測所ニ宛テ發送スヘキモノトス

八丈島測候所 — 室戸岬測候所 — 石卷測候所 — 根室測候所

以上ノ各測候所ハ定時氣象電報ヲ中央氣象臺及海洋氣象臺ニ宛テ毎日三回朝鮮總督府觀測所ニ宛テ毎日一回發送スヘキモノトス

濱松測候所 — 福井測候所 — 伊吹山測候所 — 宮崎測候所

銚子測候所 — 輪島測候所 — 清水測候所 — 秋田測候所

氣象局報發受所名

青森測候所 浦河測候所 釜山測候所 城津測候所
紗那測候所 臺北觀測所 木浦測候所 南洋總觀測所ヤツブ出張所

以上ノ各測候所等ハ定時氣象電報ヲ毎日三回中央氣象臺及海洋氣象臺ニ宛テ發送スヘキモノトス

大阪測候所 嚴原測候所

以上ノ各測候所ハ定時氣象電報ヲ中央氣象臺ニ宛テ毎日三回朝鮮總督府觀測所ニ宛テ毎日一回發送スヘキモノトス

橫濱測候所	濱田測候所	福島測候所 <small>小名濱出張所</small>	仁川測候所
宇都宮測候所	廣島測候所	新潟測候所 <small>相川出張所</small>	新義州測候所
甲府測候所	岡山測候所	宮古測候所	元山測候所
前橋測候所	多度津測候所	中央氣象臺盛岡支臺	江陵測候所
富崎測候所	松山測候所	八戸測候所	雄基測候所
筑波山測候所	熊本測候所	函館測候所	中江鎮測候所
御前崎測候所	大分測候所	旭川測候所	濟州島測候所
名古屋屋測候所	福岡測候所	網走測候所	樺太廳測候所 <small>(大泊)</small>
長野測候所	富江測候所	帶廣測候所	樺太廳測候所 <small>敷香支所</small>
高山測候所	屋久島測候所	澎湖測候所	關東觀測所 <small>(大連)</small>
和歌山測候所	宮古島測候所	恒春測候所	芝罘觀測所
高知測候所	仙臺測候所	高雄海岸觀測所	
京都測候所 <small>宮津出張所</small>	福島測候所	阿里山高山觀測所	

以上ノ各測候所等ハ定時氣象電報ヲ毎日三回中央氣象臺ニ宛テ發送スヘキモノトス

室蘭測候所

樺太廳測候所同支所 關東觀測所旅順支所

以上ノ各測候所等ハ定時氣象電報ヲ毎日三回海洋氣象臺ニ宛テ發送スヘキモノトス

中央氣象臺

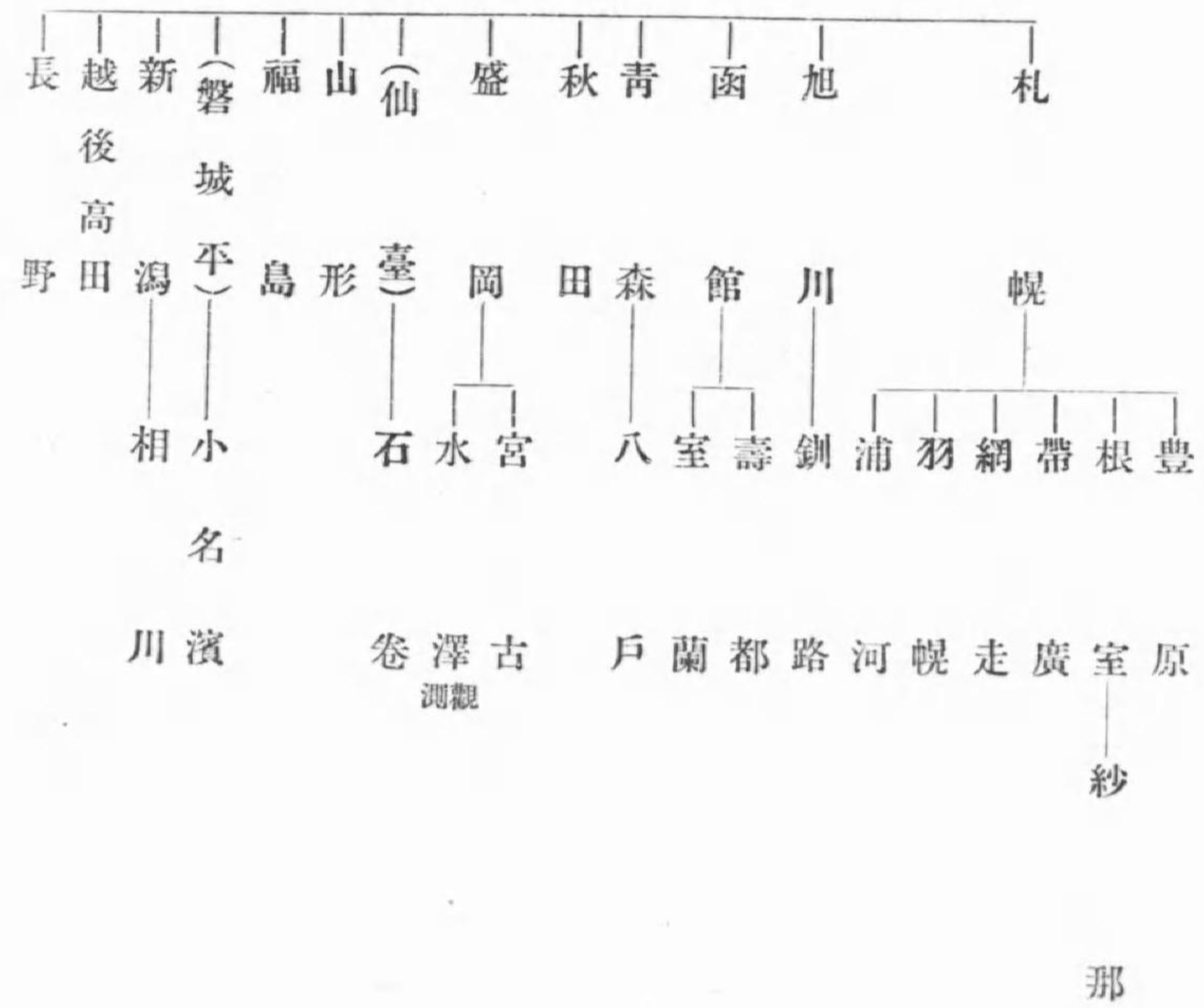
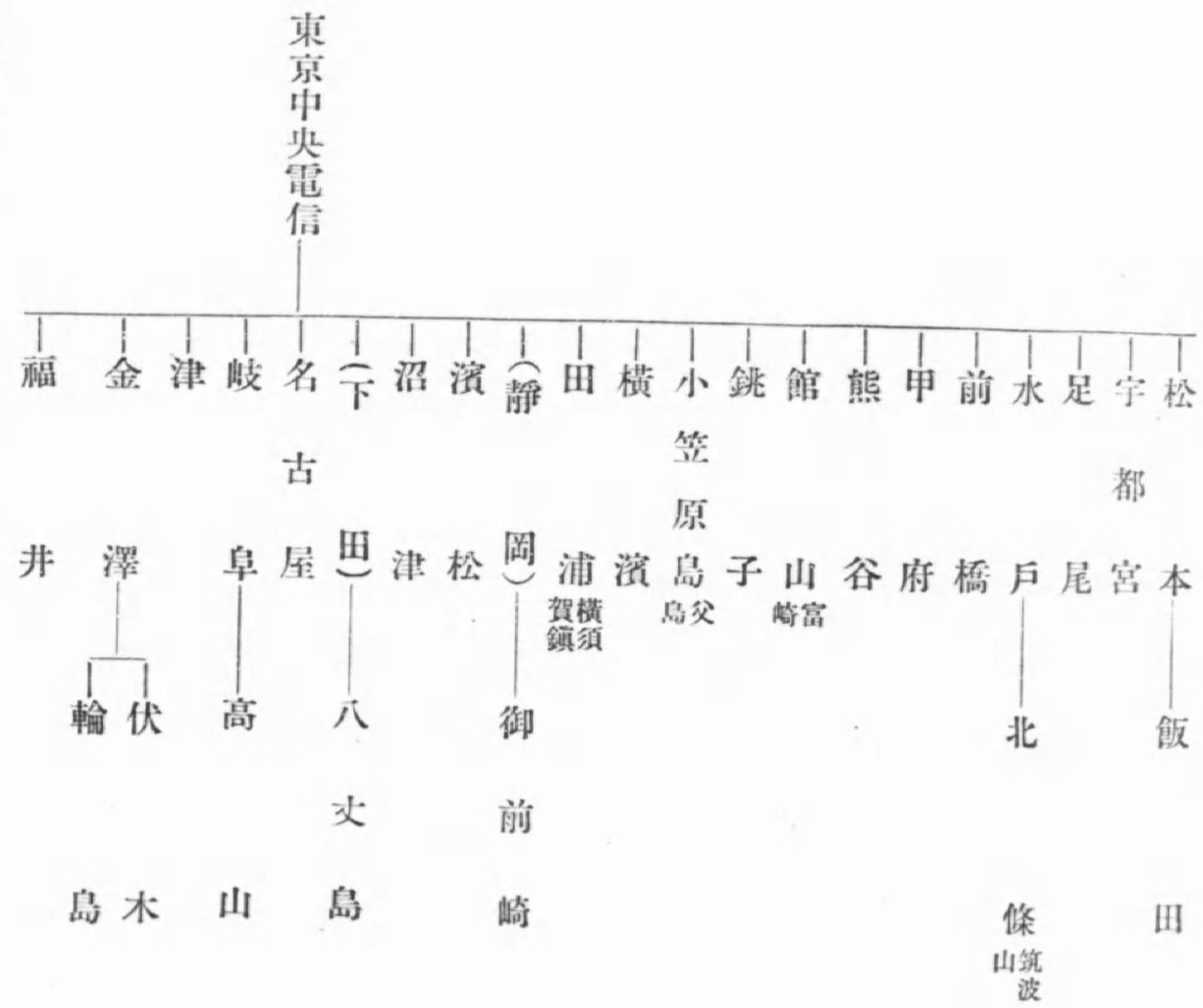
以上ノ測候所ハ定時氣象電報ヲ毎日三回朝鮮總督府觀測所ニ宛テ發送スヘキモノトス

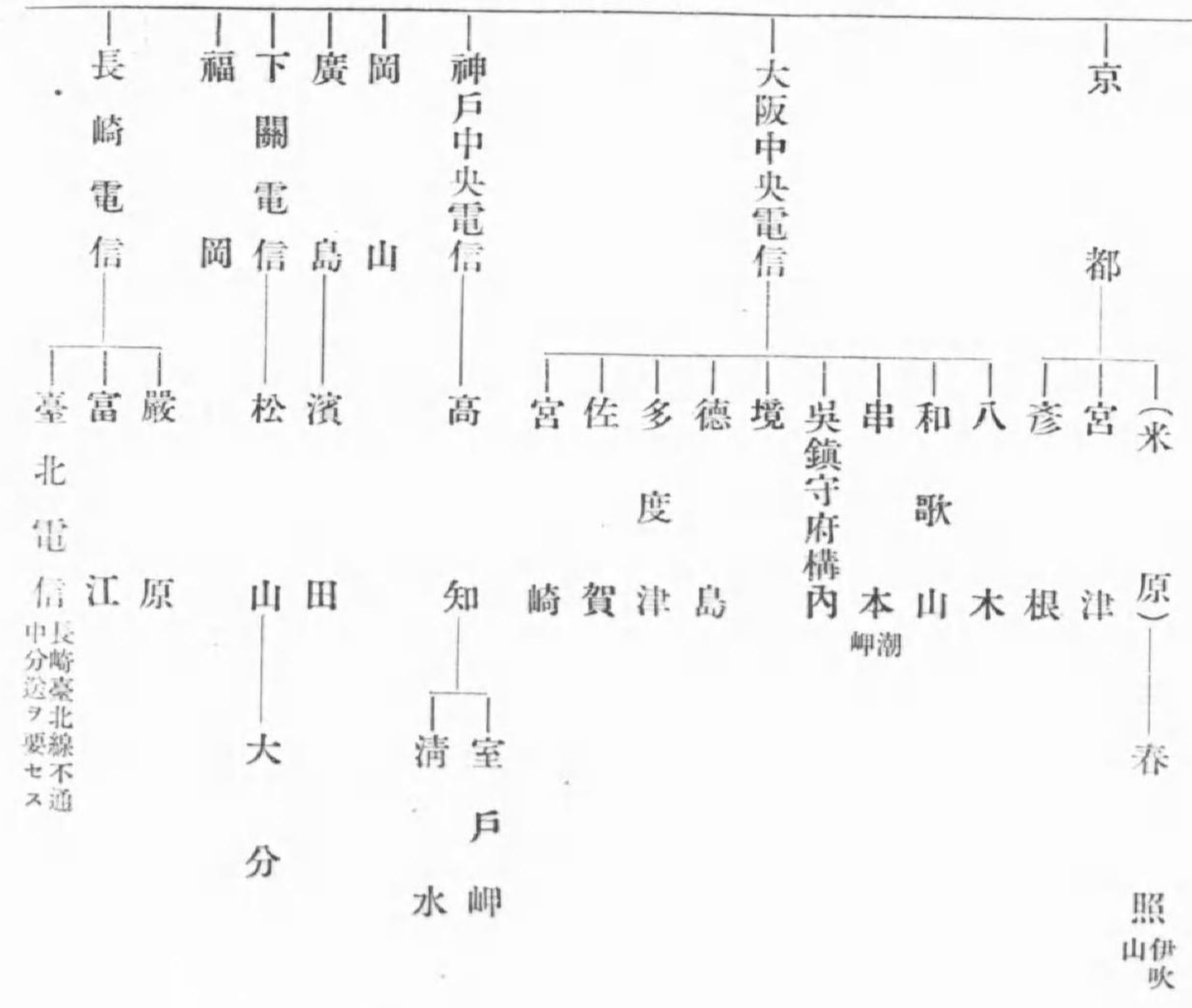
熊谷測候所	金澤測候所	徳島測候所	壽都測候所
足尾測候所	岐阜測候所	佐賀測候所	臺南測候所
沼津測候所	松本測候所	山形測候所	臺東測候所
水戸測候所	京都測候所	水澤觀測所	京城測候所
飯田測候所	彦根測候所	高田測候所	全州測候所
津測候所	神戸測候所	釧路測候所	大邱測候所
伏木測候所	八木測候所	羽幌測候所	平壤測候所

以上ノ各測候所等ハ定時氣象電報ヲ毎日一回中央氣象臺ニ宛テ發送スヘキモノトス

橫須賀鎮守府 吳鎮守府 佐世保鎮守府 臺中測候所

以上ノ各測候所等ハ定時氣象電報ヲ毎日一回海洋氣象臺ニ宛テ發送スヘキモノトス





括弧ヲ以テ圍ミタルモノハ中繼ノミヲ取扱フモノトス



◇ 日滿電報規則等制定ニ關スル件(昭八、八、三一)通牒
今般日滿電報規則日滿無線電報規則等制定セラレ九月一日ヨリ實施ノコトトナリタル處右ニ關シテハ左記了知ノ上實施上遺漏
ナキ様留意相成度

記

- 一 從來本邦ト關期應遞信局管内又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報ハ日華電報トシテ又本邦ト滿洲國トノ間ニ發著スル電報ハ外國電報トシテ各々其ノ取扱ヲ異ニシタルカ之ヲ統一シ日滿電報ナル單一ナル制度ヲ設ケタルコト
- 二 日滿電報カ内國電報ト異ナルハ單一ニ日滿電報規則ニ於テ規定セラレタル料金及取扱方法ノミニシテ其ノ他ノ點ニ付テハ全ク内國電報ト同様ナルコト
日滿電報カ内國電報ト異ナル點次ノ如シ
 - (イ) 和文電報ノ名宛ハ字數ニ拘ラス一語ト計算スルコト
 - (ロ) 和文電報ノ課金ノ單位ハ語數ヲ基礎トシ本文及指定ハ之ヲ通算シ各七字ヲ以テ一語トスルコト
 - (ハ) 和文電報ハ一通ノ課金語數三語ニ滿タサル場合ニ於テモ三語分ノ料金ヲ徵收スルコト
 - (ニ) 電報ノ料金ハ課金ノ單位ヲ語數制ニシタル結果一語料金ヲ制定シタルコト電報ノ特殊取扱料ハ語數制ニ伴フ改正ノ外ハ大體内國電報ト同様ナルコト
 - (ホ) 新聞電報ノ發信證票ハ本邦ニ於テ發行シタルモノハ滿洲電信電話會社ノ電信系ニ於テ又會社ニ於テ發行シタルモノハ本邦ニ於テ使用シ得ルコト
- 三 從來日華電報ノ取扱ヲ爲シタル局所ハ總テ日滿電報ノ取扱ヲ爲シ得ルコト
- 四 本邦滿洲國間發著電報ニ關スル電報ノ中繼順路、滿洲國電報局名等ニ付テハ當分ノ内從前ノ例ニ依ルコト
- 五 日滿電報ノ電報原書及件名簿ハ當分ノ内從來ノ日華電報ト同一處理ヲ爲スコト但シ日滿電報ノ關門局ニ於テハ日滿電報ノ電報原書ハ内國電報ノモノト區別シ整理スルコト
- 六 北支那及滿洲宛電報特別取扱ハ當分ノ内從前通取扱フコト但シ關東遞信官署遞信局管内ノ局ヲ著局トスルモノノ料金及取扱ハ日滿電報トシテ處理シ開島等朝鮮遞信局管内局ノ取扱ニカカルモノノ料金及取扱ハ從前ノ通トス

局報發送規程

日滿電報規則

昭和八年八月三十一日
省令第三十五號

第一條 日滿電報トハ帝國政府ノ電信系及滿洲電信電話株式會社ノ電信系ニ依リ左ノ各地間ニ發著スル電報ヲ謂フ

一 本邦内地、朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツブ島ト關東州又ハ滿洲國トノ間
二 前號ニ掲クル各地ト芝罘トノ間

第二條 日滿電報ニ關シテハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外内國電報ニ關スル規定ヲ準用ス

第三條 日滿電報ノ官報ト爲シ得ヘキモノハ電報規則第二條ニ掲ケルモノヲ除クノ外別ニ之ヲ告示ス

◇ 逓信省告示第二千四百十三號 (昭八、一〇、二八)

日滿電報規則第三條ノ規定ニ依リ日滿電報ノ官報ト爲シ得ヘキモノ左ノ如シ

國庫金取扱ニ關シ滿洲國中央銀行ノ本店、支店又ハ代理店ヨリ發スル電報ニシテ其ノ證印證印ノ印鑑ハ電報ヲ差出ス電信官署ニ豫メ之ヲ廻付シ置クモノトスアルモノ

第四條 日滿電報ノ局報ト爲シ得ヘキモノハ電報規則第三條ニ掲クルモノヲ除クノ外別ニ之ヲ告示ス

◇ 逓信省告示第二千四百十四號 (昭八、一〇、二八)

日滿電報規則第四條ノ規定ニ依リ日滿電報ノ局報ト爲シ得ヘキモノ左ノ如シ

一 電信、電話、無線電信、無線電話ノ事務ニ關シ滿洲電信電話株式會社所屬電報局又ハ電話局ト電信官署又ハ電話官署トノ間ニ發受スルモノ

二 電信、電話、無線電信、無線電話ノ事務ニ關シ滿洲電信電話株式會社ノ本社ト其ノ東京出張所トノ間ニ發受スルモノ

三 日滿郵便爲替又ハ日滿郵便振替ノ事務ニ關シ滿洲國郵政總局、滿洲國郵政管理局又ハ滿洲國郵局ト郵便官署トノ間ニ發受スルモノ

四 外國郵便規則第五十條及第七十五條ノ規定ニ依リ郵便物ノ代金引換ノ取消又ハ郵便物ノ取戻等ニ關シ滿洲國郵政

總局又ハ滿洲國郵局ト郵便官署トノ間ニ發受スルモノ

第五條 本文全部數字ヲ以テ記載シタル和文電報ハ其ノ名宛ヲ中國電報新編ニ依ル數字ヲ以テ記載スルコトヲ得

第六條 和文電報ノ名宛ハ其ノ字數ニ拘ラス之ヲ二語ト計算ス
連記シタル第二以下ノ各受信人名及逐書シタル追尾電報又ハ再送電報ノ第二以下ノ各居所ハ其ノ字數ニ拘ラス一語ト計算ス

第七條 和文電報ノ本文及指定ハ之ヲ通算シ各五字又ハ其ノ端數ヲ一語トス

第八條 日滿電報ニ對シテハ一通ノ課金語數五語ニ滿タサル場合ト雖五語分ノ料金を課ス

第九條 電報料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ
一 本邦内地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツブ島ト關東州、滿洲國

又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報
官報 和文 一語ニ付 八錢
私報 和文 一語ニ付 六錢

二 朝鮮若ハ芝罘ト關東州若ハ滿洲國トノ間又ハ朝鮮ト芝罘

トノ間ニ發著スル電報
官報 和文 一語ニ付 六錢
私報 和文 一語ニ付 八錢

第十條 電報ノ特殊取扱料ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外左ノ如シ

至急料 電報料ノ二倍
照校料 電報料ノ四分ノ一
電報受信報知料 電報ノ種別ニ依リ 五語ニ相當スル電報料ニ同シ

電報ノ種別ニ依リ 五語ニ相當スル電報料ニ同シ

郵便受信報知料 四錢但シ芝罘ニ宛ツル電報ニ關スルモノハ五錢
同文騰寫料 十錢
時間外料 三十錢

別使配達料
本邦内地、朝鮮、臺灣及南洋群島
著信電信官署ヨリ八キロメートル以内ハ三十錢、八キロメートルヲ加フ但シ島嶼ニ配達スルモノハ里程ニ拘ラス三十錢トシ配達實費之ヲ超ユルトキハ其ノ實費額ニ依ル

關東州及滿洲國
里程ニ拘ラス五十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超ユルトキハ其ノ實費額ニ依ル

本邦内地、朝鮮及臺灣
三十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超ユルトキハ其ノ實費額ニ依ル

關東州及滿洲國
八十錢 大連ニ限リトシ其ノ配達實費之ヲ超ユルトキハ其ノ實費額ニ依ル

芝罘
四十錢トシ其ノ配達實費之ヲ超ユルトキハ其ノ實費額ニ依ル

第十一條 新聞電報ニハ前二條ノ規定ニ拘ラス左ノ料金を課ス

新聞電報料

一 本邦内地、臺灣、樺太又ハ南洋ヤツブ島ト關東州、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル電報 和文 一語ニ付 三錢

二 朝鮮若ハ芝罘ト關東州若ハ滿洲國トノ間又ハ朝鮮ト芝罘トノ間ニ發著スル電報 和文 一語ニ付 四錢

至急料 新聞電報料ノ二倍
同文騰寫料 原信本文ノ語數ニ依リ十語迄毎二十錢

豫約新聞電報料

一 本邦内地、臺灣、樺太又ハ南洋 ヤツブ島ト關東州又ハ滿洲國ト ノ間ニ發著スル電報	年ニ豫約 額付	百語以內 歐和 文文	七百二十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
二 朝鮮ト關東州又ハ滿洲國トノ間 ニ發著スル電報	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千六百八十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	二千四百圓
豫約新聞電報料ノ二分ノ一	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓

豫約同文謄寫料

豫約新聞電報料ノ二分ノ一

第十一條ノ二 發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國關東州ヲ除ク内ニ於テ交換セラルル日滿電報ノ尋問、改正若ハ停止ニ關スル電報、追尾電報又ハ再送電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十二條 日滿電報ニ付テハ翌朝配達別使配達料受信人拂及船船配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サス

第十三條 在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ船船ニ依リ配達方請求ナキ限り普通郵便返信料前納證書ヲ付ヲ以テ送達ス

第十四條 配達方指定アル電報ト雖受信人移轉ノ爲ニ其ノ電報配達區域外ニ配達スルトキ亦同シ

第十四條 帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州及滿洲國ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二 新聞電報ノ發信人又ハ受信人ハ特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限り遞信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

◇ 日滿電報規則第十四條ノ二ノ規定ニ依リ料金受信人拂日滿新聞電報ヲ取扱フ電信官署ノ件昭和十三年三月二十六日告示第七百七十五號

日滿電報規則第十四條ノ二ノ規定ニ依リ料金受信人拂日滿新聞電報ヲ取扱フ電信官署ハ本邦内地一、二等郵便局及電信局經營拂出納官吏ヲ除ク並左ノ局所トス

- 帝國ホテル内郵便局
- 立川郵便局
- 葉山郵便局
- 箱根宮ノ下郵便局
- 中宮祠郵便局
- 嚴島郵便局

第十四條ノ三 料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條及第六十一條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ經過線路名ノ記載ヲ要セス

第十四條ノ四 (削除)

第十四條ノ五 例文慶弔電報ニハ語數ニ拘ラス和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十四條ノ六 (削除)

附 則

第十五條 本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十六條 本令施行前前條ニ掲クル規則ニ依リ認可ヲ受ケタル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ハ本令ニ依リ新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條 電報規則第二百二十八條乃至第四百三十三條ノ規定ハ發信人ニ於テ料金納付ノ責ヲ負フ豫約新聞電報ニ限リ之ヲ準用ス

電報規則第四百四十四條乃至第五百一十一條ノ規定ハ日滿電報ニ之ヲ準用セス

◇ 日滿和文電報ノ取扱ニ關スル件(昭和八年、一、二、二八) 外信第一七五二號

豫約新聞電報料

一 本邦内地、臺灣、樺太又ハ南洋 ヤツブ島ト關東州又ハ滿洲國ト ノ間ニ發著スル電報	年ニ豫約 額付	百語以內 歐和 文文	七百二十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
二 朝鮮ト關東州又ハ滿洲國トノ間 ニ發著スル電報	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千六百八十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	二千四百圓
豫約新聞電報料ノ二分ノ一	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
	年ニ豫約 額付	二百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓
	年ニ豫約 額付	三百語以內 歐和 文文	一千二百六十圓

豫約同文謄寫料

豫約新聞電報料ノ二分ノ一

第十一條ノ二 發信人又ハ受信人ノ請求ニ依リ帝國關東州ヲ除ク内ニ於テ交換セラルル日滿電報ノ尋問、改正若ハ停止ニ關スル電報、追尾電報又ハ再送電報ノ料金ハ一語ニ付六錢トス

第十二條 日滿電報ニ付テハ翌朝配達別使配達料受信人拂及船船配達料受信人拂ノ取扱ヲ爲サス

第十三條 在芝罘帝國電信官署ニ於テ電報直配達區域外ニ配達スル電報ニシテ配達方指定ナキモノハ受信人ヨリ豫メ船船ニ依リ配達方請求ナキ限り普通郵便返信料前納證書ヲ付ヲ以テ送達ス

第十四條 配達方指定アル電報ト雖受信人移轉ノ爲ニ其ノ電報配達區域外ニ配達スルトキ亦同シ

第十四條 帝國ニ於テ發行シタル新聞電報發信證票ハ關東州及滿洲國ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得

第十四條ノ二 新聞電報ノ發信人又ハ受信人ハ特ニ告示スル電信官署ニ發著スルモノニ限り遞信大臣ノ許可ヲ得テ料金受信人拂ノ取扱ヲ受クルコトヲ得

◇ 日滿電報規則第十四條ノ二ノ規定ニ依リ料金受信人拂日滿新聞電報ヲ取扱フ電信官署ノ件昭和十三年三月二十六日告示第七百七十五號

日滿電報規則第十四條ノ二ノ規定ニ依リ料金受信人拂日滿新聞電報ヲ取扱フ電信官署ハ本邦内地一、二等郵便局及電信局經營拂出納官吏ヲ除ク並左ノ局所トス

- 帝國ホテル内郵便局
- 立川郵便局
- 葉山郵便局
- 箱根宮ノ下郵便局
- 中宮祠郵便局
- 嚴島郵便局

第十四條ノ三 料金受信人拂新聞電報ニ付テハ外國電報規則第五十二條乃至第五十四條、第五十七條乃至第五十九條及第六十一條乃至第六十四條ノ規定ヲ準用ス但シ許可申請書ニハ經過線路名ノ記載ヲ要セス

第十四條ノ四 (削除)

第十四條ノ五 例文慶弔電報ニハ語數ニ拘ラス和文私報五語分ノ料金ヲ課ス但シ連記シタル第二以下ノ各受信人名ニ對シテハ一語分同文電報ノ原信ヲ除ク各通ノ名宛ニ對シテハ二語分ノ料金ヲ附課ス

第十四條ノ六 (削除)

附 則

第十五條 本令ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月遞信省令第百一號日華電報規則ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

第十六條 本令施行前前條ニ掲クル規則ニ依リ認可ヲ受ケタル新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ハ本令ニ依リ新聞電報ノ取扱又ハ新聞電報ノ豫約取扱ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

第十七條 電報規則第二百二十八條乃至第四百三十三條ノ規定ハ發信人ニ於テ料金納付ノ責ヲ負フ豫約新聞電報ニ限リ之ヲ準用ス

電報規則第四百四十四條乃至第五百一十一條ノ規定ハ日滿電報ニ之ヲ準用セス

◇ 日滿和文電報ノ取扱ニ關スル件(昭和八年、一、二、二八) 外信第一七五二號

日滿和文電報ノ取扱ヲ爲ス在滿各地(和文取扱局所在地及電送等)以外ノ各地例ヘハ軍隊駐屯地ニ宛テタル和文電報(軍用ヲ除ク)ハ名宛地ニ近キ和文取扱局ヨリ郵送セラレルニ付右電報ノ發信アリタルトキハ名宛地ニ近シト認メラルル和文取扱局ヲ著局トシ發信人ノ危險負擔ニ於テ受付相成度

◇ 日滿電報ノ取扱ニ關スル件(昭和一二、九、二八) (外信第八四六四號)

今般日滿電報規則中電報ニ關シ改正ヲ加ヘラレ昭和十二年十月一日ヨリ實施ノコトナリタル處右ニ關シテハ左記了知ノ上取扱上遺憾ナキヲ期セラレ度尙昭和十一年十一月十四日附外信第二二二六號通牒ハ自然消滅ノ義ト諒知相成度

- 一 日滿間ニ於テモ内國相互間ト同様電報ヲ全面的ニ實施ノコトトセルコト
- 二 日滿電報電報ニ付テハ從來同文ノ取扱ノ外特殊取扱ヲ爲ササリシ處同文、時間外及別使配達(別使配達料受)ノ取扱ヲ爲スコトトセルコト
- 三 日滿例文電報電報ニハ語數ニ拘ラス和文私報五語分ノ料金ヲ課スルコト
- 四 日滿電報同文電報ノ原信ヲ除ク各通ニ對シテハ同文謄寫料ノ外二語分ノ名宛料ヲ課スルコト
- 五 艦船發著日滿例文電報無線電報ニハ内國例文電報無線電報ト同額ノ料金ヲ課スルコト(日滿無線電報規則第五條ノ二)トセルヲ以テ同文無線電報ニ付テハ其ノ原信ヲ除ク各通ニ對シ同文料ヲ課セサルコト
- 六 南洋群島(ヤップ島、ト關東州、南滿洲鐵道附屬地、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル日滿電報無線電報ニ對シテハ南洋ヤップ島ト關東州、南滿洲鐵道附屬地、滿洲國又ハ芝罘トノ間ニ發著スル日滿電報無線電報ノ料金ト同額ヲ課スルコト
- 七 艦船發著日滿電報無線電報ニ對シ海岸局ニ於テ明細表作成ニ當リテハ摘要欄ニ「例文」ト記載シ料金欄中其ノ他ノ欄ニ合計額ヲ記入ノコト
- 八 日滿年賀電報ニ對シテハ郵便ニ依ル停止ノ取扱ハ爲ササルコト
- 九 日滿電報電報ノ取扱ニ付テハ本通牒ニ依ルノ外昭和十一年十月十六日附電業第一〇六〇號通牒(四四一頁參照)ニ依ルコト

日滿電報取扱規程

昭和八年八月三十一日
公達第四百七十七號

- 第一條 日滿電報ノ取扱ニ關シテハ特ニ定ムル場合ヲ除クノ外内國電報ノ例ニ依ルヘシ
- 第二條 和文電報賴信紙ニハ字數欄上部ニ亞刺比亞數字ヲ以テ課金語數ヲ附記スヘシ
- 第三條 名宛ヲ中國電報新編ニ依ル數字ヲ以テ記載シタル和文電報ノ名宛ヲ傳送スルトキハ數字四箇毎ニ五短點ニ相當スル間隔ヲ置クベシ
前項ノ名宛ヲ受信スルトキハ數字四箇毎ニ適宜ノ間隔ヲ置キ記載スヘシ
- 第四條 名宛ヲ中國電報新編ニ依ル數字ヲ以テ記載シタル和文電報ハ發信局名及名宛ヲ漢字ニ翻譯シテ交付スヘシ
- 第五條 芝罘電信局ニ於テ電報ノ配達其ノ他ノ取扱ニ關シ郵便ヲ使用スル場合ハ料金完納ノ郵便ニ依ルヘシ
- 第六條 芝罘電信局ニ於テ電報直配達區域外ニ郵便ニ依リ配達スル電報ニシテ受信人ヨリ料金ノ追徴ヲ要スルモノアルトキハ郵便ヲ以テ其ノ旨受信人ニ通知シ料金ノ納付ヲ俟テ電報ヲ交付スヘシ
- 第七條 滿洲電信電話株式會社ニ於テ發行シタル新聞電報ノ發信證票ハ帝國政府電信系及芝罘電信局ニ於テ之ヲ使用スルコトヲ得ルモノトス
- 第七條ノ二 料金受信人拂新聞電報ニハ郵便切手欄ニ「料金受信人拂」ト朱書スヘシ
- 第七條ノ三 料金受信人拂新聞電報ニ對シテハ發信局ニ於テ一月分毎ニ左ノ様式ニ依リ受信人別ニ明細書(正副)ヲ作成シ翌月七日迄ニ電務局ニ送付スヘシ

式様書細明

日	附	發信番號	電報名宛	語	數	料	金	摘	要
計									

第七條ノ四

料金受信人拂新聞電報ニ關スル左ノ事項ニ付テハ外國電報ノ例ニ依ルヘシ但シ許可申請書ニハ經過線路名ノ記載ヲ要セス且許可ハ關門局ニ通知セサルモノトス

一 許可手續 外國電報取扱規程第三百八十二條及第三百八十四條

二 發信證票 外國電報取扱規程第三百八十三條

三 保證金 外國電報取扱規程第三百八十五條乃至第三百八十七條

四 料金ノ徵收 外國電報取扱規程第四百三條及第四百四條

五 取扱ノ停止又ハ許可ノ取消 外國電報取扱規程第四百五條

第八條 (削除)

第九條 電信局所ニ對シ日滿電報ノ事故ニ關シ申告アリタルトキハ左ノ通處理スヘシ

一 料金還付ニ關係アルモノ及料金還付ニ關係ナキモ電信業務上特ニ調製ヲ要スト認ムルモノハ之ヲ電務局ヘ移牒スヘシ

二 前號以外ノモノニ付テハ自局所限リ相當處理スヘシ

第十條 電信法第五條ニ牴觸スル疑アル電報ヲ發見シタルトキハ之カ送達ヲ中止シ直ニ其ノ電報ヲ別紙トシテ添附シ局報ヲ以テ大臣ニ其ノ事由ヲ具申シ指揮ヲ受クヘシ但シ受付ノ際之ヲ發見シタルトキハ成規ノ手續ニ依リ受付ヲ了スヘシ

第十一條 日滿電報ニ使用スル紙様式左ノ如シ

本條ニ規定ナキモノニ付テハ内國電報ニ用ウル様式ヲ使用スヘシ

附 則

本公達ハ昭和八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十三年十一月十一日公達第八百二十一號日華電報取扱規程ハ之ヲ廢止ス

本公達施行前ニ受付ケタル電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

様式第一號

料金受信人拂日滿新聞電報發信證票(表面)

第 號 () 年 月 日迄有效)

料金受信人拂日滿新聞電報發信證票

發信人 (住所)

(氏名)

右者日滿電報規則ニ依リ 局發 宛

料金受信人拂日滿新聞電報發送ノ許可ヲ有スルコ

トヲ證明ス

年 月 日

遞 信 省

同

(裏面)

一、本證票ハ日滿新聞電報差出ノ都度取扱局ヘ提

示スルコトヲ要ス

二、本證票ノ所持者ニシテ 年 月 日後引續

キ料金受信人拂日滿新聞電報ノ發送ヲ繼續セ

ントスルトキハ本證票有効期間經過前豫メ交

付局ヘ請求シ新證票ノ交付ヲ受ケラルヘシ

◇ 滿洲電信電話株式會社電信系内ノ分配局ニ關スル件(昭和一二、九、一〇)
告知

滿洲電信電話株式會社電信系内ニ於ケル日滿電報ノ分配局及所轄區域左ノ如シ

分配局名 所轄區域

大連 關東州内

奉天省、安東省、通化省、錦州省、熱河省

新京 興安東省、興安西省、興安南省、興安北省、龍江省

哈爾濱 吉林省、間島省

三江省、濱江省、牡丹江省、黑河省

- 陸軍軍用電報取扱規程
- 陸軍動員令電報取扱規程
- 海軍充員令電報取扱規程

陸軍軍用電報取扱規程

陸軍軍用電報取扱規約

大正四年六月十日 昭和二年一月二十一日
公達第二百九十四號 公達第五十八號改正

陸軍軍用電報取扱規約

第一章 總 則

第一條 本規約ハ陸軍電信部隊ノ電信所(陸軍固定無線電信所ヲ含ム、以下單ニ電信所ト稱ス)ト公衆電信取扱局所(無線電信取扱所ヲ含ム、以下單ニ電信局所ト稱ス)トノ間竝電信局所相互間ニ發著スル軍用電報ニ付適用スルモノトス但シ第二條第二號、第四條第二號第三號、第五條第二項、第七條及第四章ノ規定ハ電信局所相互間ニ發著スルモノニ付テハ之ヲ適用セス

本規約ニ明文ナキ事項ニ付テハ公衆電報ニ關スル一般ノ規定ニ依ルモノトス

第二條 軍用電報ハ左ノ二種トス

一 官 報

二 所報(電信局所ニ於テハ局報トス、以下同シ)

官報トハ第四條ノ規定ニ依リ發信權ヲ有スル者又ハ第五條ノ規定ニ依リ其ノ發信ヲ特許セラレタル者ヨリ發スル軍事ニ關スル電報ヲ謂フ

官報ハ左ノ三種トス

一 軍機電報 (作戰又ハ之ニ關聯スル電報ニシテ其ノ取扱ノ遲速ハ直ニ軍ノ爲至大ノ影響ヲ及ホスヘキ極メテ緊要ニシテ且急速ヲ要スルモノヲ謂フ)

二 至急官報

三 通常官報 (電信局所ニ於テハ官報トス、以下同シ)

第四條 官報ノ發信權ヲ有スル者左ノ如シ

一 軍 機 電 報

陸軍軍用電報取扱規約

陸軍大臣、參謀總長、兵站總監、軍司令官、兵站監、獨立シテ作戰スル團隊ノ指揮官、要塞（又ハ要塞系）司令官、防衛司令官及戰時指揮官

二 至急官報

前號ニ掲クル者、師團長、陸軍次官、參謀次長、大本營參謀タル少將（又ハ大佐）、兵站總監ニ隸屬スル長官、陸軍省局長、參謀本部部长、運輸通信長官部隸屬機關ノ高級先任者、參謀長（之ニ準スル者ヲ含ム）獨立シテ行動スル部隊ノ長、分遣セラレタル幕僚、兵站司令官（其ノ支部ノ長ヲ含ム）、鐵道船舶輸送諸部ノ司令官（其ノ支部ノ長ヲ含ム）、海岸監視哨、要塞監視哨、防空監視哨及將校斥候長

第五條

第一號及前號ニ掲クル者、高等司令部ノ部長（之ニ準スル者ヲ含ム）、軍參謀部各課高級參謀、高級副官、郵便長、野戰郵便局所長、獨立部隊（又ハ諸機關）ノ長及分遣隊長
陸軍大臣、參謀總長及軍司令官ハ其ノ隸下ニ在ル前條第二號及第三號ニ掲クル者ニ臨時權限外ノ發信權ヲ付與スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ其ノ電報ノ種類及特許ノ有効期間ヲ記載シタル證明書ヲ下附スルモノトス

第二章 差出及通信

第七條 電報一通ノ本文（語）數ハ有線電報（有線電信ノミニ依リ送受スヘキモノヲ謂フ）ニ在リテハ和文約七百字歐文約二百語、無線電報（通信ノ徑路中一部無線電信ニ依ルモノヲ含ム）ニ在リテハ和文約四百字歐文約百二十語ヲ超エサルコトヲ要ス

第六條

前條第一號ニ掲クル者、兵站司令官（其ノ支部ノ長ヲ含ム）及鐵道船舶輸送諸部ノ司令官（其ノ支部ノ長ヲ含ム）ハ必要ノ場合發信權ヲ有セサル者ニ通常官報發信ノ特許ヲ與フルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ發信ノ特許ヲ爲シタル者ハ當該賴信紙ノ餘白ニ其ノ職氏名ヲ記載シ捺印又ハ花押スルモノトス
返信人ハ其ノ返信ニ限リ之ニ對スル往信ト同一送達順位又ハ其ノ以下ノ電報ヲ發信スルコトヲ得ルモノトス

第二章 差出及通信

第八條 著信所（局所）ヲ異ニスルモ本文ヲ同シクスル電報ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ通以上アルトキハ其ノ第二以下ノ電報本文ノ記載ヲ省略スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第一電報ノ餘白ニ其ノ總通數ヲ又第二以下ノ電報本文欄ニ「某宛ト同文」ト記載スルモノトス
一 同一電信所（電信局所）迄同一通信路ニ依リ送信スヘキモノ
二 同一無線電信所（無線電信局）ヨリ直接通信シ得ヘキ二箇以上ノ無線電信所（無線電信局所）ニ送信スヘキモノ

第九條

發信人ハ其ノ居所竝第四條及第五條ノ規定ニ依ル發信權ヲ表示スルニ足ルヘキ職（要スレハ官）氏名ヲ賴信紙相當欄ニ記載シ捺印又ハ花押スルモノトス
第十條 第五條第一項ノ規定ニ依ル發信人又ハ第六條ノ規定ニ依ル返信人ハ賴信ノ際證明書又ハ往信ヲ電信局所ニ提示スルモノトス

第十一條

第四條及第五條ノ規定其ノ他成規ニ違反シ取扱上支障アリト認ムル電報ハ之ヲ受付ケサルモノトス
第十二條 無線電信ニ依リ暗號電報（秘辭又ハ隱語ヲ用キタルモノヲ謂フ）ヲ送受スルトキハ別ニ定ムル所ニ依リ受信人ノ居所職（官）氏名及要スレハ發著所（局所）名等秘密保持上必要ナル箇所ハ之ヲ暗號ニ改メ送信シ當該無線通信徑路中最終ノ無線電信所（無線電信局所）ニ於テ之ヲ原文ニ復シ取扱フモノトス

第十三條

軍機電報ニハ左ノ指定ヲ爲シ其ノ識別ヲ容易ナラシムル爲賴信紙下端餘白ニ適宜ノ赤色紙ヲ貼附シテ之ヲ賴信スルモノトス
第三章 軍機電報
指定事項 和文略號 歐文略號
軍機 軍機 ユナヨケ URMV
第十四條 軍機電報ハ電話託送ニ依リ之ヲ賴信スルコトヲ得ス
一 軍機電報ハ電信局所ニ於テ左ノ如ク之ヲ取扱フモノトス
一 軍機電報ハ動員令電報又ハ海軍充員令電報ニ次キ總テノ電報ニ先チ取扱フモノトス

- 二 軍機電報ノ料金ハ至急官報ノ料金ニ同シ
- 三 軍機電報ハ其ノ料金ニ不足アルカ又ハ全ク之ヲ納付セサルモノト雖先ツ其ノ送達ヲ爲シタル後相當整理ノ手續ヲ爲スモノトス
- 四 軍機電報ハ取扱時間ニ拘ラス取扱フモノトス
- 五 軍機電報ノ種類ニハ左ノ略號ヲ用ウルモノトス

和文略號 歐文略號
 軍機電報 ラ イ S V

- 六 時間外ノ取扱ヲ爲ササル電信局所ニ著スル軍機電報ニシテ其ノ取扱時間外ニ亘ルモノアルトキハ便宜ノ電信局所ヨリ別使ヲ以テ配達スルト取扱時間ノ開始ヲ待チテ送達スルト執力速達スヘシト認ムル方法ニ依リ之ヲ取扱フモノトス
- 七 艦船又ハ電報直配達區域外ニ配達スヘキ電信局所著ノ軍機電報ニシテ配達方ノ指定ナキモノト雖船又ハ別使ヲ以テ配達スルモノトス
 前項ニ依ル船配達料又ハ別使配達料ハ受信人ヨリ之ヲ徴收スルモノトス
- 八 電信局所著ノ軍機電報ヲ艦船ニ配達スル場合ニ於テ其ノ地ニ陸軍又ハ海軍所管ノ官衙アルトキハ力速達ヲ圖ル爲著信局所ヨリ直ニ之ヲ其ノ官衙ニ配達シ轉送ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス但シ電信局所ヨリ直ニ艦船ニ配達スル方速達スヘシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 九 外國電信系ヲ經過スル軍機電報ニシテ帝國電信系内ヨリ發スルモノハ外國電信系連絡局迄「ARMY」ノ局内心得ヲ添付シ且其ノ種類略號ニハ「SA」ヲ用キ送信シ該連絡局ニ於テ相當種類ニ變更スルモノトス

第四章 聯送電報

第十五條 電信所ト電信局所トノ間ニ發著スル電報ハ之ヲ聯送電報ト稱ス

第十六條

聯送電報ニ關シ電信局所ト電信所トノ間ニ發著スル電報ハ所報トシテ取扱フモノトス
 電信、無線電信、郵便、郵便爲替、郵便貯金ノ事務ニ關シ野戰高等電信長又ハ野戰高等郵便長ト其ノ關係機關及主席艦船郵便吏トノ間立之等ト遞信部内關係トノ間ニ發著スル電報亦前項ニ同シ

第十七條

聯送電報ニ用ウル發著電信所名ニハ「軍用」(無線電信所ニ在リテハ「陸無線」)ト附記スルモノトス
 無線電信所無線電信局所ヲ經由スル聯送電報ニ付テハ前項ニ依ルノ外無線電信所ヨリ受信シタルモノニ在リテハ該無線電信局所ニ於テ發信所名ノ下ニ其ノ局所名ヲ附記シ無線電信局所ヨリ無線電信所ニ送信スヘキモノニ在リテハ受付局所ニ於テ著信所名ニ經由無線電信局所名ヲ冠スルモノトス

第十八條

電信所ヨリ發スル聯送電報ノ受付時刻ハ該電信所ノ受付時刻ニ依ルモノトス

第十九條

電信局所ヨリ發スル電報ニシテ受付ノ際著信所判明セサルモノハ聯接電信所(軍用電信系ト公衆用電信系トヲ聯接スル電信所ヲ謂フ、以下同シ)ヲ以テ著信所ト爲スモノトス

第二十條

聯接電信所ニ於テ前項ノ電報ヲ受信シタルトキハ著信所名ヲ改正シ之ヲ送信スルモノトス
 聯接電信所ニ於テ電信所(電信局所)ヨリ受信シタル聯送電報ニ付テハ其ノ指定事項ニ限り追加又ハ削除スルコトヲ得ルモノトス

第二十一條

發信人又ハ受信人ハ不達ニ歸シタル聯送電報ノ再度ノ送達ヲ著信後三日以内ニ發信所又ハ著信所ニ請求スルコトヲ得ルモノトス

第二十二條

聯送電報ニ付テハ電信局所ト同一構内ニ在ル聯接電信所ノ取扱ニ係ル電線託送料ニ限り之ヲ徴收セサルモノトス

第二十三條

聯送電報ニシテ電信所ヨリ發信スルモノノ料金(軍用電信系以外ニ於テ爲シタル追尾及再送等ノ料金ニシテ受信人ヨリ追徴シタルモノヲ除ク)及電信所ニ著スルモノニ關スル追尾、再送其ノ他追徴ヲ要スル料金ハ特ニ規定スル場合ヲ除ク外電信官署ノ調定ニ依リ該電信所ヲ管轄スル電信隊長又ハ

臨機定ムル部隊長之ヲ支拂ヒ電信局所ヨリ發信スルモノノ料金ハ發信人之ヲ支拂フモノトス
附 則

本規約ハ昭和二年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

陸軍動員令電報取扱規程

大正十一年九月四日
公達 第千五百號

陸軍動員令電報取扱規程

- 第一條 動員令電報トハ帝國陸軍ノ全部又ハ一部ニ動員ヲ行フニ當リ第二條ニ掲ケタル系統ニ依リ其ノ官憲相互ノ間ニ往復スル動員令ノ送達及其ノ返信ノ電報ヲ謂フ
- 第二條 動員令電報ヲ發受スヘキ官憲ノ系統ハ附表ニ依ル
- 第三條 動員令電報ハ左ノ二種トス
 - 第一種 動員ヲ實施スヘキ部隊及召集徵發ヲ實施スヘキ聯隊區司令官、支廳府縣ニアル支廳ヲ除ク警察署及市町村ヘノ傳達及之カ返電
 - 第二種 其ノ他ノ部隊地方官衙公署ヘノ通報
- 第四條 動員令電報ハ左ノ各號ニ依リ一般電報ト區別スヘシ
 - 一 指定欄内ニ至急ノ略號(ウナ)、第一、第二種ノ略字(一)(二)及「動員令」ト片假名ニテ記入シ至急電報ノ符號ト第一、第二種ノ略字トノ間ヲ「○」ニテ區別ス
 - 二 名宛欄内下部餘白ニ「動員令」ト朱記ス
 - 三 發信人居所氏名記入欄内ニ動員令ヲ發送スル官廳名若ハ部隊號ヲ記入シ官印ヲ押捺ス
- 第五條 動員令電報ノ種類ハ左ノ略號ヲ用ウヘシ

動員令電報

略 號
ナ ケ

- 第六條 動員令電報ハ受付傳送及配達共總テノ電報ニ先タチ努メテ迅速ニ之カ取扱ヲ爲スヘシ但シ同一電信取扱局所ニ於テ兩種ノ電報輻輳スルトキハ先ツ第一種ヲ取扱ヒ次ニ第二種ニ及ホスモノトス
- 第七條 數多ノ動員令電報ヲ同一電信取扱局所ヨリ同時ニ發送スル場合ニ於テ發送順序ヲ指示スル爲陸軍官衙軍

陸軍動員令電報取扱規程

隊ヨリ將校若ハ下士ヲ發信局所ニ差遣シタルトキハ其ノ指示ニ依リ發信スヘシ

第八條 動員令電報ヲ取扱ニ關シテハ電報規則第九章ヲ適用セサルモノトス

第九條 動員令電報ハ電報取扱時間ニ制限アル局所ト雖其ノ制限時間外ニ於テ取扱ヒ得ル場合ハ之ヲ取扱フモノトス

第十條 電報取扱時間ニ制限アル局所ニ著スヘキ動員令電報ニシテ著信局所ノ電報取扱時間外ナルカ爲其ノ取扱ヲ爲シ得サルコト明瞭ナルトキハ特定著信局所ヨリ之ヲ配達ス此ノ場合ニ於テ直配達區域外ナルトキハ別使配達ノ指定ナキモノト雖別使ヲ以テ配達シ其ノ料金ハ受信人ヨリ追徴スルモノトス

第十一條 動員令電報ニシテ直配達區域外ニ宛テタル場合ハ別使配達ノ指定ナキモノト雖別使ヲ以テ配達シ其ノ料金ハ受信人ヨリ追徴スヘシ

第十二條 動員令電報ノ指定欄内ニ記入スル文字及數字ハ之ヲ有料字數中ニ算入スヘシ

第十三條 動員令電報ハ其ノ貼附切手ニ不足アリ又ハ全ク之ヲ貼附セサルモノト雖先ツ其ノ電報ヲ傳送シ然ル後相當切手ヲ貼附スル等整理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十四條 動員令電報ハ必要ニ應シ一般中繼順路ニ依ラス最モ速達スヘキ線路ニ依リ通信スヘシ

第十五條 本規程ニ定メタル事項ノ外ハ總テ一般ノ規定ニ依ルヘシ

前項ノ電報ハ左ノ各號ニ依リ動員令電報及一般電報ト區別スヘシ

一 應急動員令、臨時動員令、臨時召集令若ハ要塞戰備令ノ電報ハ指定欄内ニ至急ノ略號(ウナ)及「應急動員令」、「臨時動員令」、「臨時召集令」若ハ「戰備令」ト片假名ニテ記入シ至急ノ略號ト「應急動員令」、「臨時動員令」、「臨時召集令」若ハ「戰備令」トノ間ヲ「○」ニテ區別ス第一種第二種ノ區別ナシ

二 名宛欄下部餘白ニ「應急動員令」、「臨時動員令」、「臨時召集令」若ハ「戰備令」ト朱記ス

應急動員令、臨時動員令、臨時召集令若ハ要塞戰備令ノ電報若シ同一電信取扱局所内ニ於テ動員令電報ト輻輳スルトキハ左ノ順序ニ依リ取扱ヲ爲スモノトス

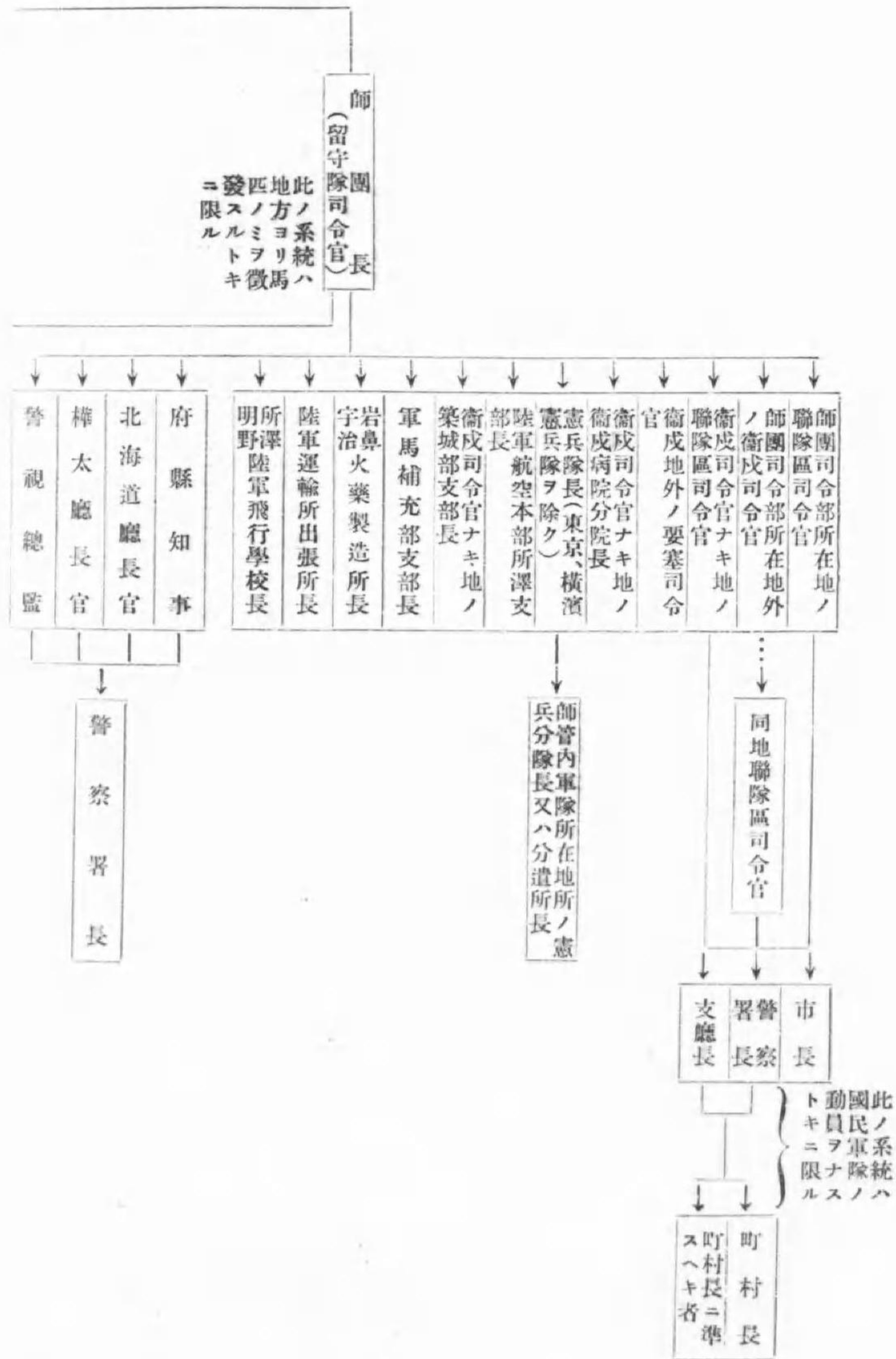
第一種動員令電報 應急動員令電報

臨時動員令電報 臨時召集令電報

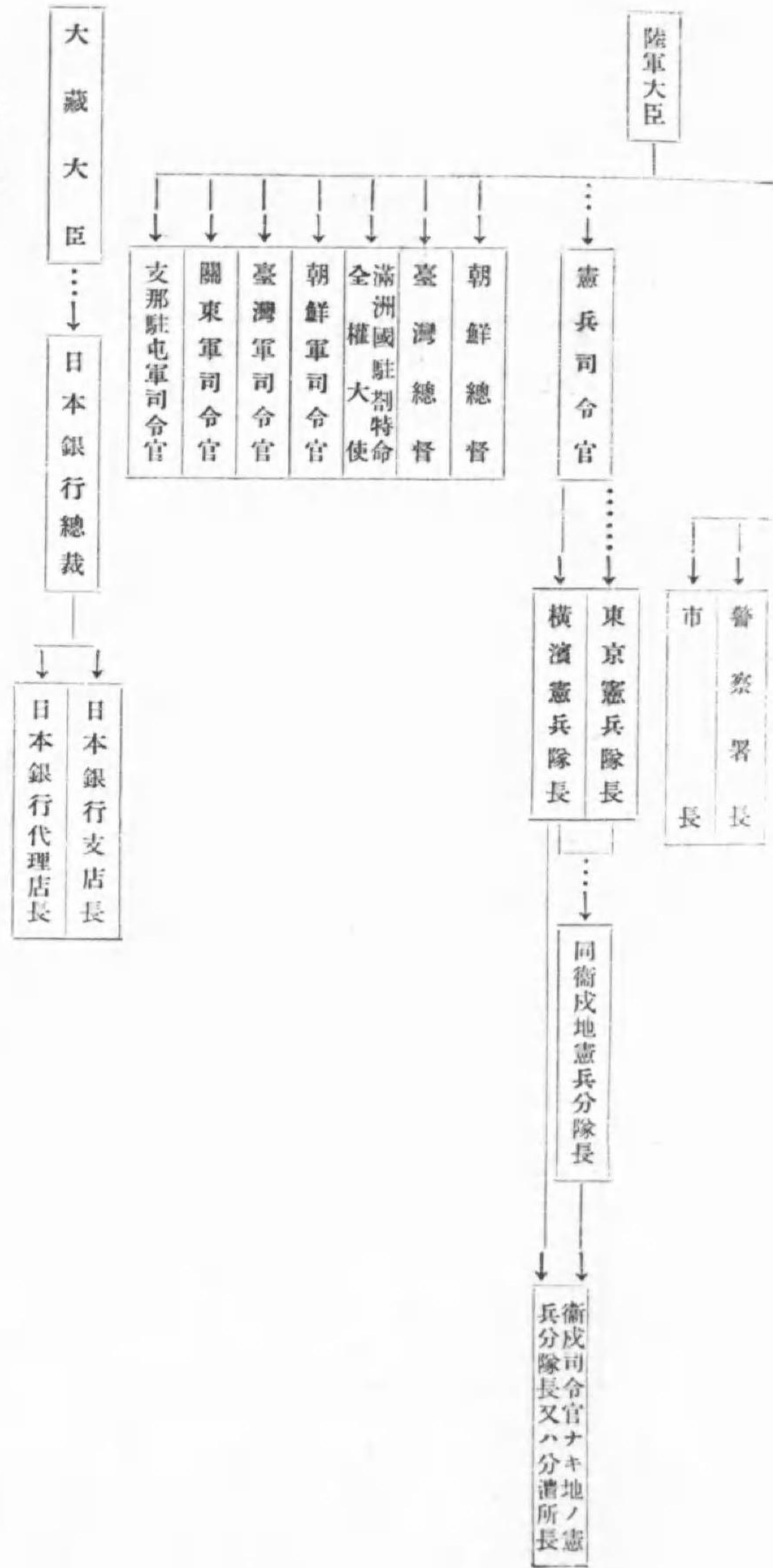
要塞戰備令電報 第二種動員令電報

附 則

第十六條 本公達ハ大正十一年九月五日ヨリ之ヲ施行ス



陸軍大臣



備考

- 一、留守隊司令官トハ滿洲駐劄等ノ爲海外ニ派遣セラレアル留守部隊ノ長官ヲ謂フ
- 二、衛戍司令官トハ平時軍隊ノ屯在地ニ於ケル高級團隊長ヲ謂フ
- 三、本表ノ符號ハ左ノ指示ニ依ル
 - 電信ニ依リ傳達ス
 - …… 電信以外ノ方法ニ依リ傳達スルモノトス

陸軍動員令電報取扱規程

陸軍大臣ヨリ發スル動員令電報記載方凡例

△印ハ朱書

電報 報 賴 信 紙

1

者校照	信送	手切便郵						種類	局信著		
	午時分							至急官報			
者信送	時分							數字	局信發		
	分							九九			
發信人 氏居所	文	九	ハ	ン	定指	宛名	局信發	番	付受		
		ハ	シ	ダ							
	ヒ	（		局内 心得	番	分					
	、	四	イ								
	七	）	イ	局内 心得				分			
	ヒ	ガ	チ								
	、		（	局内 心得						分	
	イ	ツ	一								
			ク	局内 心得							分
			）								
		（	局内 心得	分							
		ヒ									

陸軍省印

△動員令

電報 報 賴 信 紙

2

者校照	信送	手切便郵						種類	局信著		
	午時分							數字			
者信送	時分							數字	局信發		
	分							九九			
發信人 氏居所	文	九	ハ	ン	定指	宛名	局信發	番	付受		
		ハ	シ	ダ							
	ヒ	（		局内 心得	番	分					
	、	四	イ								
	七	）	イ	局内 心得				分			
	ヒ	ガ	チ								
	、		（	局内 心得						分	
	イ	ツ	一								
			ク	局内 心得							分
			）								
		（	局内 心得	分							
		ヒ									

備考 電文中最後ノイハ陸軍大臣ノ符號トス

陸軍大臣ヨリ發スル應急動員令電報記載方凡例

△印ハ朱書

電報 報 賴 信 紙

者校照	信送	手切便郵					類種	局信著			
	午								至急官報		
者信送	時						數字	局信發			
	分								九二		
發信人 (控) 氏居所	文	本	定指	宛名		宛名 居所 宛名	局信發	號番	付受 時分		
	ダ	ヲ	イ	ダ	ジ					オ	ウナ
		レ	ン							ウ	○
	イ	イ	イ	ン	ダ					一	オウ
	イ	ス	チ	オ						、	キウ
	チ	、	(ウ	イ					チ	ド
	(ド	一	キ	シ					ヨ	ウ
	一)	ウ	(ク	イン
)	ウ	ゴ	ド	四					ヲ	レイ
	ヒ	イ)					ホ	心局内
ハ	ン	ウ	ウ	シ	ウ	△應急動員令					

電報 報 賴 信 紙

者校照	信送	手切便郵					類種	局信著		
	午									
者信送	時						數字	局信發		
	分									
發信人 (控) 氏居所	文	本	定指	宛名		宛名 居所 宛名	局信發	號番	付受 時分	
		八	シ							
)	(
		ヒ	四							
		、)							
		六	ガ							
		ヒ		心局内						
		、	ツ							
		イ	ハ							
			チ							

考備 一 電文中最後ハ「イ」陸軍大臣ノ符号ヲ付スル
 二 時宜ニ依リ應急動員令ノ符号ニ代ルルニ依リ應急動員令ノ符号ヲ付スル
 三 宛名ニ用ルルアルファベットノ符号ハ「イ」ニ代ルル

紙 信 頼 報 電

2

者校照	信送	手 切 便 郵				類 種	局信著
者信送	午						
	時						
	分					數 字	
發(控) 信人 氏居所	文	本			定指	宛名	局信發 號 番 付 受 時 分
		イ	シ)			
			チ	ヒ			
			(ハ			
			七	シ			
)	(
			ヒ	四	心局	得内	
			、)			
			五	ガ			
			ヒ				
		、	ツ				

スト號符ノ臣大軍陸ハイノ後最中文電 一 考備
ノ隊部員動時臨ニルフ代ニ號符ノ員動時臨リ依ニ宜時 二
リアトコルウ用ヲ稱名

紙 信 頼 報 電

1

者校照	信送	手 切 便 郵				類 種	局信著
者信送	午					至急官報	
	時					數 字	
	分					九 三	
發(控) 信人 氏居所	文	本			定指	宛名	局信發 號 番 付 受 時 分
	ウ	ゴ	(ヲ	リ	ウナ○リンドウインレイ	
	イ		ド	五	ホ	ン	
	ン	ウ)	ウ	ド	
	ダ	ヲ	ウ	シ	ジ		
		レ	イ	ダ		ウ	
	イ	イ	ン		ダ	一	
	イ	ス	ニ	ン		、	
	チ	、	(リ	イ	チ	
	(ド	二	ン	ゴ	ヨ	
一)	ジ		ク		

△印ハ朱書

陸軍大臣ヨリ發スル臨時動員令電報記載方凡例

△臨時動員

師團長ヨリ發スリ臨時召集令電報記載方凡例

△印ハ朱書

電報 賴信 紙

1

者校照	信送	手切便郵					類種	局信著				
	午時分								至急官報			
者信送	時分						數字					
發信人(控) 氏名 居所	文	本	定指	宛名		局信發	番	付受	時分			
	イ	リ	ウ	ド	ク					リ	ウナ○リンセウシウレイ	一〇五
	ス	ン	ハ		(ン	局内	△臨時召集令
	、	ジ	イ	ウ	六					セ		
	セ		ト	サ)					ウ	心得	
	ウ	セ	ウ	ノ	シ					一		
	シ	ウ	ヨ	(ダ					、		
	ウ	シ	ウ	三						ダ		
	ダ	ウ	イ)	ン							
		ヲ	ン	ゴ	サ					イ		
イ	レ	ノ		ン	ロ							

第六師團司令部印

電報 賴信 紙

2

者校照	信送	手切便郵					類種	局信著			
	午時分								數字		
者信送	時分						數字				
發信人(控) 氏名 居所	文	本	定指	宛名		局信發	番	付受	時分		
					イ						
		ン	四	ガ	チ						
		テ	ヒ		(
		ウ	、	ツ	一						
			ダ	ロ)						
				ク	ヒ					局内	
			イ	(ハ						
			六	六	シ						
			シ)	(
		ダ	ヒ	四							

備考 時宜ニ依リ臨時召集令中ニ召集スヘキ人員數及到着曆日等ヲ示スコトアリ

電報 賴信 紙

1

者校照	信送	手切便郵					類種	局信著				
	午時分								至急官報			
者信送	時分						數字					
發信人(控) 氏名 居所	文	本	定指	宛名		局信發	番	付受	時分			
	イ	リ	ウ	ド	ク					リ	ウナ○リンセウシウレイ	一〇五
	ス	ン	ハ		(ン	局内	△臨時召集令
	、	ジ	イ	ウ	六					セ		
	セ		ト	サ)					ウ	心得	
	ウ	セ	ウ	ノ	シ					一		
	シ	ウ	ヨ	(ダ					、		
	ウ	シ	ウ	三						ダ		
	ダ	ウ	イ)	ン							
		ヲ	ン	ゴ	サ					イ		
イ	レ	ノ		ン	ロ							

第六師團司令部印

備考 電文最後ノイハ陸軍大臣ノ符號トス

電 報 類 紙

2

者校照	信送	手 切 便 郵				類 種	局信著			
	午									
者信送	時					數 字				
	分									
發信人 (控) 氏名 居所	文		本	定指	宛 名	局信發	號 番			
					三			局内 心得	付 受	
)					時 分
					ヒ					
					、					
					一					
					ヒ					
					、					
					イ					

陸軍大臣ヨリ發スル戰備令電報記載方凡例

電 報 類 紙

1

者校照	信送	手 切 便 郵				類 種	局信著			
	午							至急官報		
者信送	時					數 字				
	分									
發信人 (控) 氏名 居所	文		本	定指	宛 名	局信發	號 番			
	シ	ダ		ウナ○センビレイ	居 所			局内 心得	付 受	
	(ヲ	イ	ン					時 分
	四	イ	レ	ノ	ト					
)	イ	イ	ジ	ウ					
	ガ	チ	ス		ケ					
		(、	ユ	ウ					
	ツ	一	セ	ン	ソ					
	サ)	ン	セ	ン					
	ン	ヒ	ビ	ン	ヨ					
(ハ		ビ	ウ						

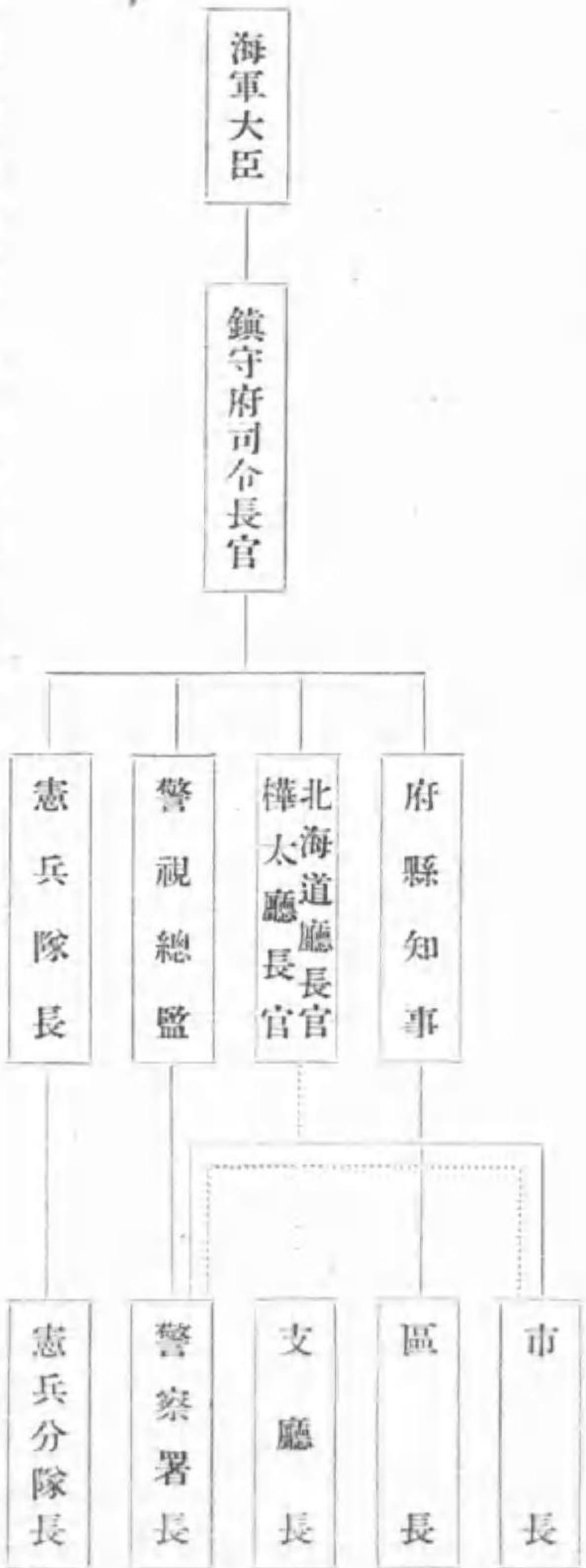
△印ハ朱書

海軍充員令電報取扱規程

大正十一年九月四日
公達第千六號

海軍充員令電報取扱規程

- 第一條 充員令電報トハ帝國海軍ニ充令ヲ行フニ當リ第二條ノ系統ニ依リ其ノ官衙公署相互ノ間ニ往復スル充員令ノ送達及其ノ返信ノ電報ヲ謂フ
- 第二條 充員令電報發受ノ系統左ノ如シ



第三條 充員令電報ハ左ノ各號ニ依リ一般電報ト區別スヘシ

- 一 指定欄内ニ至急ノ略號(ウナ)及「充員令」ト片假名ニテ記入シ至急ノ略號ト「充員令」トノ間ヲ「〇」ニテ區別ス
- 二 名宛欄下部餘白内ニ「充員令」ト朱記ス

第四條 發信人居所氏名記入欄内ニ充員令ヲ發送スル官衙公署名ヲ記入官印押捺ス

充員令電報

略號

第五條 充員令電報ハ受付傳送及配達其他ノ電報ニ先チ努メテ迅速ニ之カ取扱ヲ爲スヘシ

第六條 充員令電報ノ取扱ニ關シテハ電報規則第九章ヲ適用セサルモノトス

第七條 充員令電報ハ電報取扱時間ニ制限アル局所ト雖其ノ制限時間外ニ取扱ヒ得ル場合ハ之ヲ取扱フモノトス

第八條 電報取扱時間ニ制限アル局所ニ著スヘキ充員令電報ニシテ著信局所ノ電報取扱時間外ナルカ爲其ノ取扱ヲ爲シ得サルコト明瞭ナルトキハ特定著信局所ヨリ之ヲ配達ス

前項ノ場合ニ於テ直配達區域外ナルトキハ別使配達ノ指定ナキモノト雖別使ヲ以テ配達シ其ノ料金ハ受信人ヨリ追徴スルモノトス

第九條 充員令電報ニシテ直配達區域外ニ宛テタル場合ハ別使配達ノ指定ナキモノト雖別使ヲ以テ配達シ其ノ料金ハ受信人ヨリ追徴スルモノトス

第十條 充員令電報ハ其ノ貼附切手ニ不足アリ又ハ全ク之ヲ貼附セサルモノト雖先ツ其ノ電報ヲ傳送シタル後相當切手ヲ貼付スル等整理ノ手續ヲ爲スヘシ

第十一條 充員令電報ノ指定欄内ニ記入スル文字及「〇」ハ之ヲ有料字數中ニ算入スヘシ

第十二條 充員令電報ハ必要ニ應シ一般中繼順路ニ依ラス最モ迅速ニ到達スヘキ線路ニ依リ通信スヘシ

第十三條 本規定ニ定メタル事項ノ他ハ總テ一般ノ規定ニ依ルヘシ

附則

第十四條 本公達ハ大正十一年九月五日ヨリ之ヲ施行ス

電 報 報 賴 信 紙

○ ○

2

者校照	信送	手 切 便 郵				類種	局信著				
	午										
者信送	時					數字					
	分										
發信人 控 氏居所	文	本		定指	宛名	局信發	號番				
		フ	、					心局 得内	付受		
		シ	ヨ							時	
		レ	コ								分
		イ	ス								
		テ	カ								
		ウ	チ								
		カ	ン								
		ン	ジ								
			ユ								

電 報 報 賴 信 紙

○ ○

1

者校照	信送	手 切 便 郵				類種	局信著							
	午							至急官報						
者信送	時					數字								
	分							八九						
發信人 控 氏居所	文	本		定指	宛名	局信發	號番							
	イ	、	ユ	ダ	ヨ			ウナ○ジユウインレイ	心局 得内					
	ガ	チ	シ	ウ	コ					△充員令				
		（	ヨ	イ	ス						付受			
	ツ	一	ウ	ン	イ							時		
	シ	）	シ	ヲ	チ								分	
	チ	ヒ	ユ	レ	（									フ
	（	ハ	ウ	イ	一									
	七	シ	ダ	セ	）									
	）	（		ラ	ジ									
ヒ	四	イ	ル											

充員令電報記載方凡例

△印ハ朱書

横須賀鎮守府印

◎動員令電報等ノ送達順位ニ關スル件

昭和三年三月二十七日
電業第六三七號通牒

遞信局、通信官署

同一電信所ニ於テ動員令電報等輻輳ノ場合ニ於ケル送達方ハ左ノ順序ニ依リ取扱相成度

- 一 第一種動員令電報、海軍充員令電報
- 二 應急動員令電報
- 三 臨時動員令電報
- 四 臨時召集令電報
- 五 要塞戰備令電報
- 六 第二種動員令電報

防空通信規則及取扱規程

防空通信規則及取扱規程

防空通信規則

昭和十三年一月二十八日
省令第九號

上 卷

第一條

防空通信ニ關シテハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條

防空通信トハ戰時又ハ事變ニ際シ防空ノ實施ニ直接必要ナル電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信ニシテ關係陸海軍官憲、關係官公署及之等ノ命ヲ受ケ防空ノ實施ニ從事スル者相互間ニ發受スルモノヲ謂フ

第三條

防空通信ハ左ノ三種トス

一

警報 報 防空警報ヲ防空警報發令官又ハ通信官署ヨリ通報スル通信

二

情報 報 防空監視ノ事務ニ從事スル者ヨリ航空機ノ行動ヲ報告スル通信

三

指揮連絡報 防空機關相互間ニ於ケル指揮及當該指揮ニ對スル措置報告等ニシテ緊急ヲ要スル通信

第四條

警報ハ最先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ
情報ハ警報ニ次ク先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ
指揮連絡報ハ至急官報又ハ至急通話ト同一順位ヲ以テ之ヲ取扱フ

第五條

防空電報ハ電報取扱時間ニ拘ラス之ヲ取扱フ

第六條

電話官署警報又ハ情報ノ取扱上必要アリト認ムルトキハ他ノ通話ヲ中斷スルコトアルヘシ

第七條

防空通信ヲ發スル者ハ其ノ請求ノ際第三條ノ種別ヲ申出ツヘシ

第八條

防空通信ハ無料トス

第九條

防空通信ノ爲必要ナル加入又ハ専用電話ニ關スル料金ハ之ヲ特定又ハ免除スルコトアルヘシ
公衆通信ヲ取扱ハサル私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ヲシテ防空通信ノ取扱ヲ爲サシムルトキハ其ノ旨當該施設者ニ通知ス

- 第十條 防空通信ノ取扱ヲ爲ス私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ハ其ノ専用通信ニ優先シ防空通信ヲ取扱フヘシ但シ人命財産ノ安全ニ關シ緊急ヲ要スル専用通信ハ此ノ限ニ在ラス
- 第十一條 第九條ノ通知ヲ受ケタル私設又ハ官應用ノ無線電信若ハ無線電話ハ其ノ通信執務時間ニ拘ラス防空通信ノ取扱ヲ爲スヘシ
- 第十二條 電信法第二條第四號、無線電信法第二條第三號、官應用電信電話規程第一條第四號又ハ官應用無線電信無線電話規則第一條第三號ニ依ル施設ニシテ第九條ノ規定ニ依リ防空通信ノ取扱ヲ爲スモノハ私設電信私設無線電信公衆通信取扱規則第三條及第十一條ノ規定ニ拘ラス託送取扱ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ニ於テ取扱ヒタル防空通信ニ對シテハ取扱費ヲ支給セス
- 第十四條 遞信大臣ハ防空通信上必要アリト認ムルトキハ私設又ハ官應用ノ電信、電話ノ設備ノ變更、使用ノ制限若ハ停止ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十五條 本令ニ規定ナキ事項ハ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ關スル一般ノ規定ニ依ル
- 第十六條 防空ノ訓練ニ際シ遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ別ニ告示スル所ニ依リ本令ノ規定ヲ準用ス

本令ハ昭和十三年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

附 則

防空通信取扱規程

昭和十三年一月二十九日 公達第一二七號

防空通信取扱規程目次

第一章 總 則	二八二頁
第二章 防空電報	二八五
第一節 電信又ハ電話ニ依ル取扱	二八五
第二節 無線電信又ハ無線電話ニ依ル取扱	二八七
第三章 防空通信	二八九
第一節 電話ニ依ル取扱	二八九
第二節 無線電話ニ依ル取扱	二九一
第四章 加入電話及専用電話ニ關スル料金	二九一
第五章 防空訓練通信	二九一
附 則	二九二

第一章 總 則

- 第一條 防空通信ニ關シテハ別ニ定ムル場合ヲ除クノ外本規程ニ依リ之ヲ處理スヘシ
- 第二條 防空通信ノ取扱ハ正確迅速ヲ旨トシ其ノ取扱上知得シタル事項ハ特ニ秘密ヲ嚴守スヘシ
- 第三條 電信局所又ハ電話局所ハ常ニ防空通信關係回線及機器ノ状態ニ注意シ特ニ警報通信用等ノ特殊裝置ニ付テハ隨時點檢又ハ試驗ヲ行フヘシ
- 第四條 防空通信ノ取扱ニ關シテハ關係防空機關ト緊密ナル連絡ヲ保持シ其ノ圓滑ナル疏通ニ遺憾ナキヲ期スヘシ
- 第五條 防空通信ハ一般ノ電報又ハ通話ノ取扱時間外ニ於テ全ク其ノ取扱ヲ爲ササル局所ト雖モ出來得ル限り臨機之ヲ取扱フヘシ無線電信局所ニシテ電報取扱時間中ニ於テ無線電報ノ取扱ヲ爲ササルモノニ付亦同シ
- 第六條 警報トシテ取扱フ通信ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノトス
 - 一 防空警報發令官ヨリ防空警報下令ノ通知ヲ受ケタル電信局所又ハ電話局所カ所轄遞信局長ノ定ムル傳達系統ニ從ヒ他ノ電信局所又ハ電話局所ニ當該防空警報ヲ傳達スル電報又ハ通話
 - 二 防空警報發令官ヨリ防空機關ニ對シ防空警報ノ下令ヲ通告スル通話
 - 三 防空警報ヲ入手シタル電信局所又ハ電話局所ヨリ第十三條ノ規定ニ依ル警報受領者ニ對シ當該防空警報ヲ傳達スル通話其ノ他ノ通知
- 第七條 警報ヲ分チテ左ノ四種トス
 - 一 警 戒 警 報 敵航空機ノ來襲ノ虞アル場合發スルモノ
 - 二 警戒警報解除 敵航空機ノ來襲ノ虞ナキニ至リタル場合發スルモノ
 - 三 空 襲 警 報 敵航空機ノ來襲ノ危險アル場合發スルモノ
 - 四 空襲警報解除 敵航空機ノ來襲ノ危險ナキニ至リタル場合發スルモノ
- 第八條 情報トシテ取扱フ通信ハ航空機ヲ發見シタル場合ニ於テ防空監視ノ事務ニ從事スル者ヨリ上級防空機關ニ對シ又ハ第十四條ノ規定ニ依ル局所ヨリ防空機關ニ對シ當該發見所名若ハ發見位置、發見時刻、進行方向、機種、機數等ヲ通報スル電報又ハ通話トス

- 第九條 指揮連絡報トシテ取扱フ通信ハ防空ノ爲ニスル用兵作戰、燈火管制、監視、消防、防毒、避難又ハ救護ニ關シ防空機關ノ指揮及當該指揮ニ對スル措置報告ノ爲發スル電報又ハ通話並特ニ防空實施上緊急ヲ要スル戰況、被害狀況及氣象ヲ通報スル電報又ハ通話トス
- 第十條 警報傳達系統ハ所轄遞信局長ニ於テ豫メ之ヲ決定シ關係電信局所又ハ電話局所ニ通達スヘシ此ノ場合ニ於テ當該傳達系統中ニ他ノ遞信局管内ノ電信局所又ハ電話局所ヲ含マシムル必要アルトキハ關係遞信局長ニ協議ノ上之ヲ決定スヘシ
- 第十一條 電信局所又ハ電話局所防空警報發令官ヨリ防空警報下令ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ左ノ區別ニ依ル略號ヲ以テ適宜ノ用紙ニ之ヲ書取リ反復校正シタル上領諾ノ旨ヲ告ケ受領時刻及當務者名ヲ記載シ直ニ警報傳達系統ニ依リ之ヲ傳達スヘシ

警 戒 警 報	略 號
警戒警報解除	ケ ハ
空 襲 警 報	ク ハ
空襲警報解除	ク カ

- 第十二條 前項ノ場合ニ於テ警報發令區域ヲ冠稱シ來リタルトキハ其ノ區域名略號ヲ冠記スヘシ
- 第十三條 警報發令區域名ノ略號ハ所轄遞信局長ニ於テ豫メ之ヲ決定シ關係電信局所又ハ電話局所ニ通達スヘシ此ノ場合當該區域カニ以上ノ遞信局管内ニ涉ルモノニ付テハ關係遞信局長協議ノ上之ヲ決定スヘシ
- 第十四條 電信局所又ハ電話局所警報ヲ入手シタルトキハ警報受領者ニ對シ當該警報ヲ電話其ノ他便宜ノ方法ニ依リ速報スヘシ
- 第十五條 前項ノ警報受領者ハ當該電信局所長又ハ電話局所長ニ於テ重要ナル防空機關又ハ之ニ準スル者ノ申出ヲ俟テ豫メ決定シ置クヘシ
- 第十六條 海岸局及航空局並特ニ指定スル電信局所及電話局所ニ於テ敵航空機ヲ發見シタルトキハ第八條ニ定ム

ル通報事項ヲ防空機關ニ速報スヘシ前項ノ防空機關名通知方法電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル通報ノ區別於テ關係局所別ニ豫メ之ヲ決定シ當該局所ニ通達スヘシ

第十五條 遞信局長私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ヲシテ防空通信ヲ取扱ハシムルノ要アリト認ムルトキハ遞信大臣ノ名ニ於テ之ヲ防空通信ニ供用スヘシ此ノ場合ニ於テハ其ノ要旨ヲ遞信大臣ニ報告スヘシ

第十六條

遞信局長前條ニ依リ私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ヲ防空通信ニ供用シタル場合ハ左ノ區別ニ依リ當該施設者ニ對シ事業用物品ヲ交付スヘシ但シ當該遞信局長ニ於テ其ノ要ナシト認ムル場合ハ其ノ全部又ハ一部ノ交付ヲ省略スルヲ妨ケス

- 一 防空電報ヲ取扱フ者ニ對シ交付スヘキ物品
 - 賴信紙(和文)、中繼紙(和文)、著送紙(和文)、黑色炭酸紙、遞信法規類纂(電信編上卷)及同訂正書
- 二 防空通話ヲ取扱フ者ニ對シ交付スヘキ物品
 - 通話券、呼出券、呼出證、交換證、前納通話券、遞信法規類纂(電話編)及同訂正書

第十七條

遞信局長ニ於テ防空通信上必要ト認ムル場合遞信大臣ノ指令ヲ俟ツ迄ナキトキハ遞信大臣ノ名ニ於テ其ノ管内ニ在ル私設又ハ官應用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ノ設備ノ變更、使用ノ制限若ハ停止ヲ命スルコトヲ得

第十八條

前項ノ措置狀況ハ直ニ遞信大臣ニ之ヲ報告スヘシ
防空通信關係電報原書、通話券、交換證、呼出券、呼出證及前納通話券ハ適宜整理シ三ヶ月間當該電信局所又ハ電話局所ニ之ヲ保存スヘシ

第十九條

防空通信取扱所防空通信規則第九條ニ依リ防空通信ノミヲ取扱フ電信局所又ハ電話局所トス以下同シニ於テハ特ニ指示スル場合ヲ除クノ外電報及通話ニ關スル一般ノ規定ニ依ル通信日附印ノ使用及統計其ノ他ノ報告ヲ要セス

第二十條

防空通信ノ取扱上事故アリタルトキハ關係式紙ニ其ノ事由ヲ記載シ置クヘシ

第二十一條

本規程ニ明文ナキ事項ハ一般公衆通信取扱ノ例ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第二章 防空電報

第一節 電信又ハ電話ニ依ル取扱

第二十二條

防空電報ハ左ノ順位ニヨリ又一般電報ト混交スルトキハ下記ノ區別ニ依リ之ヲ送達スヘシ

- 一 警報 一切ノ電報ニ優先ス
- 二 情報 非常電報及緊急軍事官報ニ優先ス
- 三 指揮連絡報 至急官報ト同順位トス

第二十三條

情報及指揮連絡報ノ種類ハ左ノ略號ヲ以テ之ヲ記載スヘシ

情報	略號
指揮連絡報	シゼウキ

第二十四條

防空電報ノ送信時刻、受信時刻及當務者名ハ當該式紙ニ相當欄ナキ場合ト雖其ノ餘白ニ之ヲ記載スヘシ

第二十五條

防空電報ニ付テハ特ニ指示スル場合ヲ除クノ外件名表ノ使用竝通過番號及著信番號ノ記載ヲ省略スヘシ

第二十六條

防空通信取扱所ニ於テハ情報及指揮連絡報ノ著信局所ノ指定ヲ省略スヘシ
防空通信取扱所ヨリ前項ノ電報ヲ直接受信シタル電信局所防空通信取扱所ヲ除クニ於テハ其ノ著信局所名ヲ記載スヘシ

第二十七條

防空通信取扱所ニ發著スル局報ハ當該取扱所ト直接通信ヲ爲ス電信局所防空通信取扱所ヲ除クニ於テ當該取扱所ニ代リ之ヲ處理スヘシ但シ當該局報ニ用ウヘキ發信局所名ハ當該防空通信取扱所名ヲ使用スヘシ

第二十八條

電信機ニ依リ警報ヲ同時送信セントスルトキハ同時喚呼符號ニ代ヘ警報前置符號「———」ヲ三回連送シテ關係局所ヲ同時ニ喚呼シタル後其ノ應答ヲ待タス直ニ本文ヲ凡ソ五回緩送シ、又一局所ノミニ警報ヲ送信セントスルトキハ當該局所ヲ喚呼シタル後其ノ應答ヲ待テ「可受」

ノ符號ニ代ヘ警報前置符號ヲ送り直ニ本文ヲ二回送信スヘシ

前項ノ場合ニ於テ自局所カ通信中ナルトキハ直ニ之ヲ中止シ、他局所カ通信中又ハ喚呼中ナルトキハ直ニ其ノ通信又ハ喚呼ヲ遮止シ警報前置符號ヲ送り自局所ニ警報アルコトヲ知ラシムヘシ
通信中又ハ喚呼中ノ局所ニ於テ前項ノ警報前置符號ヲ感知シタルトキハ直ニ其ノ通信又ハ喚呼ヲ中止スヘシ

第二十九條

電話機ニ依リ警報ヲ同時送信セントスルトキハ同時喚呼信號ニ代ヘ警報信號——ヲ二回送出シテ關係局所ヲ同時ニ呼出シタル後其ノ應答ヲ待チ本文ヲ普通辭ノ稱呼ヲ以テ二回送信シ、又一局所ノミニ警報ヲ送信セントスルトキハ當該局所ヲ呼出シ其ノ應答ヲ待チ直ニ本文ヲ普通辭ノ稱呼ヲ以テ二回送信スヘシ

前項ノ場合ニ於テ自局所カ通信中ナルトキハ直ニ之ヲ中止シ、他局所カ通信中又ハ呼出中ナルトキハ直ニ其ノ通信又ハ呼出ヲ遮止シ警報信號ヲ送り自局所ニ警報アルコトヲ知ラシムヘシ
通信中又ハ呼出中ノ局所ニ於テ前項ノ警報信號ヲ感知シタルトキハ直ニ其ノ通信又ハ呼出ヲ中止スヘシ

第三十條

警報ハ適宜ノ用紙ニ之ヲ受信シ直ニ警報監査局ニ對シ受信證及自局所ノ呼出略號電話機ニ依ル場
合ハ自局所名ヲ送出スヘシ
警報監査局前項ノ規定ニ依ル受信證ノ送出ナキ局所アルトキハ該局所ヲ喚呼シ當該警報ヲ送信スヘシ

第三十一條

前條ノ警報監査局ハ所轄遞信局長ニ於テ各回線別ニ豫メ之ヲ決定シ警報傳達系統ニ併セ關係局所ニ到達スヘシ此ノ場合關係回線中ニ他ノ遞信局管内ノ局所アルトキハ關係遞信局長ニ協議ノ上之ヲ決定スヘシ

第三十二條

電報賴信紙其ノ他ノ用紙ニ「情報」ト記載シ又ハ其ノ旨申出テ差出シタル電報ハ第八條ニ該當スルモノナルヤヲ調査シ之ニ該當スト認ムルモノニ限り領諾ノ旨ヲ告ケ著信局所名、種類及受付時刻ヲ

第三十三條

記載スヘシ
情報ヲ送信セントスルトキハ對手局所ヲ喚呼シ其ノ應答ヲ待チ「可受」ノ符號ニ代ヘ情報符號——
——ヲ送り直ニ著信局所名、種類、名宛及本文ヲ送信スヘシ

前項ノ場合ニ於テ自局所カ通信中ナルトキハ直ニ之ヲ中止シ他局所カ通信中喚呼中ナルトキハ直ニ其ノ通信又ハ喚呼ヲ遮止シ情報符號ヲ送り電話機ニ依ル場合ハ「情
報」ト二回稱呼スヘシ自局所ニ情報アルコトヲ知ラシムヘシ
通信中又ハ喚呼中ノ局所ニ於テ前項ノ情報符號ヲ感知シタルトキハ直ニ其ノ通信又ハ喚呼ヲ中止スヘシ

第三十四條

電報賴信紙餘白ニ「指揮連絡報」ト記載シ又ハ其ノ旨申出テ差出シタル電報ハ第九條ニ該當スルモノナルヤヲ調査シ之ニ該當スト認ムルモノニ限り領諾ノ旨ヲ告ケ著信局所名、種類及受付時刻ヲ記載スヘシ

第三十五條

指揮連絡報ハ著信局所名、種類、發信局所名、名宛及本文ヲ送信スヘシ

第三十六條

無線局ニ於テ防空通信符號——————又ハ防空通信ノ發信ヲ感受シタルトキハ船舶又ハ航空機遭難通信ヲ除ク外之ヲ妨害スル虞アル發振ヲ見合スヘシ

第三十七條

防空電報ノ速達上必要アリト認ムルトキ又ハ已ムヲ得サル事由アルトキハ本規程ニ拘ラス有效ト認ムル電力竝電波ノ型式及周波數ヲ使用スルヲ妨ケス

第三十八條

警報又ハ情報ヲ送信セントスル場合必要アリト認ムルトキハ略符號「QRT」及防空通信符號ヲ送り他ノ無線通信ヲ停止セシムルコトヲ得但シ船舶又ハ航空機遭難通信ヲ停止セシムルコトヲ得ス

第三十九條

陸上局ニ於テ警報ヲ入手シタルトキハ海岸局ニ在リテハA二電波五〇〇kc漁船ニ設置シタル船舶局ヲ對手
トスルモノニ在リテハA二電波
一三六四、航空局ニ在リテハA二電波三三三kcノ周波數ヲ以テ自局通信圈ニアル移動局ニ對シ左ノ順序ニ從ヒ沈黙時間中ト雖直ニ之ヲ放送シ爾後適宜之ヲ再放送スヘシ

一 防空通信符號

三 回

- 二 自局名前置符號 一回
- 三 自局呼出符號 一回
- 四 本文符號 一回
- 五 本文普通辭 一回

第四十條

陸上無線電信無線電話ニ於テ特定ノ無線電信無線電話ニ對シ特ニ警報傳達ノ要アリト認ムルトキハ緊急符號ヲ冠シ該無線電信無線電話ヲ呼出シ其ノ應答ヲ待チ一般ノ例ニ依リ當該警報ヲ送信スヘシ

第四十一條

空襲警報ヲ受信シタルトキハ空襲警報解除ヲ受信スル迄成ルヘク無休ニ聽守スヘシ

第四十二條

移動局電報賴信紙其ノ他ノ用紙ノ餘白ニ「情報」ト記載シ又ハ其ノ旨申出テ差出シタル電報アルトキハ第八條ニ該當スルモノナルヤヲ調査シ之ニ該當スト認ムルモノニ限リ領諾ノ旨ヲ告クヘシ

- 一 對手呼出符號 一回
- 二 自局名前置符號 一回
- 三 自局呼出符號 一回
- 四 本文符號 一回
- 五 情報 一回

第四十三條

陸上局ニ於テ前條ノ情報ヲ受信シタルトキハ第十四條ニ定ムル防空機關ニ之ヲ速報スヘシ

第四十四條

前條ノ例ニ依リ之ヲ送達スヘシ此ノ場合ニ於テハ當該式紙ノ餘白ニ該情報ヲ發信シタル船舶又ハ航空機ノ名稱ヲ記載シ置クヘシ

第四十五條

移動局ニ於テ指揮連絡報ヲ受信シタルトキハ直ニ船長、機長又ハ相當責任者ニ之ヲ交付スヘシ

第四十六條

無線方位測定機ヲ有スル無線局ニ於テ敵航空機ノ無線電信又ハ無線電話ノ發振ヲ感受シタルトキハ直ニ其ノ方位ヲ測定シ移動局ニ在リテハ陸上局へ、陸上局ニ在リテハ第十四條ニ定ムル防空機關ニ之ヲ速報スル等機宜ノ措置ヲ講スヘシ

第四十七條

前項ノ通報ハ情報ニ準シ之ヲ取扱フヘシ

第四十八條

本節ノ規定ハ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外海軍艦船、海軍通信隊、防備衛所又ハ望樓ト無線局トノ間ノ無線電信ニ依ル防空通信ニ付之ヲ準用ス

第三章 防空通話

第一節 電話ニ依ル取扱

- 一 警報 一切ノ通話ニ優先ス
- 二 情報 豫約通話ニ優先ス
- 三 指揮連絡報 至急通話及夜間至急通話ト同順位トス

第五十條 防空通話ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ種別ヲ確メタル上關係交換證又ハ通話券ノ相當欄ニ左ノ略號ニ依リ其ノ種別ヲ記入スヘシ

- 一 警 報 略 號
 - 二 情 報 ケ イ
 - 三 指揮連絡報 シ キ
- 第五十一條 防空通話ノ請求ヲ受付ケタルトキハ左ノ區別ニ從ヒ後位局ニ之ヲ通報スヘシ
- 一 警 報 警報何局何番
 - 二 情 報 情報何局何番
 - 三 指揮連絡報 指揮連絡報何局何番

第五十二條 警報又ハ情報ハ機械設備上其ノ他已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外直通接続ノ取扱ヲ爲スヘシ

第五十三條 防空通話ヲ接続セントスルトキハ先ツ防空通話ナル旨ヲ告ケタル上其ノ接続ヲ爲スヘシ

第五十四條 警報ノ取扱ニ際シ關係回線又ハ關係電話ヲ警報以外ノ通話ニ使用中ナルトキハ當該通話者ニ防空警報アル旨ヲ告ケ其ノ接続ヲ中斷スヘシ

第五十五條 情報ノ取扱ニ際シ關係回線又ハ關係電話ヲ警報若ハ情報以外ノ通話ニ使用中ナルトキハ當該通話者ニ防空情報アル旨ヲ告ケ其ノ接続ヲ中斷スヘシ

第五十六條 前二條ノ規定ニ依リ中斷シタル通話ハ機械設備上已ムヲ得サル場合ヲ除クノ外當該防空通話終了後速ニ再ヒ接続シ通話時數ハ中斷前後ヲ通算シテ之ヲ決定シ關係交換證ノ備考欄又ハ關係通話券ノ郵便切手貼付欄ニ中斷及再開時刻ヲ適宜記入シ置クヘシ

豫約通話、定時通話又ハ國際通話ヲ中斷シタル場合ハ前項ノ規定ニ拘ラス回線障礙ノ例ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第五十七條 防空通話ニ關シテハ一通話時終了毎ニ爲スヘキ通話時數ノ注意ハ之ヲ省略スヘシ

第五十八條 電話ニ依リ第六條第一號ノ警報ヲ傳達スル場合ハ關係電話局所ヲ呼出シタル上當該警報ヲ普通通話ノ稱呼ヲ以テ二回通報スヘシ

第五十九條 電話局所前條ニ依ル警報ノ傳達ヲ受ケタルトキハ第十一條ノ例ニ依リ適宜ノ用紙ニ之ヲ書取り反復校正シタル上領諾ノ旨ヲ告クヘシ

第六十條 防空通話ノ爲ニスル呼出ハ總テ無料トシ左ニ依ルノ外無料呼出ノ例ニ準シ之ヲ處理スヘシ

- 一 無料呼出ノ請求ヲ受ケタルトキハ防空通信發受信資格者相互間ニ於ケル呼出ナルコトヲ確メタル上之ヲ受付クルコト
- 二 無料前納通話券ニ依リ通話ノ請求ヲ受ケタルトキハ被呼者カ呼出請求者トノ間ニ通話スルモノナル場合ニ限リ之ヲ取扱フコト

第二節 無線電話ニ依ル取扱

第六十一條 防空船舶通話ハ左ノ順位ニ依リ又一般船舶通話ト混交スルトキハ下記ノ區別ニ依リ之ヲ取扱フヘシ

- 一 警 報 船舶遭難通話ト同順位トス
- 二 情 報 船舶緊急通話及船舶安全通話 船舶無線電話通話規則第六條ニ依ル通話トスニ優先ス
- 三 指揮連絡報 至急通話ト同順位トス

第六十二條 第三十六條乃至第四十條、第四十三條、第四十六條及第五十條乃至第六十條ノ規定ハ防空船舶通話ニ付之ヲ準用ス

第六十三條 無線電話局所ニ於テ無線電話ニ依リ取扱フ防空通話ニシテ防空船舶通話ニアラサルモノノ取扱ニ關シテハ第三十六條乃至第三十八條及前節ノ規定ヲ準用ス

第四章 加入電話及専用電話ニ關スル料金

第六十四條 防空監視哨ニ臨時ニ設置スル電話ノ加入申込又ハ電話ノ加入ニ付テハ電話線設備料ハ之ヲ免除スヘシ

第六十五條 防空機關相互間ニ於テ防空通信ノ用ニ供スル爲臨時ニ施設スル市内専用電話ニ付テハ回線設備料及

機械設備料ハ之ヲ免除スヘシ防空機關ヲ一方ノ電話機設置場所トスルモノト雖所轄遞信局長ニ於テ防空通信ノ専用ニ供スルモノト認ムルモノニ付亦同シ

第六十六條 防空通信ノ専用ニ供スル爲施設スル市外電話回線ノ専用ニ關スル料金ハ別ニ通牒スル所ニ依ルヘシ

第五章 防空訓練通信

第六十七條 防空通信規則第十六條ニ依リ防空ノ訓練ニ際シ防空通信規則ヲ準用スル場合ハ第十七條、第五十四條乃至第五十六條及第六十四條ヲ除クノ外本規定ヲ準用ス

第六十八條 遞信局長防空ノ訓練ニ際シ當該防空訓練ヲ主宰スル防空機關ヨリ之ガ實施ニ關シ協議ヲ受ケタルトキハ當該訓練ノ實施期間、實施區域及計畫概要竝防空通信規則準用ノ要否ニ關スル意見ヲ速ニ遞信大臣ニ報告スヘシ

附 則

本公達ハ昭和十三年二月十日ヨリ之ヲ施行ス

◎防空通信取扱ニ關スル件通牒

昭和十三年一月二十九日 電業第一二四號

今般省令第九號ヲ以テ防空通信規則、公達第二百二十七號ヲ以テ防空通信取扱規程制定セラレ二月十日ヨリ實施ノコトニ別途公布相成候處右ハ防空ノ重大性ニ鑑ミ之カ實施上必要ナル通信ノ疏通ヲ一層迅速圓滑ナラシメ以テ國土防衛ニ違算ナキヲ期セントスル趣旨ニ有之候ニ付テハ左記事項諒知ノ上關係規定ニ付充分研究相成取扱上遺漏ナキヲ期セラレ度

追テ本省令及公達ノ實施ニ依リ之ニ牴觸スル從來ノ通牒等ハ自然消滅ノ義ト諒知相成度

第一 一般的事項

- 一 防空通信ハ警報、情報及指揮連絡報ノ三種トシ戰時又ハ事變ニ際シ防空機關相互間ニ發受スルモノニ限定セララルモノニシテ防空機關ニ非サル一般公衆ハ防空通信ノ請求ヲ爲シ得サルモノナルコト

二 防空通信規則以下規則及防空通信取扱規程以下規程ニ於テ防空機關トハ左ノ機關ヲ指稱スルモノナルコト

(イ) 陸軍關係

陸軍省、參謀本部、防衛司令部、師團司令部、要塞司令部、地區防衛隊司令部、防空監視隊本部、防空監視哨、防空戰鬥部隊

(ロ) 海軍關係

海軍省、軍令部、鎮守府、要港部、海兵團、航空隊、海軍通信隊、防備隊、防備衛所、望樓、海軍港務部、對空見張所、海軍艦船

(ハ) 內務省關係

內務省、道府縣廳、警察署(駐在所及派出所ヲ含ム)消防署、防空監視隊本部、防空監視哨、防空法第三條ニ依リ防空計畫設定者、市區町村役場

(ニ) 其ノ他

官廳、無線電信機ヲ裝置スル船舶又ハ航空機

三 規則及規程ニ於テ防空警報發令官トハ當該防空實施區域ノ防衛ヲ擔任スル防衛司令官、師團長、要塞司令官、鎮守府司令長官、要港部司令官及之等ノ指定スル者ヲ指稱スルモノナルコト

四 警報傳達系統ハ電信回線ニ依ルヲ原則トシ電信回線ニ依ル連絡ナキ場合又ハ電信電話共用線ニ依ル場合ハ電話回線ニ依ルヲ以テ之ヲ設定スルコト

五 警報ノ傳達ニ付テハ可及的同時送信ヲ爲シ得ル様特殊裝置ヲ爲スコトニ考究スルコト

六 警報受領者ハ軍衛、道府縣廳、市區町村役場、警察署ヲ除クノ外ハ事務上支障ナキ範圍ニ於テ其ノ申出ヲ受理決定シ必要ニ應シ之カ傳達順位ヲ豫メ定メ置クコト

七 警報受領者ニ對スル警報傳達ノ方法ハ電話ニ依ルヲ原則トシ之ニ依リ得サルモノハ警報受領者ニ於テ受報者ヲ窓口ニ派遣セシムル等特殊ノ事情アルモノヲ除クノ外配達ニ依ル傳達ヲ爲ササルコト

八 規程第五條ノ局所ニ於ケル時間外取扱ニ付テハ之カ爲特ニ服務時間ノ延伸等ヲ要スル義ニ非サルモ防空通信ノ重要性ニ鑑ミ出來得ル限り之カ取扱ニ應スル趣旨ナルコト

九 電信局所又ハ電話局所ニ於テ當該通信ノ一部カ防空通信ノ範圍ヲ逸脱スルヤニ認ムル場合ハ一應其ノ取扱ヲ了シ事後當

- 十 該防空機關ニ之ヲ注意スルト共ニ必要アル場合ハ所轄選信局長ニ其ノ要旨ヲ報告スルコト
- 十一 防空通信ハ深夜又ハ晝間繁忙時等ニ於テ突如發信セララルル場合アルヘキニ付人員配置及服務方法ニ關シ特ニ配意シ取扱上齟齬ナキヲ期スルコト
- 十二 警察事務ノ専用ニ供スル爲施設シタル官廳用ノ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ハ警察官憲相互間ニ發受スル防空ノ實施上必要ナル通信ヲ當然爲シ得ル義ニ付此限度ニ於テハ規則第九條ニ依ル供用ヲ爲スノ要ナキコト
- 十三 尙私設又ハ官廳用ノ無線電信中船舶無線電信ト交信ノ目的ヲ以テ陸上ニ施設シタルモノ又ハ船舶若ハ航空機ニ施設シタルモノニシテ現ニ公衆通信ニ供用シ居ラサルモノハ全部之ヲ防空通信ニ供用スルコト
- 十四 防空通信取扱所ニ對シ交付スヘキ事業用物品ハ一應規定ニ例示シタルモ當該取扱所ノ實情ニ應シ適宜之ヲ省略スルモ支ナキコト
- 十五 防空通信取扱所ニ對シテハ成ルヘク所轄選信局長ニ於テ防空通信ノ取扱ニ關スル平易ナル解説書様ノモノヲ作成配布シ其ノ取扱ニ齟齬ナカラシムルコト
- 十六 防空電信關係書類ハ整理後三ヶ月間自局所ニ保存スルモノナルカ右期間ヲ經過シタルモノハ物品ニ關スル一般規定ニ依リ處理スルコト
- 十七 規程第十四條ニ依ル局所ノ防空監視ハ義務的ニ非サルモ事務上支障ナキ範圍ニ於テ成ルヘク敵機ノ來襲ニ注意シ若シ敵機又ハ敵機ノ疑アル航空機ヲ發見シタルトキハ直ニ所定ノ防空機關ニ之ヲ通報スルコト
- 十八 規程ニ於テ無線局、陸上局、海岸局、航空局、移動局、船舶局又ハ航空機局ト指稱セル局中ニハ既設局ノ外規則第九條ニ依ル防空通信取扱所^{特ニ告示ヲ省略}ヲモ含ム義ナルコト
- 十九 防空通信ニ關シ規則、規程其ノ他ニ依リ選信局長ニ於テ專決シタル事項並防空通信ノ利用狀況及警報傳達ノ實況等ハ選信局長ニ於テ適宜之ヲ取纏メ當分ノ内其ノ都度電務局ニ報告スルコト

第二 防空電報

- 一 防空電報ハ當分ノ内和文電報ノミ取扱フモノナルニ付私設又ハ官廳用ノ電信、電話、無線電信若ハ無線電話ヲ防空通信ニ供用スル場合交付スル物品ハ和文電報關係ノモノニ限リタルコト
- 二 防空通信取扱所ト直接連絡ヲ爲ス一般接續局所ニ於テハ左ノ方法ニ依ルコト
 - (イ) 取扱所發信防空電報ニ對シ其ノ著信局所名ヲ指定スルコト
 - (ロ) 取扱所ニ發著スル局報ハ當該取扱所ニ代リ照復シ自局原書トシテ之ヲ處理スルコト此ノ場合發受信人ニ通知ヲ要シ又ハ電報原書ニ校正若ハ補足等ヲ要スル場合ハ其ノ要旨ヲ取扱所ニ通知スルコト
 - (ハ) 前各號ノ外取扱所ニ於ケル電報取扱方ニ付テハ必要ニ應シ之ヲ指導スルコト
- 三 警報ハ隨時發令セララルモノナルニ付警報送來回線ニ對スル人員配置ニハ特ニ留意シ苟モ其ノ受信ヲ洩スカ如キコトナキ様充分配意スルコト
- 四 警報監査局ニ指定セラレタル局所ハ特ニ警報ノ送來ニ注意シ受信證ノ送出ナキ局所ニ對シテハ直ニ送信方取計ヒ可及的速ニ全局所ヘノ傳達ヲ全カラシムル様配意スルコト
- 五 情報及指揮連絡報ノ取扱ニ方リテハ他ノ電報トノ送達順位ノ識別ヲ容易ナラシムル爲適宜ノ方法ヲ講シ取扱上齟齬ヲ生セシメサル様特ニ配意スルコト
- 六 指揮連絡報ハ至急官報ト同順位ノ外國電報及外國無線電報トモ當然同順位ナルコト
- 七 海岸局又ハ航空局ニ於テ警報ヲ入手シタルトキハ其ノ圈内ニ在ル船舶局又ハ航空機局ニ對シ最大電力ヲ以テ之ヲ放送シ(此ノ場合本文略號ハ之ヲ普通辭ニ翻譯シ放送スルモノトス)必要アラバ爾後數回反復放送スル等其ノ周知ニ付テ特ニ配意スルコト
- 八 船舶局及航空機局ハ警報ノ放送ニ最善ノ注意ヲ拂ヒ其ノ受信ニ努ムルコト
- 九 警報ハ海岸局又ハ航空局ヨリ放送セララルノミナラス時トシテ軍艦ヨリ通報セララルル場合アルヘキニ付注意スルコト
- 十 防空情報通信規約(昭和十二年九月一日附電無第二七〇七號通牒)中通信方法ニ關スル第三條以下ノ規定ハ規則及規程ノ實施ト共ニ之ヲ廢止セララルヘキコト

第三 防空通信

- 一 防空市外通話ヲ利用スヘキ區間及其ノ電話番號ハ選信局長ニ於テ防空機關ト協議シ成ルヘク之ヲ特定セシムルコト
- 二 警報通話ヲ請求シ得ルモノハ防空警報發令官ニ限ルモノナルコト
- 三 通話局ニ於テ防空通話ノ請求ヲ受ケタルトキハ正當發信資格者ナルコトヲ確メタル上受付タルコト
- 四 度數料金制施行地ノ市内通話ヲ警報又ハ情報取扱上ノ必要ニ依リ中斷シタルトキ之ヲ再接續スルコト困難ナル場合ハ電話規則第五十三條第三號ニ準シ當該中斷通話ヲ課金通話度數中ニ算入セサルコト
- 五 公衆電話所發信ノ市内通話ヲ中斷シタル場合ハ適宜ノ用紙ニ中斷及再開時刻ヲ記錄シ置タコト

防空通信取扱規程

- 六 中斷シタル通話ニシテ機械設備上再接續シ得サリシモノト雖後刻關係通話者ヨリノ申出ニ依リ中斷ノ事實ヲ確認シ得タルモノハ再接續スルコト
 - 七 規則第八條第一項ノ規定ハ度數料ノ徵收ニ影響ナキコト
 - 八 防空通話ノ爲ノ呼出ハ無料呼出ノ例ニ準シ處理スルモ其ノ取扱範圍ハ同一加入區域内ニ限定セラルルモノニハ非サルコト(無料電話規程第八條第二號參照)
 - 九 指揮連絡報ハ國際通話ニ優先セサルコト
 - 十 無線電話ニ依ル防空通話ニハ出來得ル限り秘話裝置ヲ使用スルコト
- 第四 防空訓練通信**
- 一 防空訓練通信ニ對シ規則及規程ヲ準用スル場合ハ大體ニ於テ道府縣以上ノ地域ニ亘リ訓練ヲ實施スル場合又ハ之ニ準スル大規模ノ訓練ニ限ルコトトシ其ノ都度之ヲ告示スル方針ナルコト

無線電信法

無線電信法

無線電信法

大正四年六月十九日（昭和四、四、一法律）
法律第二十九號（第四十五號改正）

無線電信法

- 第一條 無線電信及無線電話ハ政府之ヲ管掌ス
- 第二條 左ニ掲クル無線電信又ハ無線電話ハ命令ノ定ムル所ニ依リ主務大臣ノ許可ヲ受ケ之ヲ私設スルコトヲ得
航行ノ安全ニ備フル目的ヲ以テ船舶ニ施設スルモノ
- 一 同一人ノ特定事業ニ用ウル船舶相互間ニ於テ其ノ事業ノ用ニ供スル目的ヲ以テ船舶ニ施設スルモノ
- 二 電報送受ノ爲電信官署トノ間ニ施設者ノ專用ニ供スル目的ヲ以テ電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナキ陸地又ハ船舶ニ施設スルモノ
- 三 電信、電話、無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信ノ連絡ナク前號ノ規定ニ依ルヲ不適當トスル陸地相互間又ハ陸地船舶間ニ於テ同一人ノ特定事業ニ用ウル目的ヲ以テ陸地又ハ船舶ニ施設スルモノ
- 四 無線電信又ハ無線電話ニ關スル實驗ニ專用スル目的ヲ以テ施設スルモノ
- 五 前各號ノ外主務大臣ニ於テ特ニ施設ノ必要アリト認メタルモノ
- 六 第三條 施設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ装置及運用ニ關スル制限竝私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ通信ニ從事スル者ノ資格及配置定員ハ命令ノ定ムル所ニ依ル
- 第四條 私設ノ無線電信及無線電話ハ其ノ施設ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ船舶遭難通信、氣象通信、報時通信其ノ他主務大臣ニ於テ公益上必要ト認ムル通信ニ限り之ヲ使用スルコトヲ妨ケス
- 第五條 外國船舶ニ裝置シタル無線電信又ハ無線電話ハ第二條ノ規定ニ依リ施設シタルモノヲ除クノ外之ヲ使用スルコトヲ得ス但シ船舶遭難通信及航行中電信官署又ハ電話官署トノ通信ニ使用スルコトヲ妨ケス
- 第六條 主務大臣ハ命令ノ定ムル所ニ依リ私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用

無線電信法

ニ供セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ吏員ヲ派遣シテ其ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

第七條 主務大臣ハ公衆通信上又ハ軍事上必要ト認ムルトキハ私設ノ無線電信、無線電話ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ設備ノ變更、使用ノ制限若ハ使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得無線電信、無線電話ノ混信防護ノ爲必要ト認ムルトキ亦同シ

第八條 主務大臣ハ公安ノ爲必要ト認ムルトキハ私設ノ無線電信、無線電話又ハ外國船舶ニ裝置シタル無線電信、無線電話ノ使用ノ制限、停止又ハ其ノ機器附屬ノ除却ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ主務大臣ハ當該官吏ヲシテ機器附屬ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ除却セシムルコトヲ得

第八條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルモノト認ムルトキハ主務大臣ノ指定シタル電信官署又ハ電話官署ニ於テ之ヲ停止シ又ハ當該無線電信、無線電話ノ施設者若ハ當該通信ヲ發スル者ニ對シ其ノ通信ノ停止ヲ命スルコトヲ得

逓信省告示第三百八十號 昭和四年十二月五日

無線電信法第八條ノ二ノ電信官署及電話官署ハ私設ノ無線電信、無線電話ノ通信ニ關シテハ之ヲ逓信局及私設無線電信無線電話規則第六十八條ニ依リ指定シタル無線通信監視局トシ其ノ他ノ無線電信、無線電話ノ通信ニ關シテハ之ヲ逓信局トス

第九條 私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ施設者、本法ニ基キテ發スル命令又ハ之ニ基キテ爲ス處分ニ違反シタルトキハ主務大臣ハ其ノ無線電信、無線電話ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ使用ノ停止ヲ命スルコトヲ得

第十條 私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ施設者其ノ無線電信又ハ無線電話ノ許可ヲ取消サレタルトキハ主務大臣ノ命スル所ニ依リ其ノ機器工作物ヲ撤去スルコトヲ要ス私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ廢止シタルトキ亦同シ

第十一條 私設ノ無線電信 無線電話又ハ外國船舶ニ施設シタル無線電信、無線電話ハ船舶遭難通信ノ取扱ノ依頼ヲ受ケタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 無線電信又ハ無線電話ハ船舶遭難通信アリタル場合ニ於テハ直ニ應答シ救助上最便宜ノ位置ニ在ル無線電信又ハ無線電話ニ通報スヘシ

前項ノ場合ニ於テ特定ノ事項ノ通報ヲ求メラレタルトキハ前項ノ規程ニ依ラス直ニ其ノ通報ヲ爲スコトヲ要ス

第十三條 主務大臣ハ不法ニ無線電信又ハ無線電話ヲ施設スル者アリト認メタルトキハ當該官吏ヲシテ其ノ施設ノ場所ニ立入り機器工作物ノ検査、機器附屬具ノ除却其ノ他相當ノ措置ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條ノ二 主務大臣ハ私設ノ無線電信又ハ無線電話ノ機器、其ノ裝置又ハ運用ニ關シ監督上必要ト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ其ノ施設ノ場所ニ立入り機器工作物及關係書類ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十三條ノ三 前二項ノ規定ニ依リ當該官吏無線電信又ハ無線電話ノ施設ノ場所ニ立入ル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證明スヘキ證票ヲ携帯スヘシ

第十四條 政府ハ公衆通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ノ施設ノ爲船舶ノ一部ヲ使用シ必要アルトキハ特殊ノ供給又ハ設備ヲ命スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ相當ノ使用料及特殊ノ供給、設備ノ實費ハ請求ニ因リ政府之ヲ支給ス

第十五條 公衆通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ依ル通信ニシテ無線電信、無線電話、電信、電話、郵便、郵便爲替、郵便貯金ノ事務又ハ船舶遭難、航行ノ安全、報時氣象報告ニ關スルモノハ命令ノ定ムル所ニ依リ無料ト爲スコトヲ得

第十六條 許可ナクシテ無線電信、無線電話ヲ施設シ若ハ許可ナクシテ施設シタル無線電信、無線電話ヲ使用シタル者又ハ許可ヲ取消サレタル後私設ノ無線電信、無線電話ヲ使用シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ無線電信又ハ無線電話ヲ他人ノ用ニ供シ因テ金錢物品ヲ收得シタルトキハ之ヲ沒收

第十七條

ス既ニ消費又ハ讓渡シタルトキハ其ノ金額又ハ代價ヲ追徴ス
私設ノ無線電信又ハ無線電話ヲ其ノ施設ノ目的以外ニ使用シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ場合ニ於テ無線電信又ハ無線電話ヲ他人ノ用ニ供シ因テ金錢物品ヲ收得シタルトキハ之ヲ沒收
ス既ニ消費又ハ讓渡シタルトキハ其ノ金額又ハ代價ヲ追徴ス

第十八條

私設ノ無線電信又ハ無線電話ニ依頼シ通信ヲ爲サシメタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス
第五條ノ規定ニ違反シタル者又ハ本法ニ依ル無線電信、無線電話ノ使用ノ制限停止、設備變更若ハ除
却撤去ノ命令ニ從ハサル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者使用ノ制
限又ハ停止ニ違反シテ使用シタルトキハ其ノ從事者ニ付亦同シ

第十九條

第六條ノ場合ニ於テ正當ノ事由ナクシテ無線電信、無線電話ノ使用ヲ拒ミ又ハ第十四條ノ場合ニ於テ
正當ノ事由ナクシテ船舶ノ使用ヲ拒ミ若ハ特殊ノ供給設備ヲ爲ササル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
第二十條
電信官署又ハ電話官署ノ取扱中ニ係ル無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ秘密ヲ侵シタル者ハ一年以下ノ
懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十條

無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ通信ノ秘密ヲ漏泄シタルトキハ二年以下ノ懲役又ハ
五百圓以下ノ罰金ニ處ス
本條ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十一條

第二十條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ依リ知得シタル前條ニ該當セサル無線電信又ハ無線電話ノ通信ノ秘密ヲ
漏泄シタル者ハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
前項ノ罪ハ告訴ヲ待テ之ヲ論ス

第二十二條

他人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ無線電信又ハ無線電話ニ依リ虛偽ノ通信ヲ發シタル者ハ二年以下ノ
懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
公益ヲ害スル目的ヲ以テ無線電信又ハ無線電話ニ依リ虛偽ノ通信ヲ發シタル者ハ五年以下ノ懲役又
ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス
船舶遭難ノ事實ナキニ拘ラス無線電信又ハ無線電話ニ依リ船舶遭難通信ヲ發シタル者ハ三月以上十
年以下ノ懲役ニ處ス

第二十三條

無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者第一項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓
以下ノ罰金、第二項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ十年以下ノ懲役、第三項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ一年
以上ノ有期懲役ニ處ス

第二十四條

無線電信又ハ無線電話ニ依リ公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スル通信ヲ發シタル者ハ二年以下ノ
懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス
無線電信又ハ無線電話ノ事務ニ從事スル者前項ノ行爲ヲ爲シタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以
下ノ罰金ニ處ス

第二十五條

無線電信ノ事務ニ從事スル者電信官署ノ取扱中ニ係ル無線電信ニ依ル電報ヲ正當ノ事由ナクシテ開
披、毀損、隱匿若ハ放棄シタルトキ又ハ受取人ニ非サル者ニ交付シタルトキハ三年以下ノ懲役又ハ
五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ刑法第二百五十八條又ハ第二百五十九條ニ該當スル場合ハ刑法ノ例ニ
依ル

第二十六條

無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ノ取
扱ヲ爲ササルトキ又ハ之ヲ遅延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ第十一條若ハ第十二條ノ規定ニ依ル船
舶遭難通信ノ取扱ヲ爲ササルトキ又ハ之ヲ遅延セシメタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス
船舶遭難通信ノ取扱ヲ妨害シタル者ハ罰前項ニ同シ

第二十七條

無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ノ取
扱ヲ爲ササルトキ又ハ之ヲ遅延セシメタルトキハ一年以下ノ懲役又ハ二百圓以下ノ罰金ニ處ス
無線電信、無線電話ノ事務ニ從事スル者正當ノ事由ナクシテ第十一條若ハ第十二條ノ規定ニ依ル船
舶遭難通信ノ取扱ヲ爲ササルトキ又ハ之ヲ遅延セシメタルトキハ一年以上ノ有期懲役ニ處ス
船舶遭難通信ノ取扱ヲ妨害シタル者ハ罰前項ニ同シ

第二十五條 無線電信、無線電話ニ依ル公衆通信若ハ軍事上必要ナル通信ヲ障碍シ又ハ之ヲ障碍スヘキ行爲ヲ爲シタル者ハ七年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 第十六條乃至第二十五條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

第二十七條 本法ニ基キテ爲ス當該吏員ノ職務ノ執行ヲ拒ミ、之ヲ妨ケ若ハ忌避シ又ハ第十三條若ハ第十三條ノ二ノ規定ニ依ル検査ノ際當該官吏ノ尋問ニ對シ答辯ヲ爲サス若ハ虚偽ノ陳述ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第二十八條 電信法第四條、第十一條乃至第二十一條、第二十三條、第二十四條及第四十五條ノ規定ハ公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ノ用ニ供スル無線電信又ハ無線電話ニ之ヲ準用ス

第二十八條ノ二 無線電信又ハ無線電話ニ非スト雖高周波電流ヲ使用シ通報信號ヲ爲スモノニ關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ本法ノ規定ヲ準用ス

第二十八條ノ三 主務大臣ハ無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信又ハ軍事上必要ナル通信ニ及ホス障碍ヲ防止スル爲必要ト認ムルトキハ高周波電流ヲ發生スル設備ニシテ無線電信、無線電話又ハ前條ノ通報信號施設ニ非サルモノニ關シ其ノ施設者ニ對シ設備ノ變更又ハ特殊ノ設備ヲ命スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ設備ノ變更又ハ特殊ノ設備ニ要シタル費用ハ命令ノ定ムル所ニ依リ政府之ヲ補償ス
前項ノ規定ニ依ル補償ニ關スル決定ニ對シ不服アル者ハ其ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三月内ニ民事訴訟ヲ提起スルコトヲ得

第二十九條 本法ハ航空機ニ施設スル無線電信及無線電話ニ關シ之ヲ準用ス

第三十條 本法ノ適用ニ付テハ航空機ハ之ヲ船舶ト看做ス

附 則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(大正四年十一月一日ヨリ施行)

附 則 (昭和四年四月一日法律第四十五號) 無線電信法中改正附則 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム(昭和五年一月一日ヨリ施行)

◎高周波電流ヲ使用スル通報信號施設ニ無線電信法準用ノ件 (昭和四年十二月五日) (省令第五十二號)

無線電信法第二十八條ノ二ニ依リ無線電信法中第三條、第七條乃至第九條、第十三條及第十三條ノ三ノ規定ハ電線路ニ一萬「サイクル」以上ノ高周波電流ヲ通スル電信、電話其ノ他ノ通報信號施設ニ、第二條乃至第四條、第七條、第八條、第九條、第十條及第十三條乃至第十三條ノ三ノ規定ハ無線標識施設ニ之ヲ準用ス

附 則 本令ハ昭和四年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス(昭和五年一月一日ヨリ施行)

◎無線電信法第二十八條ノ二ニ依ル費用補償ニ關スル件 (昭和四年十二月五日) (省令第五十七號)

第一條 無線電信法第二十八條ノ三ニ依リ政府ノ補償スヘキ費用ハ本令ノ定ムル所ニ依リ施設者ノ請求ヲ俟テ之ヲ支給ス

第二條 前條ノ費用ヲ請求セムトスル者ハ工事竣功ノ日ヨリ三月内ニ其ノ内譯ヲ明記シタル請求書ヲ所轄遞信局經由遞信大臣ニ提出スヘシ

第三條 遞信大臣前條ノ請求ヲ受ケタルトキハ其ノ當否及金額ヲ審査シ之カ決定ヲ請求者ニ通知ス

第四條 設備ノ變更又ハ特殊ノ設備左ノ各號ノ一ニ該當スル場合之ニ要シタル經費ハ第一條ノ費用中ニ包含セサルモノトス

一 命令スル所ニ反シ通信障害ヲ除去スルコト能ハサルトキ

二 無線電信又ハ無線電話ニ依ル公衆通信、軍事通信開始ノ後又ハ當該無線電信、無線電話ノ機器裝置變更ノ後新ニ設備シ又ハ變更シタルニ因リ通信障害ヲ生シ之ニ對シ命セラレタルモノナルトキ

三 修繕其ノ他當該設備保守上必要ナル處置ニ屬スルトキ
附 則
本令ハ昭和四年法律第四十五號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

無線電報規則

無線電報規則

無線電報規則

大正十四年八月二十二日
省令第五十一號

無線電報規則目次

第一章	總則	三〇六頁
第二章	艦船又ハ航空機發著無線電報	三〇七
第三章	陸地間無線電報	三〇九
第四章	放送無線電報	三一〇
第五章	附則	三一六

第一章 總 則

◇ 同文無線電報ノ指定方ニ關スル件(電業第二三九號 昭八、二、二)

無線電報規則第十一條ニ依ル船舶中繼ノ指定並同第二十二條ニ依ル無線電報ノ指定ハ同文無線電報ニ付テハ其ノ原信ニノミ各相當記入セシムヘキ義ト諒相成度

第一條 無線電報トハ無線電信又ハ無線電話ニ依リ送受スヘキ電報ヲ謂フ

第二條 本令ニ於テ海岸局トハ艦船トノ間ニ、航空局トハ航空機トノ間ニ無線電信又ハ無線電話ニ依リ通信ヲ爲ス陸上電信官署、船舶局トハ船舶内電信官署、航空機局トハ航空機内電信官署、固定局トハ陸地間ニ於テ無線電信又ハ無線電話ニ依リ通信ヲ爲ス電信官署、託送發受所トハ電信官署トノ間ニ無線電報ヲ送受スル目的ヲ以テ施設シタル官廳用若ハ私設ノ無線電信又ハ無線電話及軍用無線電報若ハ海軍官憲ノ承認ヲ經タル無線電報ヲ電信官署トノ間ニ送受スルコトヲ遞信大臣ニ於テ承認シタル軍用ノ無線電信又ハ無線電話ヲ謂フ

本令ニ於テ陸上局トハ海岸局及航空局、移動局トハ船舶局及航空機局、無線局トハ陸上局、移動局及固定局ヲ謂フ

無線局及託送發受所ノ名稱及呼出符號ハ之ヲ告示ス

第三條 艦船又ハ航空機發著無線電報ハ電報取扱時間ニ拘ラス之ヲ取扱フ但シ電報取扱時間外ニ於テ全ク取扱ヲ爲ササル電信官署ニ在リテハ此ノ限ニ在ラス

第四條 船舶局ニ於テハ其ノ船舶休航中又ハ碇泊中航空機局ニ於テハ其ノ航空機休航中又ハ著陸若ハ著水中無線電報ノ取扱ヲ爲サザルコトアルヘシ

第五條 船舶又ハ航空機ノ遭難ニ際シ其ノ船舶又ハ航空機ノ名稱航空機ニ在リテハ登録記號ノ外ニ名稱ヲ附スルモノハ該名稱ヲ含ム以下同シ、遭難ノ位置、狀況其ノ他救助ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線局ニ於テ他ノ通信ヲ中止シ最先順位ヲ以テ之ヲ取扱フ

第六條 前條ノ規定ニ依ル無線電報ハ之ヲ局報ト爲スコトヲ得但シ有線電信系上傳送ヲ要スルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條 船舶又ハ航空機ノ航行上ノ危險警戒其ノ他海上又ハ空中ニ於ケル生命財產ノ保全ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ニシテ無線局ニ於テ緊急ノ性質ヲ有スルモノハ前二條ノ規定ニ準シ之ヲ取扱フ

第八條 無線局ト海軍託送發受所トノ間ノ通信方法ハ別ニ告示スル海軍無線電報取扱規約ニ依ル前項ノ規約ハ無線局ト海軍託送發受所以外ノ託送發受所トノ間ノ通信方法ニ關シ之ヲ準用ス

第八條ノ二(削除)
第九條 本令ニ規定ナキ事項ハ内國電報ニ關スル規定ニ依ル

第二章 艦船又ハ航空機發著無線電報

第十條 艦船又ハ航空機發著無線電報ニシテ陸上局ヲ經由スヘキモノノ宛所中ニハ該局名ヲ記載シ括弧ヲ以テ之ヲ區別スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ陸上局名ハ歐文電報ニ於テモ之ヲ語數ニ算入セス

前項ノ陸上局ニ於テ送信シ得サル場合他ノ陸上局ヲ經由シテ送信シ得ルトキハ該局ヲ經由セシメ無線電信又ハ無線電話ニ依ラサルモ陸上電信官署ヨリ配達シ得ルトキハ該官署ヨリ配達スルコトアルヘシ

前項ノ無線電報配達上必要アルトキハ無線電報料ヲ配達料ニ充當シテ別使配達又ハ艇船配達ヲ爲シ又ハ有線電報料ニ充當スルコトアルヘシ

第十條ノ二 航空機發著無線電報ノ宛所中ニハ該航空機ノ發著地名場合ニ依リ發著日時ヲ附記スヘシ、所有者名及名稱等該電報送達上必要ナル事項ヲ記載スヘシ

第十一條 船舶局ノ中繼ヲ要スル無線電報ニハ指定事項トシテ左ノ略號ヲ記入スヘシ
和文略號 ナ ヨ
歐文略號 R M
前項ノ中繼ハ一回ニ限ル

第十二條 第一項ノ指定事項ハ同文無線電報ニ付テハ原信ニノミ之ヲ記入スヘシ
艦船又ハ航空機發着無線電報ノ發信人陸上局ニ於ケル該電報ノ保管期間ヲ指定セムトスルトキハ指定事項トシテ其ノ日數ヲ記入スヘシ

第十三條 前項ノ指定ナキ無線電報ハ發信ノ日ヨリ五日間陸上局ニ之ヲ保管ス但シ艦船又ハ航空機カ既ニ通信距離外ニ去リタル等ノ爲メ送信不能ナル場合陸上局ニ於テ必要ナシト認ムルトキハ保管ヲ爲ササルコトアルヘシ

第十三條 發信人前條ノ規定ニ依ル保管期間ヲ延長セムトスルトキハ該期間滿了前其ノ旨ヲ發信電信官署ニ請求スヘシ順次更ニ保管期間ヲ延長セムトスルトキ亦同シ此ノ場合ニ於テ日數ヲ指定セサルトキハ延長期間ヲ五日間トス
前項ノ請求ヲ爲ストキハ陸上局ニ對スル通知ニ要スル電報ノ料金 原信官報ナルトキハ官報ノ料金ト一般私報又ハ新聞電報ナル時ハ一般私報ノ料金ト同額ノ料金ヲ納付スヘシ

第十四條 第十三條ノ二 前二條ノ規定ニ依ル艦船又ハ航空機發着無線電報ノ保管期間滿了後ト雖海上局ニ於テ該無線電報ヲ返信料ヲ前納スル艦船又ハ航空機發着無線電報ノ指定略號ニハ前納料金額ヲ附記スヘシ但シ其ノ前納料金額カ八十錢ナルトキハ之カ附記ヲ要セス

第十五條 艦船又ハ航空機發着無線電報ニ關スル尋問又ハ改正若ハ停止ニシテ返信ヲ要スルモノハ陸上電信官署間ニ限リ其ノ取扱ヲ爲ス
艦船又ハ航空機發着無線電報ニ付テハ追尾、翌朝配達及配達日時指定ノ取扱ヲ爲サス
航行中ノ船舶内ニ公示ノ目的ヲ以テ發スル船舶局著無線電報ニシテ發信人ニ於テ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケ一定ノ電信官署ニ差出スモノハ別ニ規定シアルモノヲ除クノ外新聞電報トシテ之ヲ取扱フ但シ發信又ハ受信ノ際發信證票又ハ受信證票ノ提示ヲ要セス且該電報ノ豫約及料金後納ノ取扱ヲ爲サス
前條ノ規定ニ依ル新聞無線電報ニシテ同一海岸局ヲ經由シ二箇以上ノ船舶局ニ著スルモノハ陸上電信官署間ニ限リ同文電報ト爲スコトヲ得但シ同文ノ略號ニ代フルニ左ノ略號ヲ以テスヘシ

第十六條 艦船又ハ航空機發着無線電報ハ陸上電信官署間ニ限リ至急、再送及受信報知ノ取扱ヲ爲ス受信報知ヲ要スル艦船又ハ航空機發着無線電報ノ發信人ニハ海岸局ニ於テ該電報ヲ送信シタル日時ヲ通知ス

第十七條 艦船又ハ航空機發着無線電報ニ付テハ追尾、翌朝配達及配達日時指定ノ取扱ヲ爲サス

第十八條 航行中ノ船舶内ニ公示ノ目的ヲ以テ發スル船舶局著無線電報ニシテ發信人ニ於テ所轄遞信局長ノ認可ヲ受ケ一定ノ電信官署ニ差出スモノハ別ニ規定シアルモノヲ除クノ外新聞電報トシテ之ヲ取扱フ但シ發信又ハ受信ノ際發信證票又ハ受信證票ノ提示ヲ要セス且該電報ノ豫約及料金後納ノ取扱ヲ爲サス

第十九條 前條ノ規定ニ依ル新聞無線電報ニシテ同一海岸局ヲ經由シ二箇以上ノ船舶局ニ著スルモノハ陸上電信官署間ニ限リ同文電報ト爲スコトヲ得但シ同文ノ略號ニ代フルニ左ノ略號ヲ以テスヘシ
和文略號 ラ ヨ
歐文略號 S M

第二十條 前項ノ同文電報ニ付テハ第十條第二項及第三項ノ規定ヲ適用セス但シ該電報ノ全部カ同一海岸局ヲ經由シテ傳送シ得ル場合又ハ同一陸上電信官署ヨリ配達シ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十一條 艦船又ハ航空機發着無線電報ノ送受ハ對手局カ確實ナル通信距離内ニ在ルトキ之ヲ行フ
船舶又ハ航空機託送發受所ノ施設者ニ於テ第四十七條ニ規定スル料金又ハ私設無線電信無線電話規則第四條ニ規定スル料金ヲ納付セサルトキハ電信官署ニ於テ當該託送發受所トノ間ノ無線電報送受ヲ停止スルコトアルヘシ

第二十二條 第三章 陸地間無線電報
固定局間傳送ヲ要スル無線電報ニシテ別ニ告示スル所ニ依リ無線電報ト指定シテ差出スヘキモノニハ指定事項トシテ左ノ略號ヲ記入スヘシ
和文略號 ナ イ
歐文略號 R A

前項ノ指定事項ハ同文無線電報ニ付テハ原信ニノミ之ヲ記入スヘシ

第二十三條 固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ傳送上必要アルトキハ所定ノ固定局間傳送ニ代フルニ他ノ固定局間傳送ヲ以テシ又ハ有線電信系ニ依リ之ヲ傳送スルコトアルヘシ

第二十四條 固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ種類、取扱期間其ノ他ノ事項ニ付特ニ制限スル場合ハ別ニ之ヲ告示ス

第二十五條 第二十一條ノ規定ハ陸上託送發受所發著無線電報ニ之ヲ準用ス

第四章 放送無線電報

第二十六條 航行中ノ船舶外國船舶ヲ含ム内ニ公示ノ目的又ハ別ニ告示スル地域ニ在ル受信人ヲシテ其ノ所屬團體ニ公示セシメ若ハ新聞紙ニ掲載セシムル目的ヲ以テ一年ヲ通シ毎日發スル無線電報ハ之ヲ放送無線電報ト稱スト爲スコトヲ得

第二十七條 放送電報ヲ發信セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル申請書ヲ所轄遞信局ヲ經テ遞信大臣ニ差出シ放送電報取扱ノ認可ヲ受クヘシ認可後第九號ヲ除ク左ノ各號ノ一ニ該當スル事項ヲ變更セムトスルトキ其ノ事項ニ付亦同シ

- 一 發信ノ目的及通報事項ノ種類
- 二 和文電報歐文電報ノ別歐文電報ノ場合ハ使用國語ヲ附記スヘシ
- 三 一通放送字語數
- 四 發信電信官署
- 五 放送電信官署
- 六 電報差出時刻
- 七 放送時刻
- 八 放送周波數
- 九 受信人居所氏名名宛船舶ノ名稱、航路及船主名、公示スヘキ所屬團體名及其ノ所在地、掲載スヘキ新聞紙名及其ノ發行地ヲ附記スヘシ
- 十 受信人名宛略號各受信人ニ共通トス

前項第九號ノ事項ヲ變更シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ發信電信官署ヲ經テ遞信大臣ニ届出ツヘシ一日二通以上ノ放送電報取扱認可ヲ受ケムトスル者ハ各別ニ之ヲ申請スヘシ

- 第二十八條 放送電報ノ受信人及其ノ名宛略號ハ之ヲ告示ス
- 第二十九條 遞信大臣ニ於テ必要アリト認ムルトキハ第二十七條第三號乃至第八號及第十號ノ事項ヲ變更セシムルコトアルヘシ
- 第三十條 放送字語數ヲ變更セムトスルトキハ少クトモ一月以前ニ之ヲ申請スルコトヲ要ス
- 第三十一條 放送電報ノ放送内容ハ受信人、名宛略號及本文トス
- 第三十二條 放送電報ハ和文又ハ歐文ノ普通辭ヲ以テ之ヲ記載スヘシ
- 第三十三條 電報差出時刻ヲ經過シタル後ニ差出シタル放送電報ハ之カ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ
- 第三十四條 廣告又ハ私信ト認ムル事項ヲ記載シタル電報ニ付テハ放送電報ノ取扱ヲ爲サス
- 第三十五條 放送電報ニ付テハ電報規則第七章ノ規定ニ依ル特殊取扱ヲ爲サス
- 第三十六條 放送電報ハ切手ヲ貼附スヘキ場所ニ「無線放送」ト朱書シタル電報賴信紙ヲ使用シテ一通ニ之ヲ記載シ受信人名宛ハ受信人名宛略號ヲ以テ之ヲ表示スヘシ
- 第三十七條 放送電報ノ實際字語數ハ認可字語數ヲ超過スルコトヲ得ス
- 第三十八條 電信官署ノ設置アル船舶宛放送電報ハ該電信官署ニ於テ之ヲ受信人ニ交付ス
- 第三十九條 放送電報ノ受信人ニシテ第二十六條ニ規定スル地域ニ在ル者ハ別ニ告示スル電信官署ニ豫メ請求シテ該電信官署ニ於テ放送電報ノ交付ヲ受クヘシ
- 第四十條 放送電報ノ受信人ニシテ其ノ施設シタル無線電信ヲ有スルモノハ前二項ノ規定ニ拘ラス放送電報ヲ受信スルコトヲ得
- 第四十一條 發信人第五十四條第二項ノ期日迄ニ料金ヲ納付セザルトキハ其ノ滯納ノ期間放送電報ノ取扱ヲ停止ス

前項ノ取扱停止期間二十日以上ニ及ヒ又ハ其ノ停止度數一年三回以上ニ及ヒタルトキハ放送電報取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第四十條 放送電報ノ發信ヲ罷メムトスルトキハ十五日前迄ニ其ノ旨ヲ所轄遞信局ヲ經テ遞信大臣ニ届出ツヘシ

第四十一條 遞信大臣ニ於テ公益上必要アリト認ムルトキ又ハ業務上支障アルトキハ放送電報取扱ノ認可ヲ取消スコトアルヘシ

第四十二條ノ二 航行中ノ艦船又ハ航空機ニ對シ無線電信ニ依リ傳染病情報ヲ放送スル目的ヲ以テ官廳ヨリ毎月定期ニ發信スル電報ニ關シテハ本章ノ規定ヲ準用ス

第五章 料金

第四十二條 無線電報ニハ無線局ニ於ケル無線電信又ハ無線電話ニ依ル送信、受信又ハ中繼ノ各取扱ニ付左ノ無線電報料ヲ課ス但シ固定局間傳送上ノ料金ハ第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル場合及其ノ特定料金ヲ告示シタル場合ヲ除クノ外之ヲ課セス

		通 常 料		同 文 料	
和文	十五字以内	二十五錢	第二通以下各通ニ付	十五錢	
歐文	十五字ヲ超ユルトキハ十五字以内ヲ増ス毎ニ	五 錢			
和文	五十語以内	二十五錢	同		
歐文	五十語ヲ超ユルトキハ十語ヲ増ス毎ニ	五 錢			

新聞電報

和文	五十字以内	二十五錢	第二通以下各通ニ付五十字以内	十五錢
歐文	五十字ヲ超ユルトキハ五十字以内ヲ増ス毎ニ	二十錢	五十語ヲ超ユルトキハ十語ヲ増ス毎ニ	十 錢
和文	十語以内	二十五錢	第二通以下各通ニ付十語以内	十五錢
歐文	十語ヲ超ユルトキハ十語以内ヲ増ス毎ニ	二十錢	十語ヲ超ユルトキハ十語以内ヲ増ス毎ニ	十 錢

原信本文ノ字數ニ依リ

原信本文ノ語數ニ依リ

和文電報ニ連記シタル第二以下ノ受信人名又ハ逐書シタル追尾電報若ハ再送電報ノ第二以下ノ居所ニ付テハ一名宛毎ニ五錢ヲ附課ス

第四十三條 有線電信系上傳送ヲ要スル無線電報ニハ前條ニ規定スル料金ノ外有線電報料ヲ課ス但シ艦船又ハ航空機發着無線電報ニ付テハ有線電信系上ノ傳送地域ニ拘ラス内地間同一市町村内及内地ニ發着スル電報ノ料金ト同額ノ有線電報料ヲ課ス

第四十四條 固定局ヲ兼スル海岸局ニ於テ該固定局ヲ對手局ト爲ス固定局間傳送上ノ料金ニ付告示シタル特定料金ヲ課スル無線電報ヲ艦船又ハ航空機トノ間ニ送受スル場合ハ該海岸局ニ於ケル其ノ送受ニ關シ無線電報料ヲ課セス

第四十五條 別ニ告示スル電信官署ト海軍託送發受所トノ間ニ送受スル海軍用無線電報ニ限リ其ノ送受ニ關シ無線電報料ヲ課セス

第四十六條 無線電報ニ付無線電報料ヲ課セサル場合ニ於テ有線電信系上傳送ヲ要セサルモノニ付テハ其ノ無線局ニ依ル取扱ヲ有線電信系上ノ取扱ト看做シ第四十三條ニ規定スル有線電信料ヲ課ス

第四十六條ノ二 内地ト南洋群島ヲ除クトノ間ニ發着スル電報ニ付テハ内地ト南洋群島トノ間ノ固定局間傳送ハ之ヲ有線電信系上ノ取扱ト看做シ内地ト南洋群島トノ間ニ發着スル電報ノ料金ト同額ノ有線電報料ヲ課ス

第四十七條

一 内地ト南洋群島トノ間ノ固定局間傳送ヲ要スル艦船又ハ航空機發着無線電報ニ付テハ該固定局間傳送ハ之ヲ有線電信系上ノ取扱ト看做シ第四十三條但書ノ規定ニ依ル有線電報料ヲ課ス
二 託送發受所ヨリ發スル無線電報ノ料金ハ左ノ區別ニ依リ徵收ス
海軍託送發受所ヨリ發スルモノ

イ 海軍用無線電報ノ料金ハ別ニ定ムル所ニ依リ海軍省ヨリ之ヲ徵收ス
海軍官憲ノ承認ヲ得タル無線電報ノ料金ハ追徵ノ例ニ依リ郵便切手ヲ以テ受信人ヨリ之ヲ徵收ス但シ他ノ海軍託送發受所ニ著スルモノニ付テハ發信人ヨリ徵收ス
其ノ他ノ託送發受所ヨリ發スルモノ

主務官廳ニ於テ料金額ヲ測定シテ託送發受所ノ施設者ニ通知シ該施設者ヨリ一般歳入徵收ノ例ニ依リ通貨ヲ以テ徵收ス但シ料金徵收上必要アルトキハ郵便切手ヲ以テ納付セシメ又ハ主務官廳ノ指定スル場所ニ於テ料金納付代理人ヲ定メ届出テシムルコトアルヘシ
託送發受所ノ施設者ニ於テ前項ノ料金ヲ納付スヘキ日ハ主務官廳ヨリ該施設者又ハ料金納付代理人ニ測定金額ノ通知ヲ發シタトス

第四十八條

託送發受所著無線電報ニ付受信人ヨリ追徵ヲ要スル料金ハ前條ノ例ニ依リ託送發受所ノ施設者ヨリ之ヲ徵收ス但シ海軍託送發受所著海軍官憲ノ承認ヲ得タル無線電報ニ付受信人ヨリ追徵ヲ要スル料金ハ發信人ヨリ追徵ス

第四十九條

第十條第二項及第三項ノ規定ニ依リ料金不足ヲ生シタルトキハ受信人ヨリ之ヲ追徵ス
同文電報ナルトキ之ヲ各通ニ平分ス
有線電信系ノ障礙又ハ通信輻輳ニ際シ無線局ニ於テ一般電報ヲ臨機傳送シタル場合ニ於テハ其ノ傳

第五十條

送ヲ有線電信系上ノ傳送ト看做シ無線電報料ハ之ヲ追徵セス
左ノ料金ハ之ヲ還付ス但シ他ノ料金ニ充當シタル金額ハ此ノ限ニ在ラス
無線電信又ハ無線電話ニ依リ送受ヲ爲サリシトキハ其ノ部分ノ無線電報料

一

有線電信系上傳送ヲ爲サリシトキハ其ノ部分ノ有線電報料
第二十三條ノ規定ニ依リ所定ノ固定局間傳送ニ代フルニ他ノ固定局間又ハ有線電信系上ノ傳送ヲ爲シタル場合ニ於テハ其ノ傳送ハ之ヲ所定ノ固定局間傳送ト看做シ無線電報料ハ之ヲ還付セス

第五十一條

移動局ニ納付シタル無線電報ニ關スル料金還付ノ請求ハ何レノ電信官署ニ於テモ之ヲ爲スコトヲ得

第五十二條

第十二條乃至第十三條ノ二ノ規定ニ依リ保管期間並第十四條ノ規定ニ依リ返信料前納證書ノ送付ニ要シタル日數ハ料金還付ノ請求期間ニ之ヲ算入セス

第五十三條

放送電報ノ料金ハ左ノ區別ニ依ル金額及一名宛毎ニ月額一圓トス但シ第四十一條ノ二ノ規定ニ依ル放送電報ニ對シテハ名宛數ニ依ル料金ヲ課セス

和

一文

歐

文

月額

一通放送字數	月 額	一通放送語數	月 額
百 字 以 内	二十 圓	二十語 以 内	二十 圓
二百五十 字 以 内	四十 圓	五十語 以 内	四十 圓
五百 字 以 内	八十 圓	百 語 以 内	八十 圓
一千 字 以 内	百四十 圓	二百語 以 内	百四十 圓
一千五百 字 以 内	二百 圓	三百語 以 内	二百 圓
二千 字 以 内	二百六十 圓	四百語 以 内	二百六十 圓

第二十四條

放送電報料ハ一月分毎ニ之ヲ計算シ發信電信官署ヨリ翌月十日迄ニ之ヲ發信人ニ通知ス發信人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ月二十五日迄ニ其ノ料金ヲ發信電信官署ニ通貨ヲ以テ納付スヘシ

第五十五條

放送電報取扱ノ開始又ハ廢止カ月ノ中途ナルトキハ其ノ月分ノ放送電報料ハ日割ヲ以テ之ヲ計算ス

第五十六條 月ノ中途ニ於テ名宛數ニ増減アリタル場合亦同シ
放送電報ノ實際字語數認可字語數ニ達セサル場合ニ於テモ之カ爲第五十三條ニ規定スル料金ハ之ヲ減額セス

第五十七條 電信官署業務上ノ支障ニ依リ放送電報ヲ交付スルコトヲ得ザリシ場合ニ於テモ之カ爲第五十三條ノ料金ハ之ヲ減額又ハ還付セス

第五十八條

一 放送電報料ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノニ限り日割ヲ以テ之ヲ減額ス
月ノ中途ニ於テ第四十一條ノ規定ニ依リ認可ヲ取消シ又ハ第二十九條ノ規定ニ依リ放送字語數ヲ減少セシメタル場合其ノ當日以後ノ日數ニ相當スル料金
二 設備ノ故障其ノ他業務上已ムヲ得サル事由ニ依リ放送電報ノ放送ヲ爲ササルコト引續キ三日以上ニ及ヒタル場合其ノ日數ニ相當スル料金

第五十九條

第三十九條第二項ノ規定ニ依リ認可ヲ取消シ又ハ第四十條ノ規定ニ依リ發信ヲ罷メタル場合ニ於テ認可後一年ニ滿タサルトキハ其ノ一年ニ滿ツル迄ノ期間ノ放送字語數ニ對スル料金ヲ一時ニ徵收ス

附 則

本令ハ大正十四年十一月一日ヨリ之ヲ施行ス

放送無線電報規則及大正六年三遞信省令第七號ハ之ヲ廢止ス

本令施行前ニ差出シタル無線電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

本令施行前放送無線電報發信ノ認可ヲ受ケ現ニ其ノ效力ヲ有スルモノハ本令ニ依リ之カ發信ノ認可ヲ受ケタルモノト看做ス

附 則

昭和九年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前ニ差出シタル無線電報ニ關シテハ仍從前ノ例ニ依ル

◎無線電報規則ニ依ル固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ取扱制限及無線電信上ノ特定料金

昭和七、九、一四
告示第一七〇一號

昭和七年九月二十六日ヨリ無線電報規則ニ依ル固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ取扱制限及無線電信上ノ特定料金左ノ如シ

大正十四年八遞信省告示第千二百五十六號ハ之ヲ廢止ス

無線電報ノ區別

關係固定局名

取扱制限

特定料金

南洋群島中サイパン、ボン、テニアン、トラツク、ボナベ、ヤル、ロト、バラオ、アンガウル及ロタ各島ト南洋群島以外ノ各地トノ間ニ發著スル無線電報
東京、父島、ヤツブ、サイパン、テニアン、トラツク、ボナベ、アンガウル、バラオ、アンヤ
新聞電報ノ豫約取扱及後納取扱ハ之ヲ爲サス

沖繩縣島尻郡大東島ノ内南大東島ト其ノ各地トノ間ニ發著スル無線電報
那覇、南大東島
ナシ

通常電報、時間外電報
至急電報等ノ區別ニ拘ラス上記關係固定局間
傳送料トシテ無線電報料二箇分ヲ課ス

沖繩縣島尻郡大東村字沖大東島ト其ノ各地トノ間ニ發著スル無線電報
那覇、ラサ島
同

北海道千島國占守郡幌筵島ト其ノ各地トノ間、同
北海、道、千、島、國、占、守、郡、幌、筵、島
落石、幌筵、片岡灣、幌
占守島ト其ノ各地トノ間、同
間及幌筵島内ニ發著スル無線電報
蕤測候
上記關係固定局開局中
ニ限リ取扱フ
同

稚内ト樺太トノ間ニ發著ス
ル無線電報 稚内、大泊

稚内郵便局、稚内電信取
取所又ハ稚内無線電信
取所ニ發著スル無線
取報ノ指定アルモノニ
限リ取扱フ
通常電報、時間外電報、
至急電報等ノ區別ニ拘
ラズ上記關係固定局間
傳送料トシテ無線電報
料二箇分ヲ課ス但シ有
線電報料ヲ包含ス

◎無線電報料ヲ課セスシテ海軍用無線電報ヲ取扱フ
電信官署名

大正十四年八月二十四日
告示 第千二百五十八號

大正十四年十一月一日ヨリ無線電報規則第四十五條ニ依リ無線電報料ヲ課セスシテ海軍用無線電報ヲ送受スル電
信官署名左ノ如シ

- 銚子無線電信局 潮岬無線電信局 角島無線電信局 長崎無線電信局
- 落石無線電信局 下津井無線電信局 幌筵無線電信局 那覇郵便局
- 鹿兒島郵便局 函館無線電信局 若狹無線電信局 大分無線電信局

◎同上ノ件

大正十四年十二月八日
臺灣總督府告示 第百七十一號

無線電報規則第四十五條ニ依リ無線電報料ヲ課セスシテ海軍用無線電報ヲ送受スル電信官署名左ノ如シ
本告示ハ大正十四年十二月十六日ヨリ之ヲ實施ス
基隆無線電信局 臺南無線電信局

◎同上ノ件

大正十五年五月三十一日
關東廳告示 第百一號

無線電報規則第四十五條ニ依リ無線電報料ヲ課セスシテ海軍用無線電報ヲ發受スル電信官署名左ノ如シ
大連中央電報局

◎同上ノ件

昭和十二年八月十二日
樺太廳告示 第三十號

昭和十二年八月十五日ヨリ無線電報規則第四十五條ノ規定ニ依リ無線電報料ヲ課セスシテ海軍用無線電報ヲ送受
スル電信官署名左ノ如シ
昭和四年三月樺太廳告示 第百八十六號ハ之ヲ廢止ス
大泊無線電信局 惠須取無線電信局

◎無線電信機ヲ裝置スル電信官署ノ無線電信取扱時間

大正十四年七月三日
告示 第千四號

左ノ無線電信機ヲ裝置スル電信官署ハ下記ノ時間外ニ於テ無線電報ノ取扱ヲ爲ササルコトアルヘシ

沖繩丸、小笠原丸、南洋丸、羅
州丸、臺南丸、朝日丸、ばい
る丸及はるびん丸無線電信局

午前一時ヨリ午後七時迄
午前九時ヨリ午後三時迄
午後五時ヨリ午後七時迄
午後九時ヨリ午後十一時迄

女島無線電信局

午前八時ヨリ午後五時迄

父島海軍通信隊

午前一時ヨリ午前二時迄
午前七時ヨリ午前八時迄
午後一時ヨリ午後二時迄
午後九時ヨリ午後十時迄

新潟無線電信取扱所

午前十時ヨリ正午迄
午後四時ヨリ午後五時迄
午後八時ヨリ午後九時迄

高麗丸無線電信取扱所

午前六時ヨリ午前十二時迄
午後八時ヨリ午後十二時迄

新羅丸無線電信取扱所
其ノ他ノ電信取扱所

同

當該官應用又ハ私設無線電信ニ付別ニ告示スル通信執務時間中

船舶氣象觀測報告規則

昭和十一年六月三十日
文部、逓信省令第一號

第一條

公衆通信ヲ取扱フ無線電信ノ施設ヲ有スル船舶及主務大臣ノ特ニ指定スル船舶ハ東經百度ヨリ百八十度ヲ經テ西經百六十度ニ至ル迄北緯零度ヨリ六十五度迄ノ海面ニシテ本邦海岸局ノ通信距離内ヲ航行中毎日中央標準時(以下)午前六時、正午及午後六時ニ氣象觀測ヲ爲スヘシ

第二條

海上氣象特報、海上暴風警報電報ニ依リ中心示度七百四十耗以下ノ颱風ノ中心ヨリ千軒以内ヲ航行中ナルコトヲ知リタル場合ニ於テハ前條ノ時刻外ニ正午、午前三時、午前九時、午後三時及午後九時ノ氣象觀測ヲモ爲スヘシ

第三條

前項ノ外天候異常ノ場合ニ於テ特ニ必要ト認メタルトキハ前項及前條ノ時刻外ト雖モ氣象觀測ヲ爲スヘシ
前二條ノ場合ニ於テ編隊又ハ集團シテ同一行動ヲ取ル船舶ニ在リテハ各其ノ中ノ便宜ノ一隻ニ於テ氣象觀測ヲ爲スヘシ

第四條

前各條ノ場合ニ於テ内地又ハ朝鮮(執レモ離島ヲ除ク)ノ海岸ヨリ五十軒以内ヲ航行中ナルトキハ本規則ニ定ムル氣象觀測ヲ爲スヲ要セス

第五條

第一條乃至第三條ノ氣象觀測ヲ爲シタルトキハ直ニ中央氣象臺宛電報ヲ以テ之ヲ報告スヘシ

第六條

前條ノ報告ハ中央氣象臺ノ告示スル船舶氣象電報式ニ依ルヘシ

附 則

本令ハ昭和十一年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

船舶氣象電報式

昭和十一年六月三十日
中央氣象臺告示第一號

船舶位置

- 時刻
- 經度
- 緯度
- 氣壓
- 風向
- 風力
- 天氣
- 波浪
- 「ウネリ」ノ來ル方向
- 氣温
- 水温
- 視程

一 宛名ノ書方

本電報ノ宛名ハ「キセウ」ト記載ス

二 時刻ノ書方

時刻ハ二十四時制ニ依リ數字二数字ヲ用ヒ例ヘハ午前一時ハ「〇一」、午前六時ハ「〇六」、正午ハ「一二」、午後六時ハ「一八」ト記載ス

三 經度及緯度ノ書方

船舶ノ位置ハ經緯度ニテ示ス(分數ハ三十分以上ハ度ニ切上ゲ二十九分以下ハ切捨ツ)經度ハ數字三字、緯度ハ數字二数字ヲ用ヒ例ヘハ東經百五十三度二十分、北緯二十九度四十分ハ「一五三三〇」ト記載ス但シ西經ノ場合ニハ之ヲ表ス數字ニ五百ヲ加ヘ例ヘハ西經百七十五度四十分ハ「六七六」ト記載ス

四 氣壓ノ書方

氣壓ハ耗ノ百位ヲ省キ十位及一位ヲ取り以下ハ四捨五入シ數字二数字ヲ用ヒ例ヘハ七百六十二耗五ハ「六七三」、六百九十三耗四ハ「九三」ト記載ス但シ水銀晴雨計ヲ用フルトキハ温度ノ更正ヲ施スヲ要ス

五 風向ノ書方

風向ハ風ノ吹來ル方向ヲ十六方位ニ分チテ示シ左ノ表ニ依リ數字二数字ヲ用ヒテ記載ス

符號	風向
〇〇	靜
〇一	北北
〇二	北北
〇三	北東
〇四	東
〇五	東南
〇六	東南
〇七	南
〇八	西南
〇九	西南
一〇	西南
一一	西
一二	西北
一三	西北
一四	西北
一五	北
一六	北

船舶氣象電報式

六

風力ノ書方

風力ハビューホルト氏十三階級ヲ以テ示シ左ノ表ニ依リ數字一字ヲ用ヒテ記載ス

風力	〇乃至二	三	四	五	六	七	八	九	一〇	一一	一二
符號	二	三	四	五	六	七	八	九	〇	一	二

七

天氣ノ書方

天氣ハ數字左ノ表ニ依リ數字一字ヲ用ヒテ記載ス

天氣	快晴	晴	薄曇	曇	雨	雪	雷雨	霧	烟霧	黃沙
符號	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九

八

波浪ノ書方

波浪ハ左ノ表ニ依リ數字一字ヲ用ヒテ記載ス

波浪	隱	極滑	滑	少々	浪可	浪稍	浪荒	浪高	浪甚	怒濤
符號	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九

九

「ウネリ」ノ來ル方向ノ書方

「ウネリ」ノ來ル方向ハ八方位ニ分テ示シ左ノ表ニ依リ數字一字ヲ用ヒテ記載ス

方向	「ウネリ」 ハ不明	北	東	南	西	北
符號	〇	一	二	三	四	五

十

氣温ノ書方

氣温ハ攝氏ノ度ノ十位及一位ヲ取り以下ハ四捨五入シ數字二字ヲ用ヒテ記載ス但シ氷點以下ノ場合ハ其ノ度數ヲ百度ヨリ減シタル餘數ヲ記載ス例へハ二十度ハ「二三」、八度ハ「〇八」、氷點下十二度ハ「八八」ト記載ス

十一

水温ノ書方

前項ニ準ス但シ暴風雨等ノ爲水温觀測不能ノ場合ハ「五五」ト記載ス

十二

視程ノ書方

視程ハ左ノ表ニ依リ數字一字ヲ用ヒテ記載ス

視程	五	十	十五	二十	二十五	三十	四十	五十	六十	七十	八十	九十
符號	〇	一	二	三	四	五	六	七	八	九	〇	一

十三

例 例
例へハ左ノ如キ現象ヲ觀測シタルトキハ

時刻 午前六時

船舶ノ位置 東經百四十五度北緯三十七度

氣壓 七百三十六耗一

風向 西北西

風力 八

天氣 晴

波浪 浪高シ

「ウネリ」ノ來ル方向 東

氣温 十四度

水温 十二度

視程 三 耗

其ノ電文ハ左ノ如シ

○六一四五三七三六一三八一七二一四一二五

(附 表)

晴雨計ノ示度ヨリ減スヘキ温度更正數

温度攝氏	晴雨計示度 (耗)					温度攝氏	晴雨計示度 (耗)				
	730	740	750	760	770		730	740	750	760	770
0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16	1.9	1.9	2.0	2.0	2.0
1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	17	2.0	2.0	2.1	2.1	2.1
2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	18	2.1	2.2	2.2	2.2	2.3
3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	19	2.3	2.3	2.3	2.3	2.4
4	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	20	2.4	2.4	2.4	2.5	2.5
5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	21	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6
6	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	22	2.6	2.6	2.7	2.7	2.8
7	0.8	0.8	0.8	0.9	0.9	23	2.7	2.8	2.8	2.8	2.9
8	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0	24	2.8	2.9	2.9	3.0	3.0
9	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	25	3.0	3.0	3.0	3.1	3.1
10	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	26	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3
11	1.3	1.3	1.3	1.4	1.4	27	3.2	3.2	3.3	3.3	3.4
12	1.4	1.4	1.5	1.5	1.5	28	3.3	3.4	3.4	3.5	3.5
13	1.5	1.6	1.6	1.6	1.6	29	3.4	3.5	3.5	3.6	3.6
14	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7	30	3.6	3.6	3.7	3.7	3.7
15	1.8	1.8	1.8	1.9	1.9	31	3.7	3.7	3.8	3.8	3.9

例

附著寒暖計 (攝氏) 20°.7

晴雨計ノ示度 (耗)..... 763.5耗

21° ト760耗ニ對スル更正數 -2.6耗

更生濟ノ晴雨計ノ示度 760.9耗

◎海上氣象特報海上暴風警報電報式

昭和十一年六月三十日
中央氣象臺告示第二號

一 中央氣象臺ヨリ無線電信官署ヲ經テ航行中ノ船舶ニ海上氣象特報又ハ海上暴風警報ヲ報スルニハ左ノ電報式ニ依ル

種別及時刻

種別 時刻 段落

甲式 (高氣壓)

高氣壓主文

海區

乙式 (低氣壓)

低氣壓主文

中心位置

中心示度

進行方向

進行速度

段落

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

丙式 (不連續線)

不連續線主文

一端位置

他端位置

進行方向

進行速度

段落

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

東經 北緯

二 本電報ハ最初ニ種別及時刻ヲ記シ次ニ所要ノ電文^{甲式、乙式}ヲ記ス

電文ニ以上ヲ連記スル場合ニ於テハ最初ニ種別及時刻ヲ記シ次ニ甲式、乙式、丙式ノ順序ニ從ヒ之ヲ記載シ
一通ト爲シテ發信ス但シ最終ノ段落ハ記載セサルモノトス

三 種別ハ數字一字ヲ用ヒ海上氣象特報ヲ「一」、海上暴風警報ヲ「二」ト記載ス
時刻ハ二十四時制ニ依リ數字二字ヲ用ヒ例ヘハ午前六時ヲ「〇六」、正午ヲ「一二」、午後六時ヲ「一八」ト記載ス

四 海區ハ第一表ニ依リ數字二字ヲ用ヒテ記載ス

五 高氣壓主文ハ第二表ニ依リ數字二字ヲ用ヒテ記載ス

六 低氣壓主文ハ第三表ニ依リ、不連續線主文ハ第四表ニ依リ夫々數字二字ヲ用ヒテ記載ス

七 中心位置又ハ不連續線兩端ノ位置ハ經緯度ニテ示シ經度數字三字、緯度ハ數字二字ヲ用ヒ例ヘハ東經百三十五度、北緯三十二度ハ「一三五三二」ト記載ス但シ西經ノ場合ニハ之ヲ表ス數字ニ五百ヲ加ヘ例ヘハ西經百七十五度ハ「六七五」ト記載ス

八 中心示度ハ耗ニ依リ數字三字ヲ用ヒ例ヘハ七百四十二耗ハ「七四二」ト記載ス

九 進行方向ハ低氣壓又ハ不連續線ノ進行スル方位ニシテ第五表ニ依リ數字二字ヲ用ヒテ記載ス

十 進行速度ハ每時耗ニ依リ數字二字ヲ用ヒ例ヘハ每時四十五耗ハ「四五」ト記載ス

十一 第一表 海區

符號	海	區
〇一	南支那海	
〇二	臺灣近海	
〇三	臺灣近海及東支那海	
〇四	臺灣近海、東支那海及黃海	
〇五	東支那海	
〇六	東支那海及黃海	
〇七	東支那海、黃海及濟州島對馬近海	

海上氣象特報海上暴風警報電報式

- 〇八 東支那海及內地海南方面
- 〇九 東支那海及南西諸島東方海面
- 一〇 黄海
- 一一 黄海及濟州島對馬近海
- 一二 黄海、濟州島對馬近海及日本海西部
- 一三 黄海及日本海
- 一四 黄海及日本海西部
- 一五 濟州島對馬近海
- 一六 濟州島對馬近海及日本海南部
- 一七 濟州島對馬近海、日本海南部及瀨戶内海
- 一八 濟州島對馬近海及瀨戶内海
- 一九 濟州島對馬近海、瀨戶内海及南海道沖
- 二〇 日本海
- 二一 日本海及樺太近海
- 二二 日本海、樺太近海及奧羽東方海面
- 二三 日本海及瀨戶内海
- 二四 日本海及奧羽東方海面
- 二五 日本海西部
- 二六 日本海西部及南部
- 二七 日本海西部及北部
- 二八 日本海南部

- 二九 日本海南部及東部
- 三〇 日本海南部及瀨戶内海
- 三一 日本海南部、瀨戶内海及南海道沖
- 三二 日本海東部
- 三三 日本海東部及北部
- 三四 日本海東部及奧羽東方海面
- 三五 日本海北部
- 三六 日本海北部及樺太近海
- 三七 日本海北部、樺太近海及オホツク海南部
- 三八 樺太近海
- 三九 樺太近海及オホツク海
- 四〇 內地南方海面
- 四一 內地南方、東方及南東海面
- 四二 內地南方及南東海面
- 四三 瀨戶内海
- 四四 瀨戶内海及南海道沖
- 四五 南海道沖
- 四六 南海道沖東海道關東沖
- 四七 南海道沖及南西諸島東方海面
- 四八 東海道關東沖
- 四九 東海道關東沖及奧羽東方海面

五〇	内地東方面
五一	内地東方及千島南東海面
五二	内地東方及南東海面
五三	奥羽東方面
五四	奥羽東方面及千島南東海面
五五	千島南東海面
五六	千島南東海面及オホツク海南部
五七	千島南東海面及アリウシヤン南方海面
五八	オホツク海
五九	オホツク海南部
六〇	オホツク海北部
六一	オホツク海東部及カムチャツカ東方面
六二	カムチャツカ東方面
六三	カムチャツカ東方面及アリウシヤン南方海面
六四	アリウシヤン南方海面
六五	内地南東海面
六六	南島島北東海面
六七	小笠原附近海面
六八	小笠原北方海面
六九	小笠原東方面
七〇	小笠原南方海面

第二表 高氣壓主文

七一	小笠原西方海面
七二	小笠原西方海面及南西諸島東方面
七三	南西諸島東方面
七四	南西諸島東方及南方海面
七五	南西諸島南方海面
七六	フィリッピン東方面
七七	マリアナ西方海面
七八	マリアナ東方面
七九	西カロリン近海
八〇	東カロリン近海

符號	高	氣	壓	主	文
〇〇	暴風雨トナルヘシ				
〇一	暴風雨ナリ明日モ繼續スヘキ見込				
〇二	暴風雨ナリ今晩風勢衰フヘキ見込				
〇三	暴風雨ナリ明日風勢衰フヘキ見込				
〇四	最激シキ暴風雨トナルヘシ				
〇五	暴風雪トナルヘシ				
〇六	暴風雪ナリ明日モ繼續スヘキ見込				

〇七 暴風雪ナリ今晚風勢衰フヘキ見込
〇八 暴風雪ナリ明日風勢衰フヘキ見込
〇九 最激シキ暴風雪トナルヘシ

一〇 北東ノ風強カルヘシ
一一 北東ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
一二 北東ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
一三 北東ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
一四 北東ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

一五 北東ノ風著シク強クナルヘシ
一六 北東ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
一七 北東ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
一八 北東ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
一九 北東ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

二〇 東ノ風強カルヘシ
二一 東ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
二二 東ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
二三 東ノ風強カルヘシ明日風勢伴フヘキ見込
二四 東ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

二五 東ノ風著シク強クナルヘシ
二六 東ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込

二七 東ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
二八 東ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
二九 東ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

三〇 南東ノ風強カルヘシ
三一 南東ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
三二 南東ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
三三 南東ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
三四 南東ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

三五 南東ノ風著シク強クナルヘシ
三六 南東ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
三七 南東ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
三八 南東ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
三九 南東ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

四〇 南ノ風強カルヘシ
四一 南ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
四二 南ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
四三 南ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
四四 南ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

四五 南ノ風著シク強クナルヘシ
四六 南ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込

四七 南ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 四八 南ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 四九 南ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

五〇 南西ノ風強カルヘシ
 五一 南西ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 五二 南西ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 五三 南西ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 五四 南西ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

五五 南西ノ風著シク強クナルヘシ
 五六 南西ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 五七 南西ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 五八 南西ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 五九 南西ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

六〇 西ノ風強カルヘシ
 六一 西ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 六二 西ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 六三 西ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 六四 西ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

六五 西ノ風著シク強クナルヘシ
 六六 西ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込

六七 西ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 六八 西ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 六九 西ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

七〇 北西ノ風強カルヘシ
 七一 北西ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 七二 北西ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 七三 北西ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 七四 北西ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

七五 北西ノ風著シク強クナルヘシ
 七六 北西ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 七七 北西ノ風著シク強クナルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 七八 北西ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 七九 北西ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ

八〇 北ノ風強カルヘシ
 八一 北ノ風強カルヘシ明日モ吹續スヘキ見込
 八二 北ノ風強カルヘシ今晚風勢衰フヘキ見込
 八三 北ノ風強カルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
 八四 北ノ風強カルヘシ降雪ヲ伴フ

八五 北ノ風著シク強クナルヘシ
 八六 北ノ風著シク強クナルヘシ明日モ吹續スヘキ見込

八七	北ノ風著シク強クナルヘシ今晩風勢衰フヘキ見込
八八	北ノ風著シク強クナルヘシ明日風勢衰フヘキ見込
八九	北ノ風著シク強クナルヘシ降雪ヲ伴フ
九〇	濃霧發生スヘシ
九一	濃霧發生スヘシ明日モ繼續スヘキ見込
九二	濃霧發生スヘシ明日ハ消散スヘキ見込
九三	濃霧斷續スヘシ
九四	濃霧ノ發生スル所多カルヘシ
九五	沿岸浪著シク高クナルヘシ
九六	沿岸津浪ノ虞アリ
九七	沿岸津浪アルヘシ
九八	沿岸高潮ノ虞アリ
九九	沿岸高潮アルヘシ

第三表 低氣壓主文

符號	低氣壓主文
〇〇	低氣壓 風雨ヲ伴ハサルモ漸次發達シテ風雨ヲ伴フニ至ルヘシ
〇一	低氣壓 風雨ヲ伴ハサルモ漸次發達シテ風雪ヲ伴フニ至ルヘシ
〇二	低氣壓 風雨ヲ伴ハサルモ急速ニ發達シテ暴風雨ヲ伴フニ至ルヘシ
〇三	低氣壓 風雨ヲ伴ハサルモ急速ニ發達シテ暴風雪ヲ伴フニ至ルヘシ

〇四	低氣壓 風雪ヲ伴ハサルモ急速ニ發達シテ暴風雪ヲ伴フニ至ルヘシ
〇五	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑三百糎以內
〇六	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑三百糎以內次第二發達ス
〇七	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑三百糎以內次第二衰弱ス
〇八	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑三百糎以內中心位置ハ百糎以內ノ誤差アルヘシ
〇九	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑六百糎以內
一〇	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑六百糎以內次第二發達ス
一一	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑六百糎以內次第二衰弱ス
一二	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑六百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
一三	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以內
一四	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以內次第二發達ス
一五	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以內次第二衰弱ス
一六	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
一七	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以上
一八	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以上次第二發達ス
一九	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以上次第二衰弱ス
二〇	旋風 風雨(又ハ風雪)區域ノ半徑九百糎以上中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
二一	旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑三百糎以內
二二	旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑三百糎以內次第二發達ス
二三	旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑三百糎以內次第二衰弱ス
二四	旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑三百糎以內中心位置ハ百糎以內ノ誤差アルヘシ

二五 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以內
 二六 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以內次第二發達ス
 二七 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以內次第二衰弱ス
 二八 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
 二九 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以上
 三〇 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以上次第二發達ス
 三一 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以上次第二衰弱ス
 三二 旋風 暴風雨(又ハ暴風雪)區域ノ半徑六百糎以上中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
 三三 低氣壓 域内ハ風弱キモ通過後ハ強風起ルヘシ
 三四 低氣壓 域内ハ風弱キモ通過後ハ強風起ルヘシ
 三五 低氣壓 域内濃霧ヲ伴フ
 三六 低氣壓 進行速度速クナル
 三七 低氣壓 進行速度遅クナル
 三八 低氣壓 中心附近ノ狀況不詳中心位置モ正確ナラス
 三九 颶風
 四〇 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內
 四一 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內次第二發達ス
 四二 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內次第二衰弱ス
 四三 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內現在ノ進路ヨリ右方ニ轉向セントス
 四四 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內現在ノ進路ヨリ左方ニ轉向セントス
 四五 颶風 風雨區域ノ半徑三百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ

四六 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內
 四七 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內次第二發達ス
 四八 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內次第二衰弱ス
 四九 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內現在ノ進路ヨリ右方ニ轉向セントス
 五〇 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內現在ノ進路ヨリ左方ニ轉向セントス
 五一 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
 五二 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上
 五三 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上次第二發達ス
 五四 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上次第二衰弱ス
 五五 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上現在ノ進路ヨリ右方ニ轉向セントス
 五六 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上現在ノ進路ヨリ左方ニ轉向セントス
 五七 颶風 風雨區域ノ半徑六百糎以上中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
 五八 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內
 五九 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內次第二發達ス
 六〇 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內次第二衰弱ス
 六一 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內現在ノ進路ヨリ右方ニ轉向セントス
 六二 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內現在ノ進路ヨリ左方ニ轉向セントス
 六三 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以內中心位置ハ二百糎以內ノ誤差アルヘシ
 六四 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以上
 六五 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以上次第二發達ス
 六六 颶風 暴風雨區域ノ半徑三百糎以上次第二衰弱ス

六七	颱風	暴風雨區域ノ半徑三百浬以上現在ノ進路ヨリ右方ニ轉向セントス
六八	颱風	暴風雨區域ノ半徑三百浬以上現在ノ進路ヨリ左方ニ轉向セントス
六九	颱風	暴風雨區域ノ半徑三百浬以上中心位置ハ二百浬以内ノ誤差アルヘシ
七〇	颱風	東支那海ニ入ルヘシ
七一	颱風	次第二發達シツツ東支那海ニ入ルヘシ
七二	颱風	黄海ニ入ルヘシ
七三	颱風	次第二衰弱シツツ黄海ニ入ルヘシ
七四	颱風	日本海ニ入ルヘシ
七五	颱風	次第二衰弱シツツ日本海ニ入ルヘシ
七六	颱風	内地ニ上陸スヘシ
七七	颱風	内地ニ上陸シテ衰弱スヘシ
七八	颱風	内地ノ南方洋上ニ出ツヘシ
七九	颱風	次第二發達シツツ内地ノ南方洋上ニ出ツヘシ
八〇	颱風	内地ノ南方洋上ニ出ツヘシ
八一	颱風	内地ノ東方洋上ニ出ツヘシ
八二	颱風	進行速度速クナル
八三	颱風	進行速度遅クナル
八四	颱風	中心附近ノ狀況不詳
八五	颱風	中心附近ノ狀況不詳ナレトモ可ナリノ風雨ヲ伴フモノノ如シ
八六	颱風	中心附近ノ狀況不詳ナレトモ暴風雨ヲ伴フモノノ如シ
八七	颱風	中心附近ノ狀況不詳ナレトモ漸次發達スルモノノ如シ

八八	颱風	中心附近ノ狀況不詳ナレトモ漸次衰弱スルモノノ如シ
八九	颱風	中心附近ノ狀況不詳中心位置モ正確ナラス

第四表 不連續線主文

符號	不連續線	主文
九〇	不連續線	
九一	不連續線	東側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ南側)風力六以上
九二	不連續線	東側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ南側)風力八以上
九三	不連續線	西側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ北側)風力六以上
九四	不連續線	西側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ北側)風力八以上
九五	不連續線	兩側共風力六以上
九六	不連續線	兩側共風力六以上 東側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ南側)特ニ強シ
九七	不連續線	兩側共風力六以上 西側(東西ニ延ヒルモノニ在リテハ北側)特ニ強シ
九八	不連續線	兩側共風力八以上
九九	不連續線	雷雨又ハ早手ヲ伴フ

第五表 進行方向

符號	進行方法	符號	進行方法	符號	進行方法	符號	進行方法
〇〇	進行方法ナシ	〇二	北東	〇四	東	〇六	南東
〇一	北北東	〇三	東北東	〇五	東南東	〇七	南南東

〇八 南
〇九 南南西
一〇 南西

一一 西南西
一二 西
一三 西北西

一四 北西
一五 北北西
一六 北

一八

不詳

無線電報取扱規程

無線電報取扱規程

無線電報取扱規程

大正十四年九月二十五日
公達第七二六號

無線電報取扱規程目次

第一章	總則	三四四
第二章	受付	三五〇
第一節	艦船發著無線電報	三五〇
第二節	陸地間無線電報	三五三
第三章	料金	三五四
第四章	送受	三五五
第一節	有線電信系上傳送	三五五
第二節	無線電信上送受	三五五
第一款	通則	三五五
第二款	艦船間及艦船陸地間送受	三六四
第三款	固定局間及固定局託送發受所間送受	三七九
第四款	臨時無線電信連絡	三八〇
第五章	配達交付	三八三
第六章	通信日誌及報告	三八三
第七章	認可手續	三八七
附則		三八八

無線電報取扱規程

第一章 總則

第一條

本規定中左ノ用語ハ特ニ明文アル場合ヲ除クノ外各下記ノ意義ヲ有ス

用 語

意 義

電 信 官 署

電信局、電信電話取扱所及電信取扱所並電報ヲ取扱フ郵便局及郵便取扱所（無線局ヲ含ム）

無線電信官署

船舶局及海軍艦船其ノ他ノ船舶託送發受所

海 軍 艦 船

海軍艦船託送發受所

託送發受所

海軍及其ノ他ノ託送發受所（無線電報規程（第二條參照））

無 線 電 信

無線電信官署、託送發受所其ノ他電報送受ヲ爲ス無線電信、無線電話

傳 送

電信官署間ノ電報送受事務

送 受

電信官署間及電信官署託送發受所間ノ電報送受事務

通 信

電信又ハ無線電信機器上ノ電報送受

放 送

對手ヨリ受信證ヲ受クルコトヲ要セサル送信

有 線 電 報

無線電報及有線電報

陸 地 間 無 線 電 報

有線電信系ノミニ依リ取扱ハルル電報

無 線 電 報 料

無線局ニ依ル無線電信上ノ取扱ニ關スル料金

有 線 電 報 料

有線電信系上ノ取扱ニ關スル料金

通 信 圓

無線電信ニ依ル確實ナル通信距離内

持 續 波 長

百「キロサイクル」乃至百五十「キロサイクル」ノ周波數帶

中 波

三百六十五「キロサイクル」乃至五百五十「キロサイクル」ノ周波數帶

短 波

四千「キロサイクル」以上ノ周波數帶

通 常 通 信 電 波

呼出應答以外ノ通信ニ通常使用スル電波

左ノ告示及告知ハ常ニ受付、檢査及無線通信當務者ノ座席ニ備ヘ置キ之カ變更ノ告示又ハ告知アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

一 大正十四年九月十日告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所ノ名稱、呼出符號等

二 昭和七年九月十四日告示第千七百一號固定局間傳送ヲ要スル無線電報ニ關スル特別制限及特定料金

三 海軍無線電報取扱規程

四 海岸局配置圖及經由海岸局指定標準

第三條

電報ノ取扱ニ關シ發信人又ハ受信人ニ通知セシムル爲發信又ハ著信電信官署ニ通報ヲ要スル事項ニシテ託送發受所ニ通知スヘキモノハ便宜其ノ發信又ハ著信電信官署ヲ經由スル該發受所宛局報ヲ以テ之ヲ通報スヘシ

前項ノ局報ヲ託送發受所ニ送信スル無線電信官署ハ自局ニ於テ該局報ニ付發信又ハ著信電信官署トシテノ處理ヲ爲シタル上必要ニ應シ局報略號其ノ他ニ對シ適宜解釋ヲ附シテ其ノ送信ヲ爲スヘシ但シ船舶託送發受所自局通信圈ヲ去リタル等ノ爲其ノ送信ヲ爲シ得サル場合ハ適宜ノ方法ニ依リ該局報ノ要旨ヲ之ニ通知スヘシ

第四條

無線電報トシテ差出シ得ル氣象局報左ノ如シ

無線電報取扱規程

第一章 總則

第一條

本規定中左ノ用語ハ特ニ明文アル場合ヲ除クノ外各下記ノ意義ヲ有ス

用 語

意 義

電 信 官 署

電信局、電信電話取扱所及電信取扱所並電報ヲ取扱フ郵便局及郵便取扱所（無線局ヲ含ム）

無線電信官署

船舶局及海軍艦船其ノ他ノ船舶託送發受所

海 軍 艦 船

海軍艦船託送發受所

託送發受所

海軍及其ノ他ノ託送發受所（無線電報規程（第二條參照））

無 線 電 信

無線電信官署、託送發受所其ノ他電報送受ヲ爲ス無線電信、無線電話

傳 送

電信官署間ノ電報送受事務

送 受

電信官署間及電信官署託送發受所間ノ電報送受事務

通 信

電信又ハ無線電信機器上ノ電報送受

放 送

對手ヨリ受信證ヲ受クルコトヲ要セサル送信

有 線 電 報

無線電報及有線電報

陸 地 間 無 線 電 報

有線電信系ノミニ依リ取扱ハルル電報

無 線 電 報 料

無線局ニ依ル無線電信上ノ取扱ニ關スル料金

有 線 電 報 料

有線電信系上ノ取扱ニ關スル料金

通 信 圓

無線電信ニ依ル確實ナル通信距離内

持 續 波 長

百「キロサイクル」乃至百五十「キロサイクル」ノ周波數帶

中 波

三百六十五「キロサイクル」乃至五百五十「キロサイクル」ノ周波數帶

短 波

四千「キロサイクル」以上ノ周波數帶

通 常 通 信 電 波

呼出應答以外ノ通信ニ通常使用スル電波

左ノ告示及告知ハ常ニ受付、檢査及無線通信當務者ノ座席ニ備ヘ置キ之カ變更ノ告示又ハ告知アリタルトキハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

一 大正十四年九月十日告示第千三百五十號海岸局、船舶局、固定局及託送發受所ノ名稱、呼出符號等

二 昭和七年九月十四日告示第千七百一號固定局間傳送ヲ要スル無線電報ニ關スル特別制限及特定料金

三 海軍無線電報取扱規程

四 海岸局配置圖及經由海岸局指定標準

第三條

電報ノ取扱ニ關シ發信人又ハ受信人ニ通知セシムル爲發信又ハ著信電信官署ニ通報ヲ要スル事項ニシテ託送發受所ニ通知スヘキモノハ便宜其ノ發信又ハ著信電信官署ヲ經由スル該發受所宛局報ヲ以テ之ヲ通報スヘシ

前項ノ局報ヲ託送發受所ニ送信スル無線電信官署ハ自局ニ於テ該局報ニ付發信又ハ著信電信官署トシテノ處理ヲ爲シタル上必要ニ應シ局報略號其ノ他ニ對シ適宜解釋ヲ附シテ其ノ送信ヲ爲スヘシ但シ船舶託送發受所自局通信圈ヲ去リタル等ノ爲其ノ送信ヲ爲シ得サル場合ハ適宜ノ方法ニ依リ該局報ノ要旨ヲ之ニ通知スヘシ

第四條

無線電報トシテ差出シ得ル氣象局報左ノ如シ

		警報氣象電報	豫報氣象電報	區別	發信觀測所	受信觀測所	名宛略名	觀測時	本文數字
幌 薙 測 候 所	南 大 東 島 測 候 所	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	隨 時	隨 時
中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	隨 時	隨 時
氣 象	氣 象	何 數 字 艦 船	各 測 候	各 測 候	各 測 候	各 測 候	各 測 候	隨 時	隨 時
午 正 後 六 時 午 前 六 時	午 正 後 六 時 午 前 六 時	隨 時	隨 時	隨 時	隨 時	隨 時	隨 時	隨 時	隨 時
數 字 十 六 箇	數 字 十 六 箇	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	隨 時	隨 時
數 字 十 六 箇	數 字 十 六 箇	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	數 字 三 箇 及 段 落 一 箇 ヲ 前 置 シ 次 ヲ 數 字 四 箇 ノ 後 ニ 依 リ 列 記 シ タ ル モ ノ	隨 時	隨 時

		臨時氣象電報	定時氣象電報	區別	發信觀測所	受信觀測所	名宛略名	觀測時	本文數字
船 以 上 ノ 各 海 軍 艦	船 以 上 ノ 各 海 軍 艦	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	電 信 官 署 ノ 設 置 無 線 電 報 取 扱 規 軍 約 附 表 ニ 依 ル 海 艦 船	隨 時	隨 時
中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	中 央 氣 象 臺	隨 時	隨 時
氣 象	氣 象	神 戶 氣 象	神 戶 氣 象	神 戶 氣 象	神 戶 氣 象	神 戶 氣 象	神 戶 氣 象	隨 時	隨 時
午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	午 正 後 六 時	隨 時	隨 時
數 字 十 六 箇	數 字 十 六 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	數 字 十 三 箇 又 ハ 數 字 及 文 字 九 箇	隨 時	隨 時

(注意) 電信官署ノ設置アル船舶ニシテ中央氣象臺ト氣象局報ヲ發受シ得ルモノハ大連海岸局ヲ經由シテ關東觀測所ト、南洋廳管内海岸局ヲ經由シテ巴拉オ觀測所ト、臺灣總督府管内海岸局ヲ經由シテ臺北觀測所ト氣象局報ヲ發受スルコトヲ得

第五條 前條ノ警報氣象電報ハ左表ニ依リ東京中央電信局ニ於テ之ヲ分送スヘシ

區別	分送先	無線電信官署名
「各測候」宛	巴拉オ	
「一艦船」宛	戸畑、長崎、鹿兒島、那覇、南大東島、基隆、臺南、東京	
「二艦船」宛	戸畑、濟州、木浦、京城、鎮南浦、大連、東京	
「三艦船」宛	新潟、若狹、下津井、角島、釜山、清津、東京	
「四艦船」宛	幌筵、大泊、稚内、落石、函館、東京	
「五艦船」宛	銚子、父島、名古屋港、潮岬、大分、東京	
「六艦船」宛	巴拉オ、東京	
「七艦船」宛	若狹、潮岬、下津井、角島、大分、長崎、鹿兒島、戸畑、那覇、南大東島、濟州、釜山、木浦、京城、鎮南浦、清津、大連、基隆、臺南、東京	
「八艦船」宛	幌筵、大泊、惠須取、稚内、落石、函館、新潟、銚子、父島、名古屋港、東京	
「九艦船」宛	若狹、潮岬、下津井、角島、大分、長崎、鹿兒島、濟州、釜山、木浦、東京	
「〇艦船」宛	函館、新潟、銚子、名古屋港、東京	

(注意) 艦船宛ノモノニシテ名宛ニ數字二箇以上ヲ冠記シタルモノ例ハ「三五九艦船」宛ノモノハ本表「三艦船」、「五艦船」及「九艦船」宛ノモノトシテ當該海岸局ニ之ヲ分送スルモノトス

第六條 左ノ電信官署ヲ著信電信官署トスル無線電報ニ依リ發受所ニ無線電信無線電話ヲ下記ノ電信官署ヘ傳送スル場合ハ其ノ受信電信官署ノ著信トシテ之ヲ傳送スヘシ但シ該電報ノ著信電信官署名ハ之ヲ變更スヘカラス

著信電信官署

京城無線電信局
京城郵便局
清津無線電信局
清津郵便局

受信電信官署

京城郵便局
京城無線電信局
清津郵便局
清津無線電信局

第七條 普通三等局、郵便取扱所又ハ電信電話取扱所ニ於テ電報取扱時間外ニ取扱ヒタル無線電報原書局報ヲハ其ノ餘白ニ「時間外」ト朱書スヘシ但シ一、二等局又ハ特定三等局ノ局員ヲ派遣シ事務ヲ取扱フ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條ノ二 本規程中艦船發著無線電報又ハ船舶遭難通信若ハ船舶航行上ノ危險警戒其ノ他海上生命財產ノ保全ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ニ關スル規定ハ航空機發著無線電報又ハ航空機遭難通信若ハ航空上ノ危險警戒其ノ他空中ニ於ル生命財產保全ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ニ付之ヲ準用ス

本規定中船舶局ニ關スル規程ハ航空機局ニ付、海岸局ニ關スル規定ハ航空局ニ付、船舶託送發受所ニ關スル規程ハ航空機託送發受所ニ付之ヲ準用ス但シ使用電波ノ型式及周波數ニ付テハ別表第一號ノ區別ニ依ルヘシ

第七條ノ三 公安ヲ妨害シ又ハ風俗ヲ壞亂スルノ疑アル無線電報ニ關シテハ左ノ各號ニ依ルヘシ

一 船舶局ニ於テ發見シタルトキハ「送達上經伺ヲ要スト認ムルニ付特ニ倒送ス」ノ局内心得ヲ添付ノ當該電報ノ本文ハ末尾ノ文字ヨリ逆ニ送信スヘシ但シ自局著信又ハ船舶局相互間ニ直接發著スヘキ電報ニ係

ルトキハ當該局所長ニ於テ送達ノ可否ヲ審査決定シ相當取扱ヲ了シタル後事由ヲ具シ書面ヲ以テ所轄遞信局長ニ報告スヘシ

二 前號以外ノ電信官署ニテ發見シタルトキハ電報取扱規程第十三章ノ例ニ依リ處理スヘシ但シ無線電信上送受ヲ要スル當該電報ノ本文ハ前號ノ例ニ依リ末尾ノ文字ヨリ逆ニ之ヲ記載スヘシ

海岸局ニ於テ前項第一號ノ電報ヲ受信シタルトキハ其ノ本文ヲ翻譯シタル後前項第二號ニ依リ處理スヘシ遞信局ニ於テ前項第二號但書ノ電報ヲ受取リタルトキ亦同シ

(參看) 局内心得 (ムム)

第八條 本規程ニ明文ナキ事項ハ内國電報ニ關スル規定ニ依ル

第九條 本規程及内國電報ニ關スル規定ニ明文ナキ事項ハ本規程ノ精神ニ依リ之ヲ處理スヘシ

第一章 受 付

第一節 艦船發著無線電報

第十條 發信人ノ記載スヘキ艦船著無線電報ノ經由海岸局名ハ該無線電報ヲ艦船ニ送信スヘキ海岸局名ノミヲ以テ足ルモノトス

第十一條 前條ノ經由海岸局名ニ付テハ艦船ノ位置及其ノ進行方向、經由海岸局迄ノ電報傳送經過時分、別ニ告示スル海岸局配置圖及海岸局指定標準等ヲ參酌シ其ノ記載方ノ適否ヲ調査シ不適當ト認メタルトキハ特ニ發信人カ其ノ儘受付クルコトヲ望ム場合ヲ除クノ外之ヲ訂正セシムヘシ

第十一條ノ二 短波發信機ヲ裝置スル艦船著無線電報ニシテ該艦船カ經由海岸局指定標準甲ニ依リ指定スヘキ海岸局ノ通信圈ニ在ラサルモノト認メラルトキハ發信人ニ對シ通信狀況ノ如何ニ依リ傳送シ得サル場合アルヤモ計リ難キ旨相當注意ノ上左ノ局内心得ヲ添付シ經由海岸局指定標準乙ヲ參酌シ短波發信機ヲ裝置スル海岸局以下短波海岸局ト稱ス經由トシテ之ヲ受付クヘシ經由海岸局指定標準甲ニ依ル海岸局ノ通信圈ニ在ラサル艦船發無線電報ニシテ短波海岸局經由ノモノヲ提示シ其ノ返信トシテ差出サムトスル者アルトキ亦同シ

「短波ニ依リ送信方請求アリタル無線電報」

(參看) 局内心得 (タカ)

第十二條 經由海岸局名ハ電報賴信紙ノ著信電信官署名又ハ託送發受所名ノ上ニ之ヲ附記シ名宛中ニ記載シアル海岸局名ハ斜線ヲ以テ之ヲ抹消シ置クヘシ

第十三條 艦船託送發受所著無線電報ハ當該託送發受所ノ施設者又ハ之ヲ代表スル者ニ宛ツルモノニ限り之カ受付ヲ爲スヘシ但シ海軍艦船託送發受所著無線電報ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ海軍用ニ非サルモノト雖海軍官憲ノ承認ヲ經タル無線電報トシテ之ヲ受付クヘシ

一 電報賴信紙ニ海軍省又ハ鎮守府ノ名ヲ以テ海軍用無線電信ニ依リ發受方承認ノ旨ヲ表示シアル無線電報

二 海軍艦船ヨリ發シタル無線電報ヲ提示シテ其ノ返信トシテ差出ス海軍用ニ非サル無線電報

前項但書ノ無線電報ニハ「海軍官憲ノ承認ヲ經タル無線電報」ト局内心得ヲ添付シ其ノ件名表摘要欄ニハ「タイ」ト朱書スヘシ

第十四條 艦船發著無線電報ノ海岸局ニ於ケル保管期間ノ指定ハ左ノ例ニ依リ之ヲ記載セシムヘシ

例 和 文 一五ハ 保管期間カ十五日ナル場合

歐 文 一五ハ

Idays (課金語數一語)

第十五條 船舶内ニ公示ノ目的ヲ以テ發スル新聞無線電報又ハ放送無線電報ノ受付ヲ爲ス電信官署ハ豫メ該電報ノ差出方ニ付取扱上必要ト認ムル事項ヲ發信人ニ指示シ其ノ受付上支障ナキヲ期スヘシ

第十六條 艦船著放送無線電報ヲ受付ケタルトキハ「何時分ニ放送スヘキ無線電報」ト局内心得ヲ添付スヘシ (參看) 局内心得 (タヨ)

第十七條 陸上電信官署ニ於テ無線電報規則第十二條ニ依リ保管期間ノ指定アル艦船著無線電報放送無線電報ヲ受付ケタルトキハ受付月日、發信番號、經由海岸局名、著信艦船名、受信人名、發信人居所氏名及保管期間滿了月日ヲ電信日誌ニ記入スヘシ無線電報規則第十三條ニ依リ保管期間延長ノ請求ヲ受ケタルトキ

又ハ第九十七條ノ第三項ノ通報ヲ受ケタルトキ亦同シ

第十八條 放送無線電報ノ發信電信官署ニ於テハ放送無線電報發信原簿ヲ備ヘ料金計算及受付上必要ナル事項ヲ記入スヘシ

第十九條 放送無線電報ノ發信電信官署ニ於テ發信人ヨリ無線電報規則第二十七條第九號ノ事項ノ變更届ヲ受理シタルトキハ放送無線電報發信原簿ヲ相當訂正シタル上其ノ旨ヲ附記シテ直ニ之ヲ所轄遞信局ニ送付スヘシ

第二十條 陸上電信官署ニ於テ艦船發著無線電報ニ關シ尋問又ハ返信ヲ要スル改正若ハ停止ノ請求ヲ受ケタルトキハ原信經由ノ海岸局ニ對シ其ノ手續ヲ爲スヘシ

第二十一條 改正又ハ停止等ノ請求アリタルトキ艦船發著課金局報ヲ發送スル場合ハ豫メ請求者ニ對シ海岸局ニ於テ該課金局報轉送ノ爲其ノ料金ニ不足ヲ生スルトキハ追テ不足料金ヲ請求者ヨリ徵收スルコトアルヘキ旨ヲ注意シ置クヘシ

第二十二條 發信電信官署ニ於テ第九十七條乃至第九十八條、第三百三條、第三百八條又ハ第二百二十一條ノ通報ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨書面ヲ以テ發信人又ハ請求者ニ通知スヘシ第九十八條ノ通報ニ基ク通知ニ對シ發信人ヨリ一般ノ例ニ依リ保管ヲ望ム旨申出アルトキハ直ニ局報ヲ以テ其ノ旨海岸局ニ通報スヘシ

第二十三條 陸上電信官署ニ於テ無線電報規則第十三條ニ依ル請求ヲ爲ス者アルトキハ發信原書又ハ電信日誌ニ對照ノ上其ノ旨課金局報ヲ以テ海岸局ニ通報スヘシ

第二十四條 海軍艦船ヨリ發スル氣象局報ニシテ東京、高雄、橫須賀、吳、佐世保、舞鶴、父島、稚内又ハ大湊海軍通信隊ヨリ差出シタルモノニハ發信艦船名ヲ下ニ受付電信官署名ヲ附記スヘシ

第二十五條 船舶局受付無線電報ノ發信人ニ於テ特ニ送信先海岸局ヲ指定スルトキハ通信上支障ナシト認ムル場合ニ限リ之ニ應スヘシ

第二十六條 船舶局ニ於テ無線電報ノ受付ヲ爲ストキハ賴信紙ノ端末ニ發信人居所 船室番號及陸上ニ於ル居所 氏名ヲ明記セシムヘシ但シ特ニ取扱上支障ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十七條 船舶局ニ於テ船舶局中繼無線電報又ハ海岸局經由艦船發著無線電報ヲ差出ス者アルトキハ一應實際通信上ニ於ル其ノ中繼又ハ經由ノ要否ヲ確メタル上之カ受付ヲ爲スヘシ

第二十八條 船舶局ニ於テ陸上電信官署ノ電報時間外ニ著スヘシト認メラル無線電報ノ受付ニ際シ發信人カ翌朝ノ配達ヲ望ム場合ハ「發信人ノ請求アルニ付取扱時間外ニ著シタル場合ハ取扱時間開始ヲ待テ配達アレ」ト局内心得ヲ添付スヘシ

第二十九條 船舶局ニ於テハ自局受付ノ無線電報ノ送信ヲ完了スル迄其ノ貼附切手ヲ消印スヘカラス但シ第二項但書又ハ第三項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第三十條 船舶局ニ於テハ自局受付ノ無線電報ヲ送信シ得サルトキハ該電報ハ之ヲ受付未了ノモノト看做シ別ニ返還料ヲ徵收セス其ノ儘發信人ニ返還スヘシ但シ發信人上陸等ノ爲返還シ得サルトキハ受付完了ノモノトシテ處理シ且其ノ事由ヲ原書ノ餘白ニ記載シ置クヘシ

第三十一條 船舶局ニ於テ自局受付ノ無線電報ヲ送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サルトキハ其ノ旨發信人ニ通知シ該電報ハ受付完了ノモノトシテ之ヲ處理スヘシ

第三十二條 陸地間無線電報 第一節 陸地間無線電報 固定局間傳送ヲ要スル無線電報ノ受付ハ其ノ取扱制限ニ關シ特ニ告示アルモノヲ除クノ外有線電報ノ例ニ依ルヘシ

第三十三條 第三十二條ノ規定ハ陸地間無線電報ノ受付ニ關シ之ヲ準用ス

第三十三條 第十三條ノ規定ハ陸上託送發受所著無線電報ノ受付ニ關シ之ヲ準用ス

前節中海軍官憲ノ承認ヲ經タル無線電報ノ受付ニ關スル規定ハ海軍無線電報取扱規約ノ定ムル所ニ依リ陸上ノ無線電信官署海軍託送發受所ニ於テ送受ヲ要スル無線電報ノ受付ニ關シ之ヲ準用ス
第三十四條 第十五條、第十六條、第十八條及第十九條ノ規定ハ陸上ニ在ル受信人宛放送無線電報ノ受付ニ關シ之ヲ準用ス

第三章 料金

◇ 無線電報ノ陸線料徴收方ノ件通牒(昭和五、二、一七) 電業第三二九四號

右ニ關シテハ從來屢次通牒ノ次第モ候處各局ノ取扱尙區々ニ涉ル哉ニ認メラルルニ付テハ爾今左記ニ依リ課金上行違ナキ様留意相成度

- 一 海岸局カ著信局ト同一構内ニ在リ兩局間電報送受カ線上傳送ニ依ラサル場合ト雖無線電報規則第四十三條ノ規定ニ依リ有線電報料ヲ課スルコト
 - 二 海岸局カ艦船ヨリ受信シタル無線電報ヲ自局ニ於テ配達又ハ交付スル場合ハ有線電報料ヲ課セサルコト但シ海岸局カ郵便局又ハ電信局ノ分室ニシテ其ノ本局トノ間ニ線上傳送ヲ要スル場合ハ此ノ限リニ在ラサルコト
- 船舶局ニ於テ無線電信ニ依リ受信シ更ニ送信スヘキ無線電報ハ其ノ送受對手カ電信官署タルト託送發受所タルトヲ問ハス該船舶局ノ中繼ヲ要スル無線電報トシテ之ニ課金スヘキモノトス
- 無線電報ノ照校料ハ無線電報料及有線電報料ニ付各別ニ之ヲ算出スヘシ
- 固定局間傳送ヲ要スル無線電報ニ對シテハ固定局間傳送ニ對シ特定料金ヲ課スヘキ旨ヲ告示シタルモノヲ除クノ外有線電報料ノミヲ課スヘシ
- 託送發受所ノ施設者ヨリ徴收スヘキ無線電報ノ料金ハ電務局ニ於テ取纏メ所轄遞信局ヲシテ之ヲ徴收セシム但シ海軍用無線電報ノ料金ハ東京都市遞信局ヲシテ海軍省經理局ヨリ之ヲ徴收セシム
- 無線電報規則第五十一條ニ依リ料金還付ハ總テ電務局長ノ通報ニ依リ其ノ請求ヲ受ケタル電信官署ニ於テ之ヲ行フヘシ但シ必要アルトキハ所轄遞信局ヲシテ其ノ通報ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第三條、第四條又ハ第二十四條ニ依リ事務局報又ハ氣象電報ヲ託送發受所又ハ海軍通信隊ト送受スル場合ハ其ノ送受ニ關シ無線電報料又ハ有線電信系上ノ託送料ヲ課セス

第四章 送 受

第一節 有線電信系上傳送

第四十一條 放送無線電報ハ其ノ局内心得ニ記載セル該電報ノ放送時刻迄ニ遲滞ナク放送電信官署ヘ傳送スヘシ

第四十二條 無線電報又ハ緊急ノ性質ヲ有スル有線電報ノ有線電信系上傳送ニ當リ障礙又ハ輻悖ノ爲遲延スヘキ虞アル場合ハ臨機關係電信官署間打合ノ上適宜ノ區間無線電信ニ依リ之ヲ傳送スヘシ

前項ノ電報ニハ「何々間無線電信ニ依リ傳送ス」ト局内心得ヲ添付スヘシ

(參看) 局内心得 (タソ)

第四十三條 (割 除)

第二節 無線電信上送受

第一款 通 則

第四十四條 無線電信ニ依ル通信ハ通信ヲ爲シ得ル最少限度ノ電力ヲ使用シ所定ノ電波ノ型式及周波數ニ依リ通信上ノ用語ヲ務メテ簡潔ニシテ之ヲ行フヘシ

第四十五條 無線電信上ノ通信ニ用ユル特殊ノ略符號左ノ如シ

無	有	可	可	自局名前置
信	信	待	送	DE
QRU	QTC	AS	K	---
---	---	---	---	---

挨 撈 (謝 意)	(午 後)	(午 前)	非 常 通 信	順 序 通 信	入 港	入 (出) 圈 通 知	調 整	實 驗	安 全	緊 急	警 急	遭 難
TKS	GE	GM	OSO	QRY	QTP	TR	V	EX	TTT	XXX		SOS
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

十二長點ヨリ成リ各長點ノ長サハ四秒時、兩長點ノ間隔ハ一秒時トス

放	探	後 刻 呼	通 信 終	解 信	受 否	電 波 聽 取	電 波 變 更	電 波 指 示	送 信 終 了	發 信 繼 續	反 復	B 電 波	A 二 電 波	A 一 電 波
BC	CQ	CUL		R	HW	QX	QSW	QSU	NM	AHR	RPT	B	A ²	A ¹
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

第四十六條

國際電氣通信條約附屬無線通信規則ニ定ムル通信上ノ略符號ハ努メテ之ヲ活用スヘシ

第四十七條

呼出ハ先受信機ヲ五百「キロサイクル」及必要ト認ムル他ノ電波ノ型式及周波數ニ調整シテ自局ノ通信カ他ノ通信ヲ妨ケサルコトヲ確メタル上左ノ事項ヲ順次送信シテ之ヲ爲スヘシ

- 一 對手呼出符號
- 二 自局名前置符號
- 三 自局呼出符號

- 一回以下
- 一回
- 一回以下

第四十八條

前條ノ呼出ヲ爲スモ對手ノ應答ナキトキハ二分間以上ノ間隔ヲ以テ更ニ二回其ノ呼出ヲ試ムコトヲ得

第四十九條

前項ニ依ルモ尙應答ヲ得サル場合ハ十五分間以上ヲ經過シタル後ニアラサレハ呼出ヲ爲スヘカラス

- 一 對手呼出符號
- 二 自局名前置符號
- 三 自局呼出符號
- 四 可送符號

- 一回以下
- 一回
- 一回
- 一回

- 一 應答ニ對シ對手ヨリ直ニ通信事項ヲ受信シ得サル特殊ノ事由アルトキハ可送符號ニ代フルニ可待符號及概定可待時間
- 二 呼出又ハ應答ニ當リ必要アリト認ムルトキハ有信符號ヲ自局呼出符號ノ次ニ送信シテ對手ニ送信スヘキ電報アルコトヲ知ラシムヘシ

- 一 呼出又ハ應答ニ當リ必要アリト認ムルトキハ無信符號ヲ自局呼出符號ノ次ニ送信シテ對手ニ送信スヘキ電報ナキコトヲ知ラシムヘシ

第五十條

呼出又ハ應答ニ當リ必要アリト認ムルトキハ無信符號ヲ自局呼出符號ノ次ニ送信シテ對手ニ送信スヘキ電報ナキコトヲ知ラシムヘシ

第五十一條

呼出又ハ應答ニ當リ必要アリト認ムルトキハ無信符號ヲ自局呼出符號ノ次ニ送信シテ對手ニ送信スヘキ電報ナキコトヲ知ラシムヘシ

第五十二條

呼出ニ對シ應答ヲ得タルトキハ對手カ可待符號ヲ送信シタルヲ除クノ外直ニ通信事項電報ヲ含ムヲ送信スヘシ

第五十三條

前條ニ依リ又ハ送受對手間交互ニ通信事項ヲ送信スルトキハ其ノ前ニ第四十九條第一號乃至第三號ノ事項ヲ、其ノ後ニ同條第三號及第四號ノ事項ヲ送信スヘシ但シ對手呼出符號ノ送信ハ一回ニ止ムルコトヲ原則トス

第五十四條

送信スヘキ通信事項簡單ナル場合ニ於テハ前項ニ依リ通信事項ノ後ニ送信スヘキ事項ハ可送符號ヲ除クノ外之ヲ省略スルコトヲ得

第五十五條

一 對手ニ送信スヘキ電報一日約十通以上ニ達スル場合ハ對手別ニ一日毎ニ更新スル通過番號ヲ使用スヘシ

第五十六條

通信中ニ於テ混信防遏其ノ他ノ必要ニ依リ周波數又ハ電波ノ型式ノ變更ヲ要求セムトスルトキハ左ノ各號ノ事項ヲ送信シテ之ヲ爲スヘシ

第五十七條

電波指示符號

第五十八條

使用セシメムトスル周波數又ハ電波ノ型式

第五十九條

前條ノ要求ニ應セムトスルトキハ解信符號通信狀態ニ鑑ミ必要ト認ムルトキハ電波變更符號及當該周波數又ハ電波ノ型式ヲ添送スヘシヲ送信シ直ニ周波數ノ型式ヲ變更スヘシ

第六十條

前二條ノ場合ニ於テ通信時刻ヲ特定セムトスルトキハ當該電波ノ型式又ハ周波數ノ次ニ其ノ時刻ヲ送信スヘシ

第六十一條

對手ニ對シ其ノ通信事項ノ反復ヲ求メムトスルトキハ反復符號ヲ冠シ反復ヲ要スル箇所ヲ通知スヘシ

第六十二條

一旦送信シタル通信事項ヲ反復シテ送信スルトキハ一字若ハ一語毎ニ反復スル場合又ハ略符號ヲ反復スル場合ヲ除クノ外該通信事項電報ニ對シテハ各通ニ反復符號ヲ冠スヘシ

第六十三條

電報ヲ連續送信スルトキハ第二通以下各通ニ送信繼續符號ヲ冠スヘシ

第六十條 送信中一旦中止スルニ當リ對手ニ引續キ送信スヘキ他ノ電報アルトキハ送信シタル電報ノ終ニ送信
繼續符號ヲ送信シテ其ノ旨ヲ知ラシムヘシ

第六十一條 送信ヲ終了スルニ當リ對手ニ他ニ送信スヘキ電報ナキトキハ送信シタル電報ノ終ニ送信終了符號ヲ
送信シテ其ノ旨ヲ知ラシムヘシ

第六十二條 送信シタル電報其ノ他ノ通信事項ヲ對手カ受信シタルコトヲ確メムトスルトキハ受否符號ヲ用ウヘ
シ

第六十三條 受信シタル電報ノ受信證ヲ送信スルトキハ解信符號ヲ冠シ受信シタル電報ノ番號 通過番號ヲ使用スルト
電報ノ通 過番號 又ハ通數(例何ツ)ヲ通知スヘシキハ受信シタル最後ノ
電報以外ノ通信事項ヲ了解シタル場合亦前項ニ準ス

第六十四條 送受對手間ノ通信終了シタルトキハ相互ニ通信終了符號及自局呼出符號ヲ交換スヘシ此ノ場合ニ於
テハ第五十三條ノ通信事項中通信事項ノ後ニ送信スヘキ事項ハ之ヲ省略スヘシ

第六十五條 通信ノ終了ニ當リ後刻再ヒ通信ノ必要アリト認ムルトキハ後刻呼出符號ヲ交換スルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ次ノ通報開始時刻ヲ特定セムトスルトキハ後刻呼出符號及其ノ時刻ヲ送信スヘシ

第六十六條 通信ノ開始又ハ終了ニ當リ挨拶符號ヲ交換スルコトヲ得
自局通信圈ニ在ル未知ノ無線電報ヲ呼出サムトスルトキハ左ノ事項ヲ順次送信シテ之ヲ爲スヘシ之
ニ對スル應答ハ第四十九條ノ例ニ依ルヘシ

第六十七條 探呼符號
一 探呼符號 三回以下
二 自局名前置符號 一回
三 自局呼出符號 三回以下
四 可送符號 一回

第六十八條 自局通信圈ニ在ル各無線電報ニ對シ無線電報規則第五條ニ依ル無線電報 以下船舶遭難
通信ト稱スヲ發信スルトキ
ハAニ又ハB電波五百「キロサイクル」ノ周波數ヲ以テ左ノ事項ヲ順次送信シ之ニ引續キ該通信ヲ送
信スヘシ

第六十九條 一 遭難符號 三回
二 自局前置符號 一回
三 自局呼出符號 三回

第七十條 前項ノ船舶遭難通信ニハ特ニ必要ナシト認メタル場合ヲ除クノ外緊急符號ヲ前置スヘシ此ノ場合ニ
於テハ事情ノ許ス限リ該符號ト遭難符號トノ間ニ二分間ノ間隔ヲ置クコトヲ要ス

第七十一條 遭難符號又ハ緊急符號ヲ受信シタルトキハ直ニ他ノ一切ノ通信ヲ中止シテ該船舶遭難通信ヲ受信シ
特ニ規定アル場合ヲ除クノ外應答、傍受又ハ受信ノ抑制其ノ他ノ船舶遭難通信ノ爲最善ノ措置ヲ爲
スヘシ

第七十二條 前項ニ依リ應答スルトキハ左ノ事項ヲ順次送信シテ之ヲ爲スヘシ
一 對手呼出符號 三回
二 自局名前置符號 一回
三 自局呼出符號 三回
四 解信符號 三回
五 遭難符號 一回

第七十三條 船舶遭難通信ヲ受信シ又ハ遭難ノ事實ヲ認識シタルトキハ必要ニ應ジ遭難船舶ノ名稱、位置、狀況
其ノ他救助ニ必要ナル事項ヲ船長 船舶局ニ 救助上最便宜ノ位置ニ在ル他ノ無線電信、鎮守府、要港部、
地方廳、帝國水難救濟會ノ救難所等ニ通報スヘシ其ノ通報ニシテ有線電信系上ノ傳送ヲ要スルモノ
ハ至急官報ニ依ルヘシ

第七十條ノ二 前項ノ措置狀況ハ直ニ局報ヲ以テ所轄遞信局長及電務局長ニ之ヲ報告スヘシ

船舶遭難通信ヲ宰領シタル無線電信官署ニ於テ該船舶遭難通信カ終了シ他ノ無線電信ヲシテ一般通信ヲ開始セシメ支障ナシト認メタルトキハ關係無線電信ニ對シ該船舶遭難通信ニ使用シタル電波ノ型式及周波數ヲ以テ左ノ事項ヲ順次送信シテ其ノ旨ヲ知ラシムヘシ

一 探呼符號

三回

二 自局名前置符號

一回

三 自局呼出符號

一回

四 遭難符號

一回

船舶遭難通信終了時刻、遭難シタル船舶

ノ名稱及呼出符號並船舶遭難通信終了

一回

又ハ「Traffic distress terminé」ノ旨

一回

六 通信終了符號

一回

第七十一條

船舶遭難通信ニシテ無線電信ノミニ依リ送受スルモノニ付テハ必要ニ應シ額表省略其ノ他便宜ノ形式ニ依ルコトヲ得

第七十一條ノ二

船舶局ニ於テ海上ニ於ル生命財產保全ニ必要ナル事項ヲ通報スル無線電報ニシテ特ニ緊急ノ性質ヲ有スルモノト認ムルモノヲ他ノ無線電信ニ送信セムトスルトキハ對手ノ呼出符號ノ前ニ緊急符號ヲ三回送信シテ呼出ヲ爲スヘシ

緊急符號ヲ受信シタルトキハ該通信ニ混信ヲ生セシムル虞アル發信ヲ爲スヘカラス

船舶局ニ於テ緊急符號ヲ受信シタルトキハ少クとも三分間繼續聽守スヘシ

第七十二條

船舶航行上ノ危險警戒ニ必要ナル事項ノ通報ヲ受ケ又ハ其ノ危險警戒ニ必要ナル事實ヲ認識シタルトキハ通報ノ出所及日時ヲ明カニシテ自局通信圈内ニ在ル船舶ニ之ヲ放送スヘシ

前項ノ放送ハA二又ハB電波五百「キロサイクル」ノ周波數ヲ以テ該通報ヲ入手シタル即刻沈黙時間中其ノ終末ニ左ノ事項ヲ順次送信シタル上通報ノ種類(例、暴風雨等)ヲ冠シ該通報ヲ二回送信シ且次ノ沈黙時間ノ終末ニ於テ更ニ二回送信シテ之ヲ行フヘシ

一 安全符號

三回

二 自局名前置符號

一回

三 自局呼出符號

一回

第七十三條

船舶局ニ於テ安全符號ヲ受信シタルトキハ直ニ總テノ通信ヲ中止シテ該通報ヲ受信シ必要ニ應シ其ノ要領ヲ船長ニ通知スヘシ

第七十四條

第六十八條乃至第七十二條ノ發信ニ付テハ使用電力並電波ノ型式及周波數(波長)ニ關スル制限ヲ超ユルコトヲ得

第七十四條ノ二

船舶遭難通信又ハ航行上ノ危險警戒其ノ他海上ニ於ケル生命財產保全ニ關スル通信ヲ爲ス場合送信速度ハ第六十七條ノ例ニ依ルヘシ

第七十五條

周波數測定又ハ機器調整ノ爲發信ヲ必要トスルトキハ先ツ受信機ヲ五百「キロサイクル」及必要ト認ムル他ノ周波數ニ調整シ他ノ通信ヲ妨ケサルコトヲ確メタル後左ノ符號ヲ順次送信シタル上一分間聽守ヲ行ヒ他ノ無線電信ヨリ停止ノ要求ナキ場合ニ限り調整符號ノ發信ヲ開始シ其ノ終ニ終信符號及自局呼出符號ヲ送信スヘシ此ノ場合ニ於テ調整符號ノ發信ハ三分間ヲ超ユヘカラス

一 實驗符號

三回

二 自局名前置符號

一回

三 自局呼出符號

一回

第七十六條

本節ノ規定ハ通信ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數ヲ除クノ外無線電話ニ依ル通信ニ之ヲ準用ス但シ左ノ略符號ハ各左記ノ語辭ニ代フヘシ

一 遭難 「メーデー」又ハ「遭難」

- 二 緊 急 「パン」又ハ「緊急」
- 三 安 全 「セキユリテ」又ハ「警報」
- 四 自局名前前置 「コチラハ」

無線電話ニ依ル通信ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數ハ別表第二號ノ區別ニ依ルヘシ

第二款 艦船間及艦船陸地間送受

第七十七條

艦船ニ於テ通信ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數ハ特ニ指定シタル場合又ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外別表第二號ノ區別ニ依ルヘシ

第七十八條

海岸局ニ於テ通信ニ使用スヘキ電波ノ型式及周波數ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外別表第三號ニ依ルヘシ

第七十九條

五百「キロサイクル」ノ周波數ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外呼出應答ニ限り之ヲ使用スヘシ但シ他ノ通信ニ混信ヲ生セス且當該通信(入出)ノ通知等極メテカ數分以内ニ完了スルコトヲ確認スル場合ニ限り之ヲ使用スルコトヲ妨ケス

第七十九條ノ二

艦船間及艦船海岸局間ニ於ケル通信事項ノ傳送ニハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外船舶局ニ在リテハ別表第二號ニ、海岸局ニ在リテハ別表第三號ニ定ムル區別ニ從ヒ其ノ呼出ニ使用セラレタル周波數帯ノ通常通信電波ヲ使用スヘシ
混信防遏其ノ他設備上已ムヲ得サル事由ニ依リ前項ノ通常通信電波以外ノ電波ヲ使用セムトスルトキハ呼出又ハ應答ニ當リ第四十七條第一號乃至第三號ノ事項又ハ第四十九條第一號乃至第三號ノ事項ニ引續キ左ノ事項ヲ順次送信スヘシ

一 電波變更符號

通信事項ノ傳送ニ使用セムトスル周波數ノ型式

第七十九條ノ三

前條第二項ノ呼出又ハ應答ニ對シテハ第四十九條第一號乃至第三號ノ事項ニ引續キ左ノ事項ヲ順次送信スヘシ

一 電波聽取符號

對手ノ使用セムトスル周波數ノ型式

二 可送符號

前項ノ場合ニ於テ對手ノ使用セムトスル周波數ノ型式

一號ノ符號ニ代フルニ電波指示符號ヲ、第二號ノ周波數ノ型式ニ代フルニ他ノ受信シ得ヘキ周波數ノ型式ヲ送信シ對手ノ同意ヲ得タル後可送符號ヲ送信スヘシ

二 電波指示符號

對手ノ使用セムトスル周波數ノ型式

三 可送符號

前項ノ場合ニ於テ對手ノ使用セムトスル周波數ノ型式ニ依ル通信事項ヲ受信シ得サルトキハ前項第二號ノ周波數ノ型式ニ代フルニ他ノ受信シ得ヘキ周波數ノ型式ヲ送信シ對手ノ同意ヲ得タル後可送符號ヲ送信スヘシ

第八十條

固定局業務ヲ兼ヌル海岸局ニ於テ一時間以上ニ亘ルヘキ固定局業務通信ヲ開始セムトスルトキハ之ニ先チ五百「キロサイクル」ノ周波數ヲ以テ固定業務ニ從事セムトスル概定時間、對手名及對艦船通信ヲ一時中止シタルトキハ該局通信圈ニ在ル各艦船及附近海岸局ニ知ラシムヘシ

第八十一條

海岸局ニ於テ艦船通信ヲ中止シタルトキハ該通信圈ニ在ル船舶局ハ必要ニ應シ他ノ附近適宜ノ海岸局ニ傳送スヘシ

第八十二條

海岸局又ハ船舶局ニ於テ自局通信圈ニ在ル通信執務時間不定ノ艦船ト交信ノ要アルトキハ午前九時及午後五時ヨリ各三十分間ニ於テ呼出ヲ試ムヘシ

第八十三條

船舶局ハ其ノ補助設備及緊急自働受信機ノ運用ニ關シ左ノ各號ノ事項ヲ遵守スヘシ
一 補助設備ニ付テハ當該船舶航行中毎日一回其ノ全能力ヲ以テ使用シ得ル状態ニ在ルコトヲ確ムルコト

- 二 緊急自働受信機ニ依リ聽守ヲ行フモノニ在リテハ當該船舶航行中毎日一回其ノ機能ヲ試驗スルコト
 - 三 緊急自働受信機ニ依リ聽守ヲ爲サムトスルトキハ之ヲ空中線ニ接續シテ其ノ機能ヲ試驗シ可働状態ニ在ルコトヲ確ムルコト
 - 四 前各號ノ事項ニ付テハ其ノ都度之ヲ船長又ハ船橋ニ於ケル當直職員ニ通知スルコト
- 第八十四條 (削除)
- 第八十五條 左ノ海岸局ハ各下記ノ時間A一電波百四十三「キロサイクル」ノ周波數ニ依ル艦船ヨリノ呼出ニ對シ聽守スルモノトス

幌 蕨 局	中央標準時ニ依ル	每奇數時三十分ヨリ五分間
落 石 館 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
函 子 館 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
銚 子 館 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
若 狹 岬 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
潮 岬 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
下 津 井 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
角 島 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
大 分 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
長 崎 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
鹿 兒 島 局	同	每奇數時三十分ヨリ五分間
那 霸 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
木 浦 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
鎮 南 浦 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間
清 津 局	同	每偶數時三十分ヨリ五分間

- 京 城 局 每奇數時三十分ヨリ五分間
 - 釜 山 局 每奇數時三十分ヨリ五分間
 - 基 隆 局 每偶數時三十分ヨリ五分間
 - 臺 南 局 每奇數時三十分ヨリ五分間
 - 大 連 局 每奇數時三十分ヨリ五分間
 - 大 泊 局 每奇數時三十分ヨリ五分間
 - 惠 須 取 局 每偶數時三十分ヨリ五分間
- 第八十五條ノ二 持續長波發信機ヲ裝置スル船舶局ハ其ノ電報取扱時間中「グリニツヂ」標準時ニ依ル毎時ノ三十五分ヨリ五分間A一電波百四十三「キロサイクル」ノ周波數ニ依ル海岸局又ハ艦船ヨリノ呼出ニ對シ聽守スヘシ但シ他ノ周波數ニ依ル通信中ナルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第八十六條 持續長波ニ依ル呼出時刻ハ別ニ規定アル場合ヲ除クノ外對手間ニ於テ豫メ打合ヲ爲スヘシ短波ニ依ル呼出時刻ニ付亦同シ
- 第八十六條ノ二 持續長波又ハ短波發信機ヲ裝置スル海岸局又ハ船舶局ニ於テ遠距離通信ヲ爲サムトスルトキ又ハ中波ニ依ル通信輻輳スル場合通信ヲ爲サムトスルトキハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外務メテ持續長波又ハ短波ヲ使用スヘシ
- 第八十七條 船舶局海岸局ノ通信圈ニ入りタルトキハ傳送スヘキ電報ノ有無ニ拘ラス海岸局ヲ呼出シタル上入

- 一 出港地名 必要ト認ムルトキハ出港時刻ヲ添送スヘシ
- 二 次ノ入港地名
- 三 入港又ハ出港豫定日時 當日ナルトキハ日附ヲ要セス
- 四 位置 附近地名又ハ經緯度ヲ以テ簡明ニ表示スヘシ

第八十七條ノ二

船舶局當該船舶入港セムトスルトキハ海岸局ヲ呼出シタル上入(出)圏通知符號ヲ冠シ左ノ事項ヲ順次送信スヘシ但シ東京横濱間、大阪神戸間其ノ他之ニ準スル近接二港間ヲ航行スル船舶ニシテ前條ノ入圏通知ニ照シ其ノ要ナシト認ムル場合ハ此ノ限ニ在ラス

一 入港符號

入港地名 不定期船等ニシテ電報ノ轉送ヲ受クル爲其ノ他必

要アリト認ムル場合ハ出港豫定日時ヲ添送スヘシ

船舶局海岸局ノ通信圏ヲ去ラムトスルトキハ前條ノ入圏通知ニ照シ其ノ要ナシト認ムル場合ヲ除ク

ノ外前項ノ例ニ依リ「アト何 次ノ通信相手海 岸局呼出符號」ト送信スヘシ

第八十八條

海岸局及船舶局ハ特ニ指定シタル場合又ハ已ムコトヲ得サル場合ヲ除クノ外無休ノ聽守ヲ持續スヘシ

第八十八條ノ二

船舶局又ハ海岸局ハ特ニ規定アル場合ヲ除クノ外「グリニツチ」標準時ニ依ル毎時ノ十五分及四十五分ヨリ三分間以下沈黙時 B 電波ニ依ル一切ノ發信及其ノ他ノ電波ニ依ル四百六十「キロサイクル」乃至五百五十「キロサイクル」ノ周波數ノ發信ヲ爲スヘカラス

船舶局 航行中 又ハ海岸局ハ電報取扱時間内ニ於ケル前項ノ沈黙時間中五百「キロサイクル」ノ周波數ニ依リ聽守スヘシ公衆通信ニ供用シタル船舶無線電信ニシテ通信執務時間ニ該ラサル時間聽守ヲ要スルモノ其ノ聽守時間ニ付亦同シ

第八十八條ノ三 海岸局及船舶局ハ前條ノ規定ニ依ルノ外無線電報取扱時間中五百「キロサイクル」ノ周波數ニ依リ聽守ヲ爲スヘシ但シ他ノ周波數ニ依ル通信中又ハ聽守中ニシテ設備ノ關係上其ノ聽守ヲ爲レ得サル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第八十九條

船舶カ横濱神戸間、神戸門司間、門司長崎間其ノ他之ニ準スヘキ本邦近海航行中ハ當該船舶局ハ電報取扱時間ニ拘ラス務メテ無休ノ聽守ヲ持續シ海岸局トノ連絡ヲ確實ニスヘシ

第九十條

前項ノ聽守ヲ持續シ得サル特殊ノ事由アル場合ハ海岸局使用ノ標準時ニ依ル毎時初十分間及別表第四號ニ定ムル海岸局 交通ニ當ル海岸局トス

ノ一括呼出時刻ニ於テ聽守ヲ勵行シ海岸局トノ連絡ニ便ス

第九十條

前項毎時初聽守時間中最初ノ五分間ニハ緊急ノ場合ヲ除クノ外船舶局ヨリ呼出ヲ爲ササルコトヲ原則トス

第九十一條

船舶局ニ於テ特殊ノ事由ニ依リ聽守ヲ休止セムトスルトキハ海岸局ニ豫メ其ノ時刻及概定時間ヲ通知シ置キ再ヒ聽守ヲ始メタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ通知スヘシ

第九十二條

前項ノ順序ハ各艦船ニ通信ノ機會ヲ公平ニ與ヘ成ルヘク多數ノ無線電報ヲ送受スルヲ目的トシテ大體左ノ順序ニ依リ之ヲ定ムヘシ

一 入港時ノ切迫セル艦船トノ通信

將ニ通信圏ヲ去ラムトスル艦船トノ通信

二 比較的通信上近距離ニ在ル艦船トノ通信

三 比較的通信上遠距離ニ在ル艦船トノ通信

第九十二條

海岸局通信ヲ必要トスル各艦船ヲ一括シテ呼出サムトスルトキハ別表第四號ノ區別ニ依リ之ヲ爲スヘシ但シ中波ニ依ル一括呼出ハ自局通信圏ニ在リト認ムル艦船ニ對シテノミ之ヲ爲スモノトス

前項ノ呼出ハ左ノ區別ニ依ル事項ヲ順次送信シテ之ヲ爲スヘシ

一 持續長波ヲ使用スル場合

イ 有 信 符 號

各艦船ノ呼出符號 最便利ト認ムル順序ニ從ヒ

ハ 自局名前置符號

ニ 自局呼出符號

二 中波ヲ使用スル場合

A 二電波五百「キロサイクル」ノ周波數ニ依リ

各二回
一回
三回以下

- イ 有 信 符 號 三 回
- ロ 自局名前置符號 一 回
- ハ 自局呼出符號 三 回以下
- ニ 電波變更符號 一 回
- ホ 通信事項「ト」乃至「ヌ」ノ傳達ニ使用セムトスル周波數又ハ電波ノ型式 一 回
- ヘ 可 待 符 號 一 回
- ト 直ニ電波ヲ變更シ「ホ」ニ於テ示シタル通常通信電波ニ依リ 數 回
- チ 各艦船ノ呼出符號「アルファベツ」 各 二 回
- リ 自局名前置符號 一 回
- 又 自局呼出符號 三 回以下

第九十二條ノ二

前條ニ依リ呼出ヲ受ケタル船舶局ハ海岸局ノ送信シタル呼出符號ノ順序ニ從ヒ之ニ應答スヘシ該海岸局ヲ呼出シ順序通信符號及問符ヲ送信シテ自局ノ通信順序ヲ問合スヘシ

第九十二條ノ三

海岸局ニ於テ前條ノ應答又ハ問合ヲ受テシタルトキハ各艦船トノ通信順序ヲ決定シ左ノ符號ヲ

- 一 順序通信符號 二 回
- 二 各艦船ノ呼出符號 通信順序ニ從ヒ各二回
- 三 自局名前置符號 一 回
- 四 自局呼出符號 二 回

第九十三條

前條ニ依リ通信順序ノ決定ヲ受ケタル船舶局ハ順次海岸局ヨリ呼出ヲ受ケル迄聽守スヘシ

第九十四條

第九十二條ノ三ニ依リ通信順序ヲ送信シタル海岸局ハ直ニ其ノ順序ニ從ヒ各艦船トノ通信ヲ開始スヘシ

- 一 探 呼 符 號 三 回
- 二 自局名前置符號 一 回
- 三 自局名呼出符號 二 回
- 四 無 信 符 號 二 回
- 五 通信結了符號 二 回

第九十六條

海岸局ニ於テ前條ニ依ル通信ヲ一時打切ラムトスルトキハ前項ノ例ニ依リ其ノ旨ヲ關係艦船ニ知ラシムヘシ但シ無信符號ニ代フルニ略符號「QRX」必要ニ應ヒ可待時ヲ以テスヘシ

第九十七條

海岸局ニ於テ無線電報ヲ其ノ保管期間満了ノ前日正午ニ至ルモ艦船ニ送信シ得サルカ又ハ一旦送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サルトキハ第九十七條ノ三第一項ニ依リ處理スル場合ヲ除クノ外直ニ局報ヲ以テ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ通報スヘシ

(參看) 局報略號 (トム)(トキ)

第九十七條ノ二 海岸局ニ於テ前條ノ通報ヲ爲シタル後該無線電報ヲ保管期間満了前艦船ニ送信シ得タルカ又ハ受信證ヲ受クルコトヲ得タルトキハ直ニ局報ヲ以テ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ通報スヘシ

(參看) 局報略號 (トサ)

第九十七條ノ三

海岸局ニ於テ無線電報ヲ其ノ保管期間内ニ艦船ニ送信シ得サルモ該艦船ノ位置、航程等ニ鑑ミ近ク送信ノ機會アリト確認シ得ル場合ハ保管期間満了後ト雖引續キ保管ヲ爲スヘシ

此ノ場合ニ於テハ局報ヲ以テ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ通報シタル上其ノ原書ノ餘白ニ「何日頃迄ニ送信ノ見込アルニ付引續キ保管」ト記載シ置クヘシ

前項ノ無線電報ヲ豫定ノ期日迄ニ艦船ニ送信シ得サルカ又ハ一旦送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サルトキハ第九十七條ノ例ニ依リ處理スヘシ

(參看) 局報略號 (トア)

第九十八條

海岸局ニ於テ艦船ニ送信シ得サルカ又ハ一旦送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サル無線電報ニ付他ニ轉送スヘキ海岸局又ハ陸上電信官署ナク且保管ノ要ナシト認ムルトキハ直ニ局報ヲ以テ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ通報シ其ノ原書ノ餘白ニ「保管不要」ト記載シ置クヘシ但シ發信電信官署ヨリ第二十二條ノ通報ヲ受ケタルトキハ第九十六條ノ例ニ依リ處理スヘシ

前項ノ場合ニ於テ送信スヘキ電報カ局報ニシテ自局ニ於テ著信艦船ニ代リ其ノ事項ヲ處理シ得ルモノハ適宜處理シ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ書面又ハ適宜ノ方法ニ依リ通知スルト共ニ關係原書ノ餘白ニ記載シ置クヘシ

(參看) 局報略號 (トム) (トメ)

第九十九條

海岸局ニ於テ自局ノ受付無線電報ノ保管期間内ニ其ノ原書ノ差立期日到來スルトキハ寫ヲ調製シ其ノ餘白ニ「寫」ト朱書シテ之ヲ差立ツヘシ

前項ノ無線電報ヲ送信シタルトキハ送信當日分原書末尾ニ之ヲ編綴スヘシ
海岸局ニ於テ無線電報ヲ其ノ保管期間内ニ送信シ得サルカ又ハ一旦送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サルトキハ其ノ原書ノ餘白ニ「未送」又ハ「受信證未了」ト記載シ保管期間満了ノ當日分原書末尾ニ之ヲ編綴スヘシ

第一百條

トヲ得サルトキハ其ノ原書ノ餘白ニ「未送」又ハ「受信證未了」ト記載シ保管期間満了ノ當日分原書末尾ニ之ヲ編綴スヘシ

海岸局ニ於テ艦船カ既ニ通信圈ヲ去リタル等ノ爲無線電報ヲ該艦船ニ送信シ得サルカ又ハ一旦送信シタルモ受信證ヲ受クルコトヲ得サル場合該艦船ノ寄港前他ノ海岸局ヲ經由シテ送信シ得ヘシト認ムルトキハ著局改正ノ例ニ準シ經由海岸局ヲ改正ノ上相當局内心得ヲ添付シテ轉送スヘシ

前項ノ場合ニ於テ轉送スヘキ海岸局ナキモ該艦船ノ寄港地ニ於テ陸上電信官署ヨリ配達シ得ヘシト認ムルトキハ「何海岸局名ニテ送信不能トナリタルニ付貴局ヨリ配達アレ」ト局内心得ヲ添付シテ前項ノ例ニ依リ該電信官署ニ轉送スヘシ

前二項ニ依リ轉送スル場合ニ於テ轉送ノ爲料金ニ不足ヲ生スルトキハ「不足料金受信人ヨリ追徴アレ」ト局内心得ヲ添附シ又第九十二條第一項ノ無線電報ナルトキハ同條第二項ノ例ニ依リ相當局内心得ヲ添附スヘシ

(參看) 局内心得 (タラ)、(タチ)、(レニ)、(タヌ)

第一百一條

海岸局ニ於テ陸上電信官署間ニ限ル特別取扱ニ關スル指定事項アル無線電報ヲ艦船ニ送信スル場合ハ其ノ指定事項ヲ削除スヘカラス

第一百二條

海岸局ニ於テ無線電報規則第十九條ニ依ル同文電報ヲ受信シタルトキハ各別ノモノトシテ之ヲ送信スヘシ

第一百三條

海岸局ニ於テ船舶中繼ノ指定アル無線電報ヲ著信艦船ニ直接送信シ得タルトキハ其ノ原書ノ餘白ニ「船舶中繼不要」ト記載ノ上直ニ書面ヲ以テ其ノ旨ヲ發信電信官署ニ通報スヘシ

第一百四條

海岸局ニ於テ警報氣象電報ノ分送ヲ受信シタルトキハ左ノ區別ニ依リ之ヲ放送スヘシ
氣象特報本文第一字目ニ「ト」記載シタル警報氣象電報トス

分送受信後即刻沈黙時間中ナルトキハ其ノ終了後ニ依リ左ノ事項ヲ順次送信スヘシ但シ東京ニ於テハ暴風警報ノ放送時刻及放送周波數ニ依リ之ヲ放送スヘシ